

令和2年度使用
小学校用教科用図書について
の調査審議結果 (⑦)

目 次

国 語 …	1 頁	～	2 頁	音 楽 …			1 9 頁
書 写 …	3 頁	～	5 頁	図画工作 …			2 0 頁
社 会 …	6 頁	～	7 頁	家 庭 …			2 1 頁
地 図 …			8 頁	保 健 …	2 2 頁	～	2 4 頁
算 数 …	9 頁	～	1 1 頁	英 語 …	2 5 頁	～	2 8 頁
理 科 …	1 2 頁	～	1 4 頁	道 徳 …	2 9 頁	～	3 2 頁
生 活 …	1 5 頁	～	1 8 頁				

令和2年度使用教科用図書審議結果 ⑦

国語

発行者の番号 略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	あたらしい 国語 一上下 新しい 国語 二上下 新しい 国語 三上下 新しい 国語 四上下 新しい 国語 新しい 国語 五 新しい 国語 六	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が見通しをもって主体的に学習に取り組むことができるよう、1年間で身に付ける資質・能力を「言葉の力」と位置付け、その一覧を掲載している。 ・「言葉の力」を意識して学習できるよう、単元の導入のページを掲載し、単元の「問い」を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、学習を進める手引きにおいて、単元の「問い」を示し、それに即した言語活動を設定している。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の扱い方について、「書く」のページや単元中の「おさえる」等に掲載している。 ・語彙の充実に関連して、「ことばあつめ」や「言葉の広場」のページ等を掲載している。 ・伝統的な言語文化に関連して、昔話や言葉遊び、短歌、俳句、ことわざ、古文等を掲載している。 ・漢字の学習について、「1年下」は既習の漢字、それ以外は前学年の学習漢字を用いて行う「漢字の練習」を掲載している。 ・「読むこと」の教材では、ページ下部に、言葉の説明や使えるようにしたい言葉を掲載している。また、「付録」に学習で使う言葉や様々な言い方を掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」では、1年生の、話す順番等を考えて学校の紹介を行う単元や、2年生の、聞きたいことを落とさずに聞く単元等、学習や生活における活用へ向かうよう、教材の工夫をしている。 ・「書くこと」では、3年生の、調べたことをレポートで書く単元や、4年生の、相手や目的を考えて手紙を書く単元等、他教科等の学習や生活と関連する教材を設定している。 ・考える手立てとして、事柄を書くカードの作成等、単元中に分類や整理の方法を示したり、「書く」のページに、分類してまとめる方法を掲載したりしている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年間の学びについて、学習の進め方や学習内容を確認するページを掲載し、児童のイラストを用いて、自分の目標を考えるページを掲載している。また終わりには、「一年間の学習を振り返って」を掲載している。 ・「読むこと」の単元の学習の手引きでは、問いや目標を示し、読みの着眼点や言語活動のポイント等を示している。また、「振り返る」で、目標に即し自分の学習を振り返る観点を示している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書に関する教材や図書紹介、図書館利用についての内容を掲載している。 ・「こんな本もいっしょに」のコーナーを設け、単元の教材と関連した内容の図書等を紹介している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の進め方について、学習の見直しをもつ「つかむ」から取組を経て、「振り返る」という学習過程を示している。 ・単元における重要な事項について、「言葉の力」や「おさえる」で示している。 ・対話の仕方や国語のノート作り等、活用していくことができる内容のページを掲載している。 ・資料等を確認できるように、二次元コードを設定している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・判型はB5判にしている。 ・1年生から4年生までは上下巻の2分冊、5、6年生は学年1冊で構成している。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活字は、独自の教科書体を用いている。 ・3年生上巻の、はじめの「読むこと」の教材までは、文節が行をまたぐことがないように、改行位置を調節している。 ・記号やイラスト等を用いて、示したり説明したりしている。 ・カラーユニバーサルデザインの観点からの工夫をしている。
11 学図	みんなとまなぶ しょうがっこう こくご 一ねん 上下 みんなと学ぶ 小学校 国語 二年 上下 みんなと学ぶ 小学校 国語 三年 上下 みんなと学ぶ 小学校 国語 四年 上下 みんなと学ぶ 小学校 国語 五年 上下 みんなと学ぶ 小学校 国語 六年 上下	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が見通しをもって主体的に学習に取り組むことができるよう、3年生以上では、前年度の学習を振り返りながら1年間の学習のめあてを話し合う活動を示している。 ・児童が各単元において、自分の学習内容の全体を把握できるように、「つきたい力」をまとめて示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、学年に応じ、「伝統的な言語文化」に関わる教材を取り上げている。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の扱い方について、演習を通して理解する教材を掲載している。 ・語彙の充実に関連して、「言葉の泉」や「言葉のきまり」のページ等を掲載している。 ・伝統的な言語文化に関連して、昔話や言葉遊び、短歌、俳句、ことわざ、狂言等を掲載している。 ・漢字の学習について、「漢字の広場」や、2年生以上では前学年の学習漢字を用いて文や文章を作る「言葉をつないで文を作ろう」を掲載している。 ・「読むこと」の教材では、ページの下部に言葉の説明や「辞典を引いて調べる言葉」を掲載している。また、「資料編」に「授業で使う言葉」や様々な言い方を掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」では、1年生の、夏休みの出来事から選んで話す単元や、2年生の、話題からそれないように話し合う単元等、学習や生活における活用へ向かうよう、教材の工夫をしている。 ・「書くこと」では、3年生の、組み立てを考え報告文を書く単元や、4年生の、効果的な表し方を考え紹介文を書く単元等、他教科等の学習や生活と関連する教材を設定している。 ・考える手立てとして、イメージマップの作成を示したり、演習を通して情報の分類や整理等を行うページを掲載したりしている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年間の学びについて、学習の進め方や、3年生以上では「つきたい力」、前学年の既習事項を確認するページを掲載している。また、「学びに向かう力、人間性等」に関連して目標を示している。「資料編」では「国語のカギ」をまとめたページを掲載している。 ・「読むこと」の単元の学習の手引きでは、単元の目標を示し、読みの着眼点や言語活動のポイント等を示している。また、振り返りで、目標に即して自分の学習を振り返る観点を示している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書に関する教材や図書紹介、図書館利用についての内容を掲載している。 ・「この本読みたいな」のコーナーを設け、単元の教材と関連した内容の図書等を紹介している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の進め方について、「話すこと・聞くこと」「書くこと」では、「単元名」と「めあて」を確認する、学習の流れをつかむ、学習のポイントを確認する、学習したことを振り返って次の学習に生かす、という学習過程を示している。「読むこと」では、「単元名」と「めあて」で学習の内容を確認する、「学習のてびき」を通して、文章の読み解き方を学ぶ、学習したことを振り返って次の学習に生かす、という学習過程を示している。 ・単元における重要な事項について、キャラクターの言葉や「国語のカギ」で示している。 ・ノート作りや「レッスン」における「文章の書き方・まとめ方」等、活用していくことができる内容を掲載している。 ・資料等を確認できるように、二次元コードを設定している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・判型はB5判にしている。 ・1年生から6年生まで、上下2分冊にしている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活字は、独自の教科書体を用いている。 ・1年上では、文節が行をまたぐことがないように、改行位置を調節している。 ・記号やイラスト等を用いて、示したり説明したりしている。 ・カラーユニバーサルデザインの観点からの工夫をしている。

発行者の番号 略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
17 教出	ひろがることば しょうがくこくご 一上下 ひろがることば 小学国語 二上下 ひろがる言葉 小学国語 三上下 ひろがる言葉 小学国語 四上下 ひろがる言葉 小学国語 五上下 ひろがる言葉 小学国語 六上下	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が見通しをもって主体的に学習に取り組むことができるよう、言語活動におけるグループでの話し合い等、対話的な学習の様子をイラストで示している。 ・語彙の充実に向け、単元において、教材中の言葉や言い方を確認する「言葉を学ぼう」「言葉をふやそう」という欄を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、考えを形成するための観点や例示したり、イラストを用いて言語活動の場面を示したりしている。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の扱い方について、単元中の「ここが大事」等に掲載している。 ・語彙の充実に関連して、「言葉」のコーナーや「言葉の木」のページ等を掲載している。 ・伝統的な言語文化に関連して、昔話や言葉遊び、短歌、俳句、ことわざ、古文等を掲載している。 ・漢字の学習について、「漢字の広場」や、前学年の学習漢字を用いて文や文章を作る「〇年生で学んだ漢字」のページを掲載している。 ・「読むこと」の教材では、ページ下部に言葉の説明を掲載し、学習の手引きに、言葉について考える「言葉」を掲載している。また、「付録」に「学ぶときに使う言葉」や様々な言い方を掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」では、1年生の、学校について聞いたことを正確に伝える単元や、2年生の、順序に気を付けて話す単元等、学習や生活における活用へ向かうよう、教材の工夫をしている。 ・「書くこと」では、3年生の、取材後に伝えたいことを明確にして書く単元や、4年生の、相手や目的に応じて手紙を書く単元等、他教科等の学習や日常生活と関連する教材を設定している。 ・考える手立てとして、イメージマップの作成を設定したり、6年生に「図に表して考えよう」のページを掲載したりしている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年間の学びについて、目次の次に、2年生以上は学習内容を確かめる「〇年生で学ぶこと」、1年生は「この本で学ぶこと」のページを掲載し、「付録」には、「『ここが大事』のまとめ」を掲載している。 ・「読むこと」の単元における学習の手引きでは、キャラクターの言葉も使いながら、読みの着眼点や言語活動のポイント等を示している。また、「ふり返ろう」で、目標に即して自分の学習を振り返る観点を示している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書に関する教材や図書紹介、図書館利用についての内容を掲載している。 ・「本を読もう」のコーナーを設け、単元の教材と関連した内容の図書等を紹介している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の進め方について、「話すこと・聞くこと」「書くこと」では、「見通しをもとう」「決めよう・集めよう」「組み立てよう」「話そう・聞こう（書こう・読み返そう）」「伝え合おう」「ふり返ろう」の学習過程を示している。「読むこと」では、「確かめよう」「考えよう」「深めよう」「広げよう」「ふり返ろう」の学習過程を示している。 ・単元における重要な事項について、「ここが大事」で示している。 ・書いた文章を読み返すときに主語・述語の対応に注意することや、考えのまとめ方等、活用していくことができる内容を掲載している。 ・資料等を確認できるよう、二次元コードを設定している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・判型はB5判にしている。 ・1年生から6年生まで2分冊にしている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活字は、独自の教科書体を用いている。 ・1年生では、文節が行をまたぐことがないように、改行位置を調節している。 ・記号やイラスト等を用いて、示したり説明したりしている。 ・カラーユニバーサルデザインの観点からの工夫をしている。
38 光村	こくご一上 かざぐるま こくご一下 ともだち こくご二上 たんぼぼ こくご二下 赤とんぼ 国語三上 わかば 国語三下 あおぞら 国語四上 かがやき 国語四下 はばたき 国語五 銀河 国語六 創造	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が見通しをもって主体的に学習に取り組むことができるよう、1年間の学習の内容や学習の進め方を確認するページを掲載している。 ・他の学習や生活での活用に向け、「情報の扱い方」について系統化してまとめたページを掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、学年の段階に応じ、「伝統的な言語文化」に関わる教材を設定している。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の扱い方について、「関係をとらえよう」等の4つの系統で掲載している。 ・語彙の充実に関連して、「季節の言葉」や「言葉のたから箱」のページ等を掲載している。 ・伝統的な言語文化に関連して、昔話や言葉遊び、短歌、俳句、ことわざ、狂言等を掲載している。 ・漢字の学習について、2年生以上では「カンジー博士の〇〇」のコーナーや、前学年の学習漢字を用いて文や文章を作る「漢字の広場」を掲載している。 ・「読むこと」の教材では、ページ下部に、言葉の説明を掲載している。また、「付録」に「学習に用いる言葉」や様々な言い方を掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」では、1年生の、クイズのヒントを出す順序等をペアで相談して考える単元や、2年生の、大事なことを落とさずに話したり聞いたりする単元等、学習や生活における活用へ向かうよう、教材の工夫をしている。 ・「書くこと」では、3年生の、組立を考えて報告文を書く単元や、4年生の、テーマについて調べたことをわかりやすく書く単元等、他教科等の学習や日常生活と関連する教材を設定している。 ・考える手立てとして、単元中にイメージマップを示したり、「じょうほう」に分類や整理の仕方等を示したりしている。5・6年生では、「考えを図で表そう」のページを掲載している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年間の学びについて、目次の次に、学習の進め方や学習内容、2年生以上では既習事項を確かめるページを掲載している。また、「付録」には、「『たいせつ』のまとめ」のページを掲載している。 ・「読むこと」の単元における学習の手引きでは、単元の目標を示し、読みの着眼点や言語活動のポイント等を示している。「ふりかえろう」では、観点を「知る」「読む」「つなぐ」等に分けて示している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書に関する教材や図書紹介、図書館利用についての内容を掲載している。 ・「この本、読もう」のコーナーで、単元の教材と関連した内容の図書等を紹介している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の進め方について、「話すこと・聞くこと」「書くこと」では、「確かめよう」「決めよう・集めよう」「準備しよう（組み立てよう）」「話そう・聞こう（書こう）」「つなげよう」「ふりかえろう」の学習過程を示している。「読むこと」では、「見通しをもとう」「とらえよう」「ふかめよう」「まとめよう」「ひろげよう」「ふりかえろう」の学習過程を示している。 ・単元における重要な事項について、「たいせつ」で示している。 ・対話の仕方に関するページや、課題の調べ方等、活用していくことができる内容を掲載している。 ・資料等を確認できるよう、二次元コードを設定している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・判型はB5判にしている。 ・1年生から4年生までは上下巻の2分冊、5、6年生は学年1冊で構成している。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活字は、独自の教科書体を用いている。 ・2年生上巻の、はじめの「読むこと」の教材までは、文節が行をまたぐことがないように、改行位置を調節している。 ・記号やイラスト等を用いて、示したり説明したりしている。 ・カラーユニバーサルデザインの観点からの工夫をしている。

令和2年度使用教科用図書審議結果⑦

書写

発行者の番号 略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	あたらしい しょしゃ 一 新しい しょしゃ 二 新しい書写 三 新しい書写 四 新しい書写 五 新しい書写 六	<ul style="list-style-type: none"> 文字の整え方を身に付けるために、その原理・原則を「書写のかぎ」と位置付けて示している。 書写での学びを他の学習や生活に生かすことに向けて、「生活に広げよう」というページを設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、学習を振り返る過程において、話し合う活動を設定している。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 写真や合言葉を用いて書く姿勢と筆記具の持ち方を示し、点画の特徴を確認して名称を書き込むページを掲載している。 「線」を書くことについて、1年生では、段階的に細くなる図の線をなぞる形で、練習を行うよう設定している。3年生では、線の太さと筆圧の関係を写真と対応させて示している。 文字を整えて書く原理・原則を「書写のかぎ」として示している。 童謡や俳句、古文等、伝統的な言語文化に関する教材を設定している。 仮名の成り立ちや文字にこめた思い等、文字文化に関する内容を掲載している。 毛筆での書き初めの手本として、「明るい心(3年)」「美しい空(4年)」「強い決意(5年)」「伝統を守る(6年)」等を掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「見つけよう」では、文字から課題を発見し、文字を整えて書くための原理・原則を見つける活動を設定している。 毛筆の単元においては、「生かそう」に教材と別の文字や言葉を示し、学習した「書写のかぎ」をどのように生かせばよいのかを考えながら硬筆で書く活動を設定している。 ノートやリーフレット、ポスターの作成等、他教科等の学習や生活と関連する内容を掲載している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 目次のページに1年間で学習する内容を示すとともに、3年生以上では、単元で考える内容について問いの形で示している。 2年生以上では、既習を確認できるように前学年で学習した「書写のかぎ」を掲載し、巻末には、その学年までに学習した「書写のかぎ」を掲載している。 単元の振り返りを「ふり返って話そう」としている。学年の発達段階や単元の内容に応じ、話し合いを通して振り返る活動を設定している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 手紙やはがき、新聞等、学習や生活にある「書いて伝え合うこと」と書写を関連付けた内容を掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」「ふり返って話そう」という学習過程で構成している。 2年生以上では、図やイラストを用いて単元の学習過程について説明する「書写の学び方」のページを掲載している。 毛筆学習の導入として、3年生では、毛筆の用具の扱い方について見開き1ページ、姿勢や筆の持ち方、片付け等について3ページで、写真を用いて示している。墨のすり方や「左手で書く場合」の用具の置き方を掲載している。 筆の持ち方や書き方等、情報を動画で確認できるように二次元コードを掲載している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> 判型はAB判にしている。 1、2年生の巻末に水書用紙を付けている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 記号やキャラクター、擬態語等を用いて示したり説明したりしている。 朱墨を用いた文字手本を掲載し、穂先の動きを示している。 鉛筆の持ち方において左利きの写真を掲載したり、利き手を問わず練習できるように、硬筆のマス型の書き込み欄を、上下や左右両側に配置している。 カラーユニバーサルデザインの観点からの工夫をしている。
11 学図	みんなとまなぶ しょうがっこうしょしゃ 一ねん みんなと学ぶ 小学校しょしゃ 二年 みんなと学ぶ 小学校書写 三年 みんなと学ぶ 小学校書写 四年 みんなと学ぶ 小学校書写 五年 みんなと学ぶ 小学校書写 六年	<ul style="list-style-type: none"> 文字の整え方を身に付けるため、「書き方のカギ」や、半紙原寸大の教材を掲載している。 「書いて学ぶ」という姿勢の定着に向けて前学年の確認や1年間のまとめを含め、教科書に書き込む欄を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、試し書きとまとめ書きの比較から考えたこと等を伝え合う活動を示している。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 写真や合言葉を用いて書く姿勢と筆記具の持ち方を示している。 「線」を書くことについて、1年生では、イラストの線をなぞる形で練習を行うよう設定している。3年生では、線の太さと筆圧の関係を写真と対応させて示している。 文字を整えて書く上での「書き方のカギ」(見方、考え方)を示している。 俳句やことわざ、古文等、伝統的な言語文化に関わる教材を設定している。 仮名の成り立ちや身の回りの文字について等、文字文化に関する内容を掲載している。 毛筆での書き初めの手本として、「お正月(3年)」「美しい心(4年)」「大切な命(5年)」「夢の実現(6年)」を掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 試し書きとまとめ書きを比較し、その違いから、文字を整えて書くためのポイントについて考える活動を示している。 毛筆の単元においては、「生かして書こう」に教材とは別の文字や言葉を示し、学習した「書き方のカギ」をどのように生かせばよいのかを考えながら硬筆で書く活動を設定している。 ポスターや学級新聞の書き方、都道府県名を書く欄等、他教科等の学習や生活と関連する内容を掲載している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 目次のページに1年間の「学習のめあて」を示している。また、学習のはじめに「〇年生で学習したこと」として前学年の学習内容を確かめる教材を設定している。 次年度の学習につながるよう、巻末に「〇年生のまとめ」として1年間に学習したことを確認しながら書くページを掲載している。 単元の振り返りを「ふり返ろう」としている。生活や学習と関連する課題を示し、単元で学習したことを生かして書く活動を設定している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 手紙やカード、学級新聞等、学習や生活にある「書いて伝え合うこと」と書写を関連付けた内容を掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「確かめて書こう」「考えて書こう」「生かして書こう」「ふり返ろう」という学習過程で構成している。 一つの単元を例として示しながら単元の学習過程について説明する「学習の進め方」のページを掲載している。 毛筆学習の導入として、3年生では、毛筆の用具の扱い方や姿勢、片付け等について見開き2ページ、小筆の扱い方について1ページで、写真を用いて示している。墨のすり方を掲載している。 筆のおろし方や書き方等、情報を動画で確認できるように二次元コードを掲載している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> 判型はB5判にしている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 記号や擬態語、キャラクターの言葉等で示したり説明したりしている。 朱墨を用いた文字手本を掲載し、穂先の動きを示している。 利き手を問わず練習できるように、硬筆のマス型の書き込み欄を上下に配置している。 カラーユニバーサルデザインの観点からの工夫をしている。

発行者の番号 略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
17 教出	しょうがく しょしゃ 一ねん 小学 しょしゃ 二年 小学 書写 三年 小学 書写 四年 小学 書写 五年 小学 書写 六年	<ul style="list-style-type: none"> 比較を通して文字の整え方を身に付けられるように試し書きやまとめ書きの欄を設定している。 児童が見通しをもって主体的に学習に取り組むことができるよう、写真を用いた学習過程の説明を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、児童が伝え合うことを通して学習している場面の写真を掲載している。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 写真や合言葉を用いて、書く姿勢と筆記具の持ち方を示し、点画の特徴や名称を確認するページを掲載している。 「線」を書くことについて、1年生では、様々な線をなぞる形で練習を行うよう設定している。3、4年生では、線の太さと筆圧の関係を写真と対応させて示している。 文字を整えて書く上でのポイントを「ここが大切」で示している。 民話や俳句、古文等、伝統的な言語文化に関する教材を設定している。 仮名の成り立ちや身の回りの文字について等、文字文化に関する内容を掲載している。 毛筆での書き初めの手本として、「友だち(3年)」「美しい空(4年)」「世界の国(5年)」「伝統を守る(6年)」等を掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分が書いた文字の変容から整えて書くためのポイントを考えられるよう、「ためし書き」「まとめ書き」の欄を設けている。 毛筆の単元においては、「生かそう」に教材とは別の文字や言葉を掲載し、学習したポイントをどのように生かせばよいのかを考えて硬筆で書くことを示している。 ノートやリーフレット、メモの書き方等、他教科等の学習や生活と関連する内容を掲載している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2年生以上では、巻頭に1年間の「学習のめあて」を示している。また、4年生以上では、「〇年生までの学習をふり返ろう」として前学年の学習内容を示している。 学年の終わりに「学習のまとめ」という教材を設定し、1年間に学習したことを確認しながら書くことにより、学習内容を確認するページを掲載している。 単元の振り返りを「ふり返ろう」としている。単元の「めあて」に即して観点を示し、記号を用いて振り返りを行うように設定している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 手紙や学級新聞、思い出に残る言葉等、「書いて伝え合うこと」と書写を関連付けた内容を掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3年生以上は、「めあて」「ためし書き」「考えよう」「ここが大切」「まとめ書き」「生かそう」「ふり返ろう」という学習過程で構成している。低学年は4つの学習過程にまとめている。 活動の写真を用いて、単元の学習過程について説明する「学習の進め方」のページを掲載している。 毛筆学習の導入として、3年生では、毛筆の用具の扱い方について見開き1ページ、筆の持ち方や姿勢、片付け等について3ページで、写真を用いて示している。墨液の入れ方を掲載している。 基本点画や書き方等、情報を動画で確認できるように二次元コードを掲載している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> 判型はB5判にしている。 1年生の巻末に水書用紙を付けている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> イラストや擬態語、キャラクターの言葉等を用いて示したり説明したりしている。 朱墨を用いた文字手本を掲載し、穂先の通り道を示している。 利き手を問わず練習できるよう、硬筆のマス型の書き込み欄を上下に配置している。 カラーユニバーサルデザインの観点からの工夫をしている。
38 光村	しょしゃ 一ねん しょしゃ 二年 書写 三年 書写 四年 書写 五年 書写 六年	<ul style="list-style-type: none"> 児童が見通しをもって主体的に取り組めるよう、単元において、学習のポイントや学習の流れを1ページにまとめて示している。 書写での学びを学習や生活に生かすことに向け、国語や他教科等との関連を記号で示したり、生活に関連する単元を設定したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、学年や内容に応じ、比較等を通して考えたり話し合ったりする活動を設定している。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 書く姿勢と筆記具の持ち方を、写真や合言葉を用いて示している。 「線」を書くことについて、1年生では、イラストの線をなぞる形で練習を行うよう設定している。3年生では、線の太さと筆圧の関係を写真と対応させて示している。 文字を整えて書く上でのポイントを「たいせつ」で示している。 俳句や短歌、古文等、伝統的な言語文化に関する教材を設定している。 仮名の成り立ちや手書き文字と活字等、文字文化に関する内容を掲載している。 毛筆での書き初めの手本として、「友だち(3年)」「明るい心(4年)」「新しい風(5年)」「将来の夢(6年)」等を掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「考えよう」では、例の比較等、文字を整えて書くためのポイントを考える活動を設定している。 「こう筆のまとめ」では、毛筆の教材とは別の文字や言葉を示し、学習したことをどのように生かせばよいのかを考えながら硬筆で書く活動を設定している。 連絡帳やリーフレット、インタビューにおけるメモの作成等、他教科等の学習や生活と関連する内容を掲載している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2年生以上では、1年間で学習する『「たいせつ」のまとめ』を巻末に掲載している。また、高学年では、目次のページに1年間の学習のめあてを示している。学年により、4年生の「こんなことはないかな」等、普段の自分の文字の書き方を見直すような課題を掲載している。 学年の終わりに「〇年生のまとめ」を設定し、1年間に学習したことを確認しながら書くことにより、学習内容を確認するページを掲載している。 単元の振り返りを「ふり返ろう」としている。単元の「めあて」に即して観点を示し、記号を用いて振り返りを行うように設定している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 手紙やはがき、新聞等、学習や生活にある「書いて伝え合うこと」と書写を関連付けた内容を掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「考えよう」「確かめよう」「生かそう」という学習過程で構成している。 3年生以上では、児童の写真を用いて、単元の学習過程について説明する「学習の進め方」のページを掲載している。 毛筆学習の導入として、3年生では、毛筆の用具の扱い方や片付け、姿勢等について見開き2ページ、筆の持ち方について1ページで、写真を用いて示している。小筆の扱い方や墨のすり方は、冊子の中ほどにあるページに掲載している。 筆の持ち方や書き方等、情報を動画で確認できるように二次元コードを掲載している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> 判型はB5判にしている。 1年生の巻末に水書用紙を付けている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 記号や擬態語、キャラクターの言葉等を用いて示したり説明したりしている。 朱墨を用いた文字手本を掲載し、穂先の通り道を示している。 カラーユニバーサルデザインの観点からの工夫をしている。

発行者の番号 略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
116 日文	しょうがくしょしゃ 一ねん 小学しょしゃ 二年 小学書写 三年 小学書写 四年 小学書写 五年 小学書写 六年	<p>・文字の整え方を身に付けるため、学習の進め方を示したページを掲載したり書いた文字を手本と比較する構成にしたりしている。</p> <p>・児童が書写で身に付けたことを他の学習や生活に生かすことに向けて、「国語の広場」や「生活と書写」というコーナーを設定している。</p>	<p>・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</p> <p>・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、学年に応じ、試し書きとまとめ書きの比較から考えたことを共有する活動を示している。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書く姿勢と筆記具の持ち方を写真を用いて示し、4年生までは合言葉を示している。 ・「線」を書くことについて、1年生では、様々な線をなぞる形で練習を行うよう設定している。3、4年生では、線の太さと筆圧の関係を写真と対応させて示している。 ・文字を整えて書く上でのポイントを、電球のイラストを用いた欄に示している。 ・ことわざや俳句、古文等、伝統的な言語文化に関する教材を設定している。 ・仮名の成り立ちや身の回りの文字について等、文字文化に関する内容を掲載している。 ・毛筆での書き初めの手本として、「生きる力(3年)」「元気な声(4年)」「心を開く(5年)」「希望の朝(6年)」等を掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「考える」では、複数の例を比較する等、文字を整えて書くためのポイントを考える活動を設定している。 ・毛筆の単元においては、「いかす」に教材とは別の文字や言葉を掲載し、学習したことを生かして硬筆で書くことを示している。 ・観察記録や新聞の書き方、メモの取り方等、他教科等の学習や生活と関連する内容を掲載している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年に「〇年生の目標」を示している。また、5年生では「書写の学習で大切なこと」、6年生では「書写学習の意義」を、「書写学習の進め方」のページに掲載している。 ・学年の終わりに「〇年生のまとめ」という教材を設定し、1年間に学習したことを確認しながら書くことにより、学習内容を確かめるページを掲載している。 ・単元の振り返りを「できたかな」としている。単元の「めあて」に即して観点を示し、イラストを用いて振り返りの欄を設定している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳や手紙、新聞等、「書いて伝え合うこと」と書写を関連付けた内容を掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年生以上は、「試し書きをする」「考える」「確かめる」「まとめ書きをする」「いかす」「ふり返る」という学習過程で構成している。低学年は3つの学習過程にまとめている。 ・2年生では「この教科書のつかい方」、3年生以上では、「書写学習の進め方」として、イラストを用いて、単元の学習過程について説明するページを掲載している。 ・毛筆学習の導入として、3年生では、毛筆の用具の扱い方や姿勢について見開き2ページ、筆の持ち方や片付け等について2ページで、写真を用いて示している。墨のすり方を掲載している。小筆の持ち方やおろし方等は、冊子の中ほどにあるページに掲載している。 ・ホームページにおいて、筆の持ち方や片付け方等、情報を動画で確認できるようにURLを掲載している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・判型はB5判にしている。 ・1、2年生の巻末に水書きシートを付けている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イラスト、擬態語、キャラクターの言葉等を用いて示したり説明したりしている。 ・朱墨を用いた文字手本を掲載し、穂先の通り道を示している。 ・利き手を問わず書くことができるよう、硬筆のマス型欄を上下に配置している。 ・カラーユニバーサルデザインの観点からの工夫をしている。

令和2年度使用教科用図書審議結果 ⑦

社会

発行者の番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新しい社会3 新しい社会4 新しい社会5 上 新しい社会5 下 新しい社会6 政治・国際編 新しい社会6 歴史編	<p>・各学年の最初の単元には、学習に見通しをもって取り組めるよう、「学習の進め方」を示している。</p> <p>・問題解決的な学習を進めていけるよう、各単元で「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」という学習の流れを示し、各時間に取り組む内容について示している。</p> <p>・社会的事象の理解や、学んだことを生かして主体的に社会にかかわる姿勢を育成することを目指して、「まとめる」のページでは学習問題を示して、多様なまとめ方を示し、「いかす」のページでは自分たちができることを考えるなどの活動を示している。</p>	<p>・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</p> <p>・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、選択・判断に向けて多様な立場からの話し合い活動を掲載するなどの工夫を行っている。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>・「ことば」のコーナーでは、見開きの学習内容の中で押さえておきたいキーワードを示して文章で説明している。3年、4年では巻末に索引を掲載している。</p> <p>・「まなび方コーナー」では、学年ごとに「見る・聞く・ふれる」「読み取る」「表す・伝える」の3つの視点で、見学の仕方、地図や索引、各種資料や年表等の読み取り方、新聞やレポートの作り方等を示している。</p> <p>・各学年の最初の単元には「学習の進め方」を掲載し、学習問題について予想したり、学習計画を立てたり、調べたりまとめたりする等の学習の流れを示し、社会科の学び方を理解できるようにしている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・3年、4年、5年の巻末には、「どのように学んだかふり返ろう」のページを設け、「比べる」「関連づける」「総合する」といった考え方や発表、話し合いの具体例を示している。</p> <p>・単元の「まとめる」のページで、表や地図、新聞やカード、関係図、意見文など単元の学習に応じた様々な表現方法を示している。</p> <p>・学習内容に応じた「見方・考え方」を働かせられるよう、空間や時間、相互関係に着目する視点や考え方を示す囲みを、単元の随所にキャラクターと共に掲載している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・「いかす」のページでは、単元で学んだことを生かして、自分たちができることやこれからの生活のことを考えるなどの活動を示している。</p> <p>・6年「政治・国際編」の巻末には、6年の学習の振り返りのページと、中学校社会科で学習する内容を写真やキャラクター等で説明するページ「中学校に向けて」を掲載している。</p> <p>【かわさき教育プラン】</p> <p>・3年の主な事例地として福岡県福岡市、石川県金沢市、東京都三鷹市、兵庫県明石市を取り上げている。4年の主な事例地として宮城県、岡山県、栃木県、静岡県、愛媛県、熊本県を取り上げている。</p> <p>・5年の「工業生産を支える輸送と貿易」の資料として、神奈川県横浜港を掲載している。</p>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <p>・巻頭に前学年で学習した内容とこれから学ぶ内容を示し、巻末にその学年の学習内容を振り返るページを設けている。</p> <p>・各見開きページで「つかむ」「調べる」「まとめる」「ひろげる」「いかす」等の学習の流れを示している。「つかむ」では、単元の学習問題と学習計画を示し、「まとめる」では学習問題や単元中に示した「ことば」を示している。</p> <p>・Dマークを示したページでは、インターネットを使った学習ができるようにしている。各学年の巻頭に二次元コードとURLを掲載している。</p> <p>・6年歴史の学習の導入では、身近な歴史を見つけることや年表の見方などを説明するページを設ける構成にしている。</p> <p>【分量・装丁】</p> <p>・3年、4年は1冊である。5年は上下2分冊で、上巻に国土と食料生産、下巻に工業生産、情報、国土の自然環境の単元を掲載している。6年は歴史学習の分断を避けるため「歴史編」と「政治・国際編」の2分冊としている。</p> <p>・6年歴史の古代の単元では、縄文時代と弥生時代の想像図を折込ページで示し、比較しやすいよう見開きで並べて掲載している。</p>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <p>・キャラクターが登場し、学習の進め方やポイントを説明している。</p> <p>・専用教科書体とゴシック体を使用している。適所にユニバーサルデザインフォントを使用している。</p> <p>・「つかむ」「調べる」といった学習の構成によって、見出しの色を変えて学習内容を示している。</p> <p>・学習内容を選択する際の注意書きや他教科との関連、Dマーク等をページの最下部に表記している。</p>
17 教出	小学社会3 小学社会4 小学社会5 小学社会6	<p>・各学年の巻頭には、問題解決的な学習の充実に向け、「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」といった「社会科の学習の進め方」を示している。</p> <p>・各単元には、単元を通して追究する学習問題と、各時間に追究する「この時間の問い」を示している。また、一貫して問いを追究できるよう、「次につなげよう」のコーナーを設けている。</p> <p>・「まとめる」のページでは、学習内容の理解に向け、学習問題に対する多様なまとめ方を示し、「つなげる」のページでは、学習を生かして、これからの社会について考えること等を促している。</p>	<p>・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</p> <p>・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、話し合いや振り返りの場面で社会的な見方・考え方を働かせることができるようキャラクターの言葉を工夫している。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>・問題解決に生かす知識や概念を「キーワード」として示している。3年、4年の巻末には「キーワードのいちらん」を掲載している。5年、6年は巻末の索引において太字で示している。</p> <p>・単元の内容等に応じて「集める」「読み取る」「表す」といった技能について「学びのてびき」のコーナーを設け、説明している。</p> <p>・3年の巻末に「わくわく！社会科ガイド」を設け、地域調査の仕方や地図帳の活用方法、記録の仕方、表現の方法や留意点等について解説している。</p> <p>・各学年の巻頭には「社会科の学習の進め方」を掲載し、「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」といった社会科の学び方を理解できるようにしている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・各学年の巻頭に「社会科の見方や考え方」を例示し、「時期や変化」「場所や広がり」「比べる」「関連付ける」「総合する」等について具体的に示している。</p> <p>・各単元の「まとめる」のページでは、カードや関係図に整理する活動、年表や地図等にまとめる活動、話し合う活動等、単元の学習内容に応じて様々な表現方法を示している。</p> <p>・資料に対応したキャラクターの言葉で、資料を比較したり関連付けたりした様子を示し、「見方・考え方」を働かせるようにしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・「つなげる」のページでは、学習してきたことを生かして、生活に関わることやこれからの社会について考えることを促している。</p> <p>・6年の巻末には6年の学習の振り返りと共に、中学校社会科の学習の概要や18歳選挙権について文章や写真で示している。</p> <p>【かわさき教育プラン】</p> <p>・3年の主な事例地として、神奈川県横浜市を取り上げている。4年の主な事例地として、福岡県、静岡県、神奈川県、徳島県、埼玉県を取り上げている。4年の伝統工業で箱根町の寄木細工を取り上げている。</p> <p>・6年「ともに生きる暮らしと政治」では向ヶ丘遊園駅の地下通路整備を掲載している。「日本とつながりが深い国々」では川崎市の外国人市民代表者会議を掲載している。</p>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <p>・各学年の巻頭で前学年の振り返りと「社会科の見方や考え方」を確認するページ、「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」等の学習過程を説明するページを掲載している。巻末にその学年の学習を振り返るページを掲載している。</p> <p>・単元の学習問題を「みんなでつくった学習問題」とし、各見開きページで、各時間の問いを「この時間の問い」とし、次の学習へのつながりを意識できるよう「次につなげよう」を示している。また「まとめる」では単元の学習問題と単元内のキーワードを掲載している。</p> <p>・学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができるよう、随所に「まなびリンク」のマークを掲載している。各学年の巻頭に二次元コードとURLを掲載している。</p> <p>・6年の歴史の導入では、政治の学習を生かせるように、参政権の拡大から歴史学習に入るようにするとともに、年表や資料の活用の仕方等を掲載している。</p> <p>【分量・装丁】</p> <p>・社会科見学や教科横断的な取組など、年間を通じた柔軟な活用ができるよう、3年、4年、5年、6年の各学年をそれぞれ1冊としている。</p> <p>・6年の歴史の導入では、折込ページで日本各地の歴史的事象を日本列島のイラストとともに記載している。</p>	<p>【読みやすさの工夫】</p> <p>・社会的な見方・考え方を働かせて学習している様子を示すキャラクターを掲載している。</p> <p>・フォントや資料の配色はユニバーサルデザインに配慮している。本文の文字はUDデジタル教科書体を使用している。</p> <p>・単元名、学習問題、「各時間の問い」「次につなげよう」の背景色を単元内で統一している。</p> <p>・選択・判断を行う単元では、該当箇所「選択・判断」のマークを表記している。</p>

発行者の 番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との 関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
116 日文	小学社会 3年 小学社会 4年 小学社会 5年 小学社会 6年	<p>・各学年の巻頭には、教科書の使い方や、学年の実態に応じた多様な学習活動を掲載している。</p> <p>・主体的に問題解決的な学習に取り組めるよう、「わたし(たち)の問題」を各見開きページに、学級全体で話し合う「学習問題」を単元の初めに、単元後半には学習問題を解決したのちに「さらに考えたい問題」を示している。</p> <p>・「学習問題」や「さらに考えたい問題」の解決の場面ではキャラクターの話し合いの様子を掲載し、これからの社会について考える様子等を掲載している。</p>	<p>・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</p> <p>・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、単元のまとめで学習問題について話し合う場面を具体的に示し、様々な立場を踏まえて解決を図れるようにしている。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の学習内容で必要な用語として「キーワード」のコーナーを設定し、解説している。3年、4年、5年の巻末の索引にも掲載している。 ・「学び方・調べ方コーナー」では、単元の内容等に応じて、「見る・調べる」「読み取る」「表現する」に分けて、調べ方やまとめ方等について解説している。「読み取る」については、「確かめる」「見つける」「考える」の3つのステップを示している。 ・各学年の巻頭では、子どもの写真やキャラクターを配置して調べる、話し合う、まとめる等の社会科の学習の流れを示している。 ・「やってみよう」のコーナーでは、資料や学習内容等に応じて、調べる、考える等の学習活動を示している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「見方・考え方コーナー」では、「空間」「時間」「関係」の3つの視点で事象をとらえたり、事象について考えたりする際のアドバイスを記載している。 ・「学び方・調べ方コーナー」の「表現する」では、発表の仕方、振り返りの手順、図によるまとめ方、ノートの手書き方、調べて考えたことを交流すること等、学年に応じて思考・判断したことを表現する方法を示している。 ・各単元のまとめのページでは、これまでの学習を振り返るよう促し、キャラクターが話し合っただけ学習をまとめていく様子等を示している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「わたしたちの学びを生かそう」のページでは、単元の学習を生かして考え、さらに調べたい内容として、発展的に学習する内容を示している。 ・6年の巻末には、中学校社会科で学習する地理・歴史・公民の各分野の概要説明と写真、中学校で学ばれたことを示すカードを掲載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年の主な事例地として、兵庫県姫路市、滋賀県栗東市、広島県福山市、埼玉県川越市を取り上げている。海上保安庁の取組で神奈川県横浜市を取り上げている。4年の主な事例地として、岡山県、大分県、大阪府、東京都、長崎県、栃木県を取り上げている。4年「先人の働き」では選択で、5年「自然災害から人々を守る」では事例紹介で神奈川県小田原市を取り上げている。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年の巻頭に学年の学習内容を示す写真やその学年の学習の概要、「この教科書の使い方」を掲載している。 ・学級全体で話し合う問題を「学習問題」、見開きページでの疑問を「わたし(たち)の問題」、学習問題の解決後に生まれる問題を「さらに考えたい問題」と示している。「さらに考えたい問題」の解決ではキャラクターの話し合いの様子やノート例等を掲載している。 ・デジタルマークがあるところはウェブページのデジタル資料でさらに学習を深められるようにしている。各学年の巻頭にURLを掲載している。 ・6年の歴史の学習の導入では、歴史の学習を進める上での視点や、歴史上の人物を調べるポイント、年表の読み取り方等を掲載している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見通しと振り返りを充実させ、カリキュラム・マネジメントにも柔軟に対応できるように、3年、4年、5年、6年の各学年をそれぞれ1冊としている。 ・当時の様子に興味をもてるよう、6年では「江戸のまちのようす」を折込ページの見開きで掲載している。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文上のキャラクターの言葉には、気づきや疑問など内容に応じたマークを表記している。 ・学習内容や、事実と意見の違い等を明確にするため、本文を学習活動、子どもの発言、学習内容の3つに分け、ユニバーサルデザインに対応した書体で表記している。 ・単元名の背景色と学習問題の背景色、「わたし(たち)の学習問題」の背景色を単元内で統一している。 ・学習の例を示すため、随所に子どものノート例を掲載している。

令和2年度使用教科用図書審議結果 ⑦

地図

発行者の番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新しい地図帳	<p>・巻頭には、地図や各地への興味・関心を高めるよう、各地の産物や文化を示した、イラスト世界地図とイラスト日本地図を掲載している。</p> <p>・地図の作られ方や読み取り方等が分かるよう、地図が作られる様子を鳥瞰図や絵地図を用いて説明するページや、地図記号や凡例等をキャラクターが説明するページを掲載している。</p> <p>・地図や資料のページにはキャラクターが登場し、学習を支援するために、地図を見る視点や、地図から読み取れること等を会話形式で示している。</p>	<p>・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</p> <p>・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、地図の周辺にキャラクターを配置して、地図の読み取りを手助けする言葉や、考えを促す言葉を示し、多角的に考えられるようにしている。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年生での配付も踏まえ、地図の仕組み、地図記号や凡例、索引、方位、縮尺、地形表現、土地利用、目的に応じた地図の違い等、地図の理解に向けた手立てや地図の読み取り方を掲載するページを設け、キャラクターを活用して説明している。 ・都道府県に関心をもち、学習に生かせるよう、都道府県に関わるクイズを出すコーナーを設けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料のページでは、日本の特色を捉えることができるよう、テーマに沿った主題図や統計資料等を配置し、関連するデータやイラストを示している。 ・地図のページでは、その地域の特色に気付きやすいように、イラストを記したり、写真を掲載したりしている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表紙の裏に世界と日本のイラストマップと各地の自然や文化、産物等を表すイラストを掲載している。 ・主体的に地図を読み取り、活用の手掛かりとできるよう、男女のキャラクターや博士、船長などのキャラクターを配置して、地図の読み取りの視点や地域の特色などを吹き出しで掲載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の地図のページでは、その地域の特色が分かりやすくなるよう、生息する動物や食文化の違いが分かる写真等を掲載している。 ・日本の世界遺産のページでは、日本の世界自然遺産、世界文化遺産の写真を掲載している。 ・首都東京の特色が分かるよう、5万分の1の地図を折込で掲載し、高層ビル群等の写真も掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習を補完するデジタルコンテンツやWebサイトを利用できるよう、「D(デジタル)マーク」を設置している。主体的に取り組めるようにするために、クイズを行ったり、各種資料等を閲覧できるようにしたりしている。 ・地図の理解に向けて、実際の街の様子を地図へ変換する様子をつかめるように、イラスト図と地図を比較して説明するページを巻頭に掲載する構成にしている。 ・歴史の学習での使用も視野に、資料のページの「日本の歴史」では、世界とのかかわりを示す地図や資料を掲載する構成にしている。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日本の都道府県の統計」では各都道府県の情報を16項目で示している。「世界のおもな国の統計」では78ヶ国の情報を8項目で示し、オリンピック、サッカーワールドカップの開催国、世界の州と主な海洋の広さを示す世界地図を掲載している。 ・日本の自然災害や世界地図等について、折込ページを4ヶ所掲載している。 ・A4判を採用している。また、4年間の使用に耐えられるよう、糸かがりで綴じている。折込ページには折り目を強化する加工を行っている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料のページの雨温図のグラフでは月ごとに交互に色を変えている。 ・海底の青から高地の茶色まで、最多17段階で色を変え、高低を表している。 ・50万分の1の地図では、土地利用の様子を8色に分けて示している。 ・ユニバーサルデザインフォントを使用している。都道府県名の表示は赤の太字で表現している。 ・すべての地名にふりがなを付している。 ・説明文は文節改行にしている。
46 帝国	楽しく学ぶ小学生の地図帳 3・4・5・6年	<p>・巻頭の世界地図には、世界各地の様子に興味・関心をもてるよう、各地の自然や産物等のイラスト、あいつの言葉等を示している。</p> <p>・地図の作られ方や読み取り方等が分かるよう、鳥瞰図や絵地図を用いて説明するページや、地図記号や凡例等を説明するページ、確認するための「トライ！」のコーナー等を掲載している。</p> <p>・地図の読み取りの技能や読み取った事実から考える力を高めるために、地図や資料のページには「地図マスターへの道」のコーナーを各所に設けている。</p>	<p>・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</p> <p>・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、「地図マスターへの道」を掲載し、地図の読み取り方を身に付けられるようにしたり、読み取ったことを説明したりする活動を促す工夫を行っている。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年生での配付も踏まえ、地図の成り立ち、方位の活用、地図記号、縮尺の使い方、記号と凡例、さくいん、多様な地図等、地図の理解に向けた手立てや地図の読み取り方を掲載するページを設け、「トライ！」のコーナーで確認するなどして説明している。 ・都道府県について形や文字等、様々な視点から特徴を捉えられるようなページを設けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料のページでは、比較したり関連付けたりして考えることができるようにするために、テーマに沿った主題図や統計資料等を配置している。 ・地図のページでは、土地利用の様子等を捉えることができるよう、各所に拡大地図を掲載している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な場面で主体的に活用できるよう、冒頭に世界地図と世界の挨拶や国旗、文化等が分かるイラスト等を掲載している。 ・意欲を高める手立てとして、各ページに「地図マスターへの道」を掲載し、その内容を達成することで色を塗るコーナーを巻末に設けている。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の地図のページでは、「集まれ！世界の子どもたち」というコーナーを設け、子どもたちの姿を通して、世界の主な国々の文化や特色を掲載している。 ・日本の歴史と世界文化遺産のページでは日本の世界文化遺産の写真を掲載している。 ・「日本の首都・東京」を5万分の1の縮尺で掲載している。「東京都とそのまわり」の地図を20万分の1の縮尺で折込で掲載し、川崎市や二ヶ領用水を掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードを設置し、地図や動画、クイズ等、様々な視点で資料活用能力を育成したり考えを深めたりする手立てにアクセスできるようにしている。 ・地図の理解に向けて、実際の街の様子を地図へ変換する様子をつかめるように、写真やイラスト図と地図を比較して説明をしている。 ・「地図マスターへの道」では、地図を活用して、社会的な見方・考え方を働かせながら調べたり考えたりできるような質問を掲載している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日本の統計」では各都道府県の情報を23項目で示し、農産物の生産、工業の生産額、農水産物の輸入先の帯グラフを掲載している。「世界の統計」では85ヶ国の情報を8項目で示している。 ・日本地図や東京都とそのまわりの地図等について、折込ページを3ヶ所掲載している。 ・A4判を採用している。また、糸かがりで綴ることと、背に寒冷紗をまくことで、4年間の使用に耐えられるようにしている。折り込みページには折り目を強化する加工を行っている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料ページの雨温図のグラフでは降水量の高い月と低い月の色を変えている。 ・海底の青から高地の茶色まで、最多13段階で色を変え、高低を表している。 ・50万分の1の地図では、土地利用の様子を6色に分けて示している。 ・都道府県名は、とめ、はね、はらいが正しく表現されるユニバーサルデザインの学参フォントを使用している。 ・すべての地名にふりがなを付している。 ・説明文は文節改行にしている。

令和2年度使用教科用図書審議結果 ⑦

算数

発行者の 番号略称	書名	編集の趣旨と 工夫	学習指導要領 との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	あたらしいさんすう 1① さんすうのとびら あたらしいさんすう 1② さんすうだいすき！ 新しい算数 2上 考えるっておもしろい！ 新しい算数 2下 考えるっておもしろい！ 新しい算数 3上 考えるっておもしろい！ 新しい算数 3下 考えるっておもしろい！ 新しい算数 4上 考えると見方が広がる！ 新しい算数 4下 考えると見方が広がる！ 新しい算数 5上 考えると見方が広がる！ 新しい算数 5下 考えると見方が広がる！ 新しい算数 6 数学へジャンプ！	・単元の導入では、日常生活を話題とする対話から始まり、学習意欲を高めるような工夫をしている。 ・巻末の補充問題では、関連ページを示し、基礎的・基本的な知識・技能が習得できるようにしている。 ・2年生以上の「今日の深い学び」では、対話を通して問題解決を図るような工夫をしている。	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項である「伝統や文化に関する教育の充実」に関して、現代的な社会問題・教育課題などを取り上げ「算数で読みたい」では、オリンピック・パラリンピックの問題や情報通信技術の問題、また江戸時代に栄えた和算について掲載している。	【知識・技能】 ・巻末にある「ふりかえりコーナー」では、既習内容を確かめたり調べたりできるよう示している。 ・単元で学習した基礎的・基本的な概念や性質の理解、技能の定着を目指して、単元末の「たしかめよう」を設定している。 ・単元と単元の間にある復習問題「おぼえているかな？」では、学習後の基礎的・基本的な性質の理解、技能の強化を図り、次単元の準備ができるような問題を設定している。自己評価ができるように巻末に解答を掲載している。 ・2年生のかけ算九九では、4の段のあとに、白紙の九九表を扱っている。また、九九表を12の段まで広げた表を扱っている。 ・5年生の「速さ」は、「単位量当たりの大きさ」という単元の中で扱っている。 ・6年生の「データの調べ方」では、身の回りの事柄から課題をもち、問題解決的な方法を利用し、それをPPDACサイクルとして説明している。 【思考・判断・表現】 ・数学的な見方・考え方を働かせて考えることができるように、各時間に働かせる数学的な見方・考え方の可視化や、2年生以上の単元末に「つないでいこう算数の目」のページを設定している。 ・写真や絵などを取り入れた問題で、日常生活で意識できるような課題を示している。 ・論理的に判断した過程や結果を図、表、式などの数学的表現で伝え合う学習を「今日の深い学び」で設定している。 ・「算数マイノートをつくらう」「算数マイノートを学習に生かそう」では、論理的な思考活動・表現活動の場としてノートを活用できるように設定し、課題解決の過程や説明の仕方を掲載している。 ・5、6年生で、プログラミング体験ができる「プログラミングを体験しよう！」を設定している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・単元の導入の「単元プロローグ」では、身の回りの事象から数理を見だし、学習内容と生活を関連付けている。 ・学習したことを日常生活に活用できるように、2年生以上の単元末に「いかしてみよう」を設定している。 ・ページの下に、学習の振り返りとして学習を価値づけたり、次の学びへ向かうの児童の姿を示したりしている。 ・各教科等との関連を考慮した教科横断的な教材があり、マークで示している。 【かわさき教育プラン】 ・巻末にある「ほじゅうのもんだい」で、習熟の程度に応じた問題を設け、理解を継続的に確認できる内容を掲載している。 ・集団の中で役割を果たしたり、多様な職業や生き方に触れる場面を示したり、職業に就くことを想定して思考・判断する問題を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・問い、自力思考、集団思考、まとめの流れで掲載し、既習を生かした問題を解決する授業展開ができるよう構成している。 ・2年生以上の上巻巻頭に「学びのとびら」を設定し、主体的・対話的な問題解決の過程を可視化し、体感した上で1年間の学習に入っていけるよう設定している。 ・教科書の内容に関連したデジタルコンテンツがあり、URLや二次元コードによりアクセスして学習できるようにしている。 ・1年生のはじめでは学校生活や生活科等と合科的活動を導入し、6年生では数学の学習を見据えて、中学体験入学コースを掲載している。 【分量・装丁】 ・1年生は①、②の分冊にしてあり、2年生～5年生は上下2分冊、6年生は1冊にしている。 ・判型はB5判(1年の①のみA4判)にしている。	【読みやすさの工夫】 ・キャラクターに吹き出しや、マークを使い、意識させたいことや見方・考え方を整理し表記している。 ・課題とまとめは、枠囲みで表記し、緑色で強調している。 ・算数用語は、グレーの網掛けで囲み、太字に波線を引き強調している。 ・授業の核となる数学的な見方・考え方を緑枠の吹き出しで表現している。 ・文字は視認性を高め、色覚の特性への配慮によりユニバーサルデザイン教科書体を使用している。
4 大日本	たのしいさんすう1ねん たのしい算数2年 たのしい算数3年 たのしい算数4年 たのしい算数5年 たのしい算数6年	・単元の導入では、イラストや写真を用いて児童自身が問題や疑問を見だし、主体的に取り組めるような工夫をしている。 ・基礎的・基本的な知識・技能を習得できるように、巻末の補充問題では、習熟の程度に応じた問題を設定している。 ・授業の流れや数学的活動の流れが分かるように、授業の様子や発表の様子を写真で載せ、発表の様子を吹き出しにするなど学習過程の工夫をしている。	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項である「伝統や文化に関する教育の充実」に関して、今日的な教育課題を取り上げ、防災に係わる問題やオリンピック・パラリンピックの問題、和算の問題などを掲載している。	【知識・技能】 ・既習内容の確認ができるように、「ふくしゅう」ではいくつかの単元をまとめて掲載している。 ・単元末の「たしかめ問題」の「しっかりチェック」では、単元の基礎的・基本的な知識・技能の理解や定着を図れるように、重要な部分にしばって掲載している。 ・2年生のかけ算九九では、4の段のあとに、白紙の九九表を扱っている。また、九九表を12の段まで広げた表の一部を扱っている。 ・5年生の「速さ」は、「速さ」という単元で学習する。 ・6年生の「データの活用」では、身の回りの事柄から課題をもち、PPDACサイクルの流れで表やグラフの生かし方、解決方法を説明している。 【思考・判断・表現】 ・2年生以上の「じっくり深く学び合おう」では、児童の考えが複数提示された板書から、考えを読み取ったり、解決方法を言葉で説明したり、図や式を結びつけたりする様子を、児童の言葉で吹き出しとして掲載している。 ・ひらめきアイテム集では、数学的な見方・考え方をまとめ、学年間を通じ既習の方法で考え理解できるように構成している。 ・「算数たまたまばこ」では、日常に現れる算数の内容を紹介したり、算数の問題を日常に戻したりして、算数と日常を結びつける活動を設定している。 ・友達の考えを読み取り、自分の考えと比べたり、考え方を式、図、言葉で説明したりする活動を「学び合おう」「振り返ろう」などで設定している。 ・「読みとる力をのぼそう」では、情報を収集し既習内容をもとにして自ら説明したり問題を作ったりするなど、論理的に考え、活用や表現する内容を掲載している。 ・発達段階に応じたプログラミング的思考を育むことができるように、全学年に「プログラミングにちょうせん！」を設定している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「なるほど算数教室」では、算数への興味・関心が高まるような問題や話等を掲載している。各教科等との関連も掲載している。 ・「おうちで算数」では、学習したことを家庭や地域での生活にも生かす機会を示し、保護者向けのサポート情報をウェブサイトに掲載している。 ・「算数まなびナビ」では、学習を発展的に広げることや、生活や各教科等に学習を生かせるよう示している。 ・各教科等に関連した活動・題材や統計資料などを扱い、関連していることをマークで示している。 【かわさき教育プラン】 ・「+1(プラスワン)」では、補充問題を掲載し、習熟の程度に応じた学習内容を設定している。 ・大問題に対する適用問題や「たしかめの問題」において、習熟の程度に応じた指導ができるように、問題に青色をつけ問題数を自分で選択できるようにしている。また、「たしかめの問題」の中に、「チャレンジ！」を設定することで、基礎的・基本的な問題と発展的な問題とを分けながら問題を掲載している。 ・算数を生かして仕事をしている方へのインタビューを掲載している。また問題場面にも仕事に関連したものを掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・「じっくり深く学び合おう」では、「学習課題」→「めあて」→「自力思考」→「集団解決」→「まとめ」→「適用問題」の流れで授業展開がされるよう構成している。 ・3年生以上の「じっくり深く学び合おう」では、授業展開の流れに加え「ふりかえろう」を追加し、大切な考えを確認したり、発展的に考えたりすることができるよう設定している。 ・URLや二次元コードより、学習に関連したアニメーションや実写動画、グラフ作成ツールなどがあり、知識・技能を深める教材として工夫している。 ・1年生のはじめでは巻頭に「さんすうのまなびかた」を示し、5、6年生では中学校数学と関連付けた内容を掲載している。 【分量・装丁】 ・全学年1冊にしている。 ・判型はB5判にしている。	【読みやすさの工夫】 ・問題は枠で囲み、ページ色で強調して示している。 ・予想される児童の反応や考え方を吹き出しで示している。 ・問題解決のキーワードとなる言葉や解決へ導く言葉を掲載している。 ・単元の番号を学習の内容によって色分けしている。 ・算数用語は、青の枠で囲み、フォントも太字で表記している。 ・文字はユニバーサルフォントを使用し、カラーユニバーサルデザインを踏まえた配色に配慮している。

発行者の 番号略称	書名	編集の趣旨と 工夫	学習指導要領 との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
11 学図	みんなとまなぶ しょうがっこう さんす う 1ねん上 みんなとまなぶ しょうがっこう さんす う 1ねん下 みんなと学ぶ 算数 2年上 みんなと学ぶ 算数 2年下 みんなと学ぶ 算数 3年上 みんなと学ぶ 算数 3年下 みんなと学ぶ 算数 4年上 みんなと学ぶ 算数 4年下 みんなと学ぶ 算数 5年上 みんなと学ぶ 算数 5年下 みんなと学ぶ 算数 6年 みんなと学ぶ 算数 6年 中学校への かけ橋	・単元の導入では、 学校生活を含めた 日常生活や算数の 中から問題を発見 できるように場面イ ラストで表現し、児 童が興味をもち、 児童から生まれた 問いを「めあて」と するような流れを示 している。 ・巻末の補充問題 では、関連ページ を示し、基礎的・基 本的な知識・技能 が習得できるように し、習熟の程度に 応じた問題を設定 している。 ・身に付けたい3つ の力を2年生以上 の教科書冒頭にま とめ、思考力・判断 力・表現力を育てら れるようにそれぞれ の考え方を使った 問題を設定してい る。	・学習指導要領 に示されている目 標、内容、指導計 画の作成と内容 の取扱いを踏まえ、 「知識・技能」 「思考・判断・表 現」 「主体的に学 習に取り組む態 度」を重視してい る。 ・教育内容の主 な改善事項であ る「伝統や文化に 関する教育の充 実」に関して、世 界の環境への関 心や安全・防災・ 防災において データから読み 取る問題を掲載 している。	【知識・技能】 ・目次に関連のある既習内容とのつながりを提示し、学年間や学年を超えた系統が見えるように工夫している。 ・ページの左側に「～したいな」と、その単元で身に付ける知識・技能について明示し、つまずきやすいポイントで、キャラクターがつぶやいたり図を示したりと、解決の見通しをもたせる手立てを工夫している。 ・2年生のかけ算九九では、4の段のあとに、白紙の九九表の一部を扱っている。 ・5年生の「速さ」は、「単位量当たりの大きさ」という単元の中で扱っている。 ・6年生の「資料の整理」「データの活用」では、身の回りからの問題を、表やグラフから解決する方法の一つとしてPPDACサイクルを使って説明している。 【思考・判断・表現】 ・「〇年生で見つけた考え方」では、既習内容との関わりなどをイラストで示す工夫をしている。 ・数学的な見方・考え方を働かせて考えることができるように、9体のモンスターのキャラクターを活用している。 ・必然的に自分の考えを話し合いたくなるように「話し合いたいな」、「せつめいしたいな」の話し合い活動を示している。 ・2年生以上の巻頭の「3つの学び方をそだてよう」では、3つの力の具体例を掲載している。 ・「ふりかえろうつなげよう」では、その単元で学んだことと既習内容とを関連付けられるように図やキャラクターを用いて解説している。 ・友だちの考えから読み取ったりその考えを利用して自分の言葉でまとめたり、他者に伝えるために何が必要か考えたりできるよう、普段の授業から配慮できるよう示している。 ・本編中の「ノート名人になろう」では、考えたことや疑問に思ったことをノートにまとめる方法を示している。 ・発達段階に応じたプログラミング的思考を育むことができるように、全学年に「プログラミングの〇」を設定している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・単元の導入の「?をはっけん」では、漫画を取り入れ、日常生活や身近な場面から問題を発見し、活動の中から新たな問いをもつような工夫を示している。 ・「活動!!」(高学年は「アクティブ!!」)では、体験活動や話し合い活動などを取り入れ、興味・関心を高めるための工夫をしている。 ・「みんなの町の算数」等のコーナーを設け、日常生活と算数の学習の関連を図り、興味・関心を高め、問いをもつきっかけとなる工夫をしている。 ・社会科の統計資料や国語科の表現活動、体育科の安全教育など各教科等との関連を取り入れている。 【かわさき教育プラン】 ・一人一人の実態や興味・関心に応じて、選択的に扱うことができるように、巻末の「ほじゅう問題」では本文の内容の習熟を確実にするための問題を、単元末の「深めよう」では応用的発展的な問題を設定している。 ・将来なりたい職業を調べて、様々な職業に興味をもったり仕事について考えたりするページを設けている。	【主体的・対話的で深い学びに 関わる構成】 ・「知りたいな」「考えたいな」「た しかめたいな」「やってみたいな」 のサイクルで、児童の問いの連 続により授業が展開し、数学的 な活動が継続される授業の構成 を示している。 ・「ふりかえろう つなげよう」では 単元の振り返りを通して、次への 疑問をもったり、学習への意欲を 高めたりする手立てを行っている。 ・「話し合いたいな」「説明したい な」「比べたいな」などの項目を 設定し、考え方を広げ、統合す る場面を設けている。 ・二次元コードを掲載し、図形や アニメーション、動画などで、理 解を深める工夫をしている。 ・1年生のはじめでは絵本のような 場面から始まる工夫があり、6 年生の別冊「中学へのかけ橋」 では、中学校数学の例題を取り 上げている。 【分量・装丁】 ・1年生～5年生は上下分冊に し、6年は1冊(別冊あり)にして いる。 ・判型はAB判にしている。	【読みやすさの工夫】 ・「見方・考え方」やま とめなどを、キャラク ターを用い、吹き出 しなどにより短い言 葉で示している。 ・大事な用語は太 字、まとめは赤枠で 囲み、表記している。 ・課題提示では、具 体物を実写やイラスト で示している。 ・重要性に応じて文 字の大きさや書体を 変えるなど、読み取り やすくなるような工夫 をしている。 ・色覚特性にも配慮 し、ユニバーサルデ ザインの視点を取り 入れ、色使いやレイ アウトなどに配慮して いる。
17 教出	しょうがくさんすう1 小学算数2上 小学算数2下 小学算数3上 小学算数3下 小学算数4上 小学算数4下 小学算数5 小学算数6	・単元の導入では、 身の回りの問題を 写真やイラストで掲 載し、児童の興味 から生まれる問い から、学習のめあ てをつくる流れを 「予想する」、「やっ てみる」、「話し合 う」、「ふり返る」のよ うに示し、数学的活 動に取り組めるよ うに工夫している。 ・基礎的・基本的な 知識・技能が習得 できるよう、関連 ページを示した巻 末の補充問題があ り、習熟の程度に 応じた問題を設定 している。 ・発表や話し合い の場面では、図や 式などを用いた考 えを掲載し、焦点 化することで、見 方・考え方を働か せ考え、新たな問 いを見いだす設定 を示している。	・学習指導要領 に示されている目 標、内容、指導計 画の作成と内容 の取扱いを踏まえ、 「知識・技能」 「思考・判断・表 現」 「主体的に学 習に取り組む態 度」を重視してい る。 ・教育内容の主 な改善事項であ る「伝統や文化に 関する教育の充 実」に関して、現 代的な社会問 題・教育課題を 取り上げ、オリ ンピック・パラリン ピックの問題やパ スワード(並べ方 と組み合わせ)の 問題などを複数 の学年で掲載し ている。また地域 の2ヶ領用水を 題材にした問題と 写真や、川崎市 等々力競技場に ついての写真も 掲載している。	【知識・技能】 ・学年を超えて知識・技能をつなげるように、系統を意識して学んだり、分からない箇所を参照したりできるようにするなど、既習内容を巻末に「まなびのマップ」として示している。 ・間違えやすい問題に対し「考えるヒント」を示し、何をもとに考えればよいのかということや、図や表をどのように利用すれば理解が進みやすいか支援の仕方を示している。 ・理解の確認のため、毎時の学習で「たしかめ」問題を設定している。またその後、反復練習ができるようにしている。反復練習では、基本的な計算の型を色分けしている。単元の途中に「センスアップ」「算数メモ」「算数ミニクイズ」「言葉の広場」の項目を設けている。 ・単元のまとめでは、「ふりかえろう」で知識を振り返り、「たしかめよう」で技能を確かめられるようにしている。 ・2年生のかけ算九九では、4の段のあとに、白紙の九九表を扱っている。また、九九表を12の段まで広げた表を扱っている。 ・5年生の「速さ」は、「単位量当たりの大きさ」という単元の中で扱っている。 ・6年生の「データの見方」では、身の回りの問題について表やグラフを使って解決する方法をPPDACサイクルで説明している。 【思考・判断・表現】 ・数学的な見方・考え方を働かせて考える工夫として、「なるほど!」のマークで毎日の授業を振り返るようにしている。また、単元のまとめでは、4コマ漫画を使い、学んだことのよさや考え方を振り返ることができるように工夫している。巻末には、前学年までの数学的な見方を繰り返し参照できる手立てがある。 ・具体物、図、言葉、式、数、表、グラフなどを用いて発表したり話し合ったりする活動を設定し、さらに図を用いた考えを式で説明したり、式を用いた考えを図で説明したりするなど表現を相互に関連させ、言語活動を通し数学的に考えたり表現したりする工夫がある。 ・学習を進める上でのノートの書き方の指導ページを設定している。友達のノートのよいところを見つける活動を通して、表現力を高められるよう工夫している。 ・5年生の「正多角形の作図」では、プログラミング体験ができる「プログラミングにちょう戦しよう」を設けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・年度始めの題材として「算数が好きになる はじめの一步」を設け、4年生以上では、学んだことを生かして探究的に取り組めるように「広がる算数」を設けている。 ・「広がる算数」や「算数ワールド」のページを設定し、現代的な諸課題への対応として、環境、防災・安全、福祉、情報などのテーマに関連した題材について考える機会を設定している。 ・単元の導入のきっかけとなるページでは、子どもの身の回りの題材が扱われ、目的意識をもって数学的活動に取り組める工夫がある。 ・社会科のまら探検や理科の気温調べ、英語での式の表現の仕方など教科横断的に取り組めるよう題材を示している。 【かわさき教育プラン】 ・「たしかめ」問題の後に練習問題を1時間ごとに設定している。個別の支援として「考えるヒント」を掲載し、「はってん」マークの発展的な学習、自分で取り組む「ステップアップ算数」を掲載するなど、習熟の程度に応じた学びを設定している。 ・宇宙開発やGPS、AIなどの話題に触れることで、算数が生活や職業等と関連することの理解を深められるように最先端の科学技術を紹介している。	【主体的・対話的で深い学びに 関わる構成】 ・「問い」の連続で学習が進めら れるように工夫している。問題発 見・問題解決の過程を「はてな? →なるほど! →だったら! ?」と 吹き出しで示し、「問い」をもち、 学び合うことで考えが深まるよ うに構成している。 ・単元の導入では身近な題材か ら問題を発見するように構成を 工夫し目的意識をもち数学的活 動に取り組めるようにしている。 単元末の「学んだことを使おう」 では学習したことを日常生活で 活用し何ができるようになったか を実感できるように示している。 ・二次元コードからつながるデジ タル教材「まなびリンク」では、 学習内容と連動しシミュレーシ ョンや実写動画などで数学的活 動を支援する教材を設定してい る。 ・1年生は生活科を中心とした合 科的活動から始まり、6年生では 「数学へのとびら」を設定し、中 学校数学を体験できる問題を取 り上げている。 【分量・装丁】 ・2年生～4年生は上下2分冊に し、1年生、5年生、6年生は1冊 にしている。 ・判型はB5判にしている。	【読みやすさの工夫】 ・課題は、葉のマーク を付けて緑枠で囲ん でいる。 ・問題は、はてな 「?」、まとめは、なる ほど「!」のマークを 付けて、児童の言葉 で示している。 ・算数用語は、赤枠 で囲み、枠内も同色 で強調している。算 数用語は赤色太字 で示している。 ・文字は、ユニバー サルデザインフォ ントを使用してい て、カラーユニバー サルデザインの観 点から色調以外でも 区別できるように配 慮している。

発行者の 番号略称	書名	編集の趣旨と 工夫	学習指導要領 との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
61 啓林館	わくわくさんすう1 わくわく算数2上 わくわく算数2下 わくわく算数3上 わくわく算数3下 わくわく算数4上 わくわく算数4下 わくわく算数5 わくわく算数6	・単元の導入では、その単元の学習に関する既習内容を巻末に掲載して知識・技能を確認できるようにし、問いかけや日常生活の場面を最初に示している。 ・基礎的・基本的な知識・技能を習得できるように、関連する問題を巻末の補充問題に設定している。 ・日常生活と関連を図った課題を設け、課題解決を通して理解を深めていくような工夫をしている。	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項である「伝統や文化に関する教育の充実」に関して、他国の文化を紹介する題材や国際協力についての問題、オリンピック・パラリンピック教育につながる題材を掲載している。	【知識・技能】 ・単元の最初にどの学年のどの単元が既習事項か分かるように、巻末に「じゅんぴ」を掲載している。 ・表紙とそれぞれの単元とびらに二次元コードがあり、1単元分の問題を掲載している。 ・「数と計算」の領域では、知識・技能の習得のため、細かいステップを設定している。 ・2年生のかけ算九九では、4の段のあとに、白紙の九九表の一部を扱っている。また、九九表を12の段まで広げた表を扱っている。 ・5年生の「速さ」は、「速さ」という単元で学習する。 ・6年生の「資料の調べ方」では、身の回りの問題について表やグラフを使って解決する方法をPPDACのサイクルの方法で説明している。 【思考・判断・表現】 ・「わくわく算数ひろば」では、「どんな計算になるのかな」「算数の自由研究」「みらいへのつばさ」など、身近な題材を取り上げ、様々な活用問題や思考力を問う問題で構成した特設コーナーを設けている。 ・思考力の育成に関連して、「図を使って考えよう」「表を使って考えよう」を設置している。 ・自分の考えを図、式、数直線で分かりやすく説明できるように、2年生以上の巻末に「わかりやすく説明しよう 友だちの考えをよく聞こう」を設定している。 ・自分の考えを話したり書いたりするような表現する力の育成に関して、ノートの作り方について指導するページとして「わくわく算数ノート」を設定している。 ・5年生の「算数ラボ」では、プログラミング的思考を育む内容として、正多角形の作図のアルゴリズム体験を設定している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・単元の導入時には、児童自らが課題意識や解決の見通しをもち学習に取り組めるように、日常や既習内容と関連付ける場面を設定している。 ・単元の最初のページに、単元名を掲載するのではなく、日常場面や問いかけを示している。 ・すべての時間にめあてを掲載し、めあてにつながる児童の考えや気付きを、「学びのめばえ」として示している。 ・社会科の世界の国々の人口、体育科のソフトボール投げの記録、生活科の1年生のスタートカリキュラムなど、各教科との関連を配慮した題材を示している。 【かわさき教育プラン】 ・2年生～6年生巻末に「じゅんぴ」「もっと練習」「算数資料集」などの「学びのサポート」を掲載し、「もっと練習」では2段階の問題で習熟の程度に応じた学びを設定している。 ・6年生の学年末の「ひろがる算数」では、算数が仕事につながっている様々な職業の人へのインタビューを掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・全ての単元において「問題」→「学びのめばえ」→「本時のめあて」→「自力思考」→「集団思考」→「まとめ」→「適用問題」→「もっと練習」の流れを児童の活動の様子で構成している。 ・自力思考で出てくると予想される途中段階の図や表を掲載している。 ・補充や発展問題として、単元末に「学びのまとめ」を設けている。また巻末には、「もっと練習」を設定している。 ・二次元コードを掲載し、図形やアニメーション、動画、フラッシュカードで、理解を深める工夫をしている。 ・1年生のはじめでは「わくわくすたあと」で、算数と関連する体験活動を設定している。6年生の巻末では中学校で学ぶ数学の簡単な紹介を掲載している。 【分量・装丁】 ・2年生～4年生は上下2分冊にし、1年生、5年生、6年生は1冊にしている。 ・判型はB5判にしている。	【読みやすさの工夫】 ・「めあて」と「まとめ」の色を同じにすることで対応していることを示している。 ・単元とびらの左上に巻末の問題へのリンクを載せている。 ・板書例やノート例を掲載し、図のかき方を扱っている。 ・算数用語はオレンジの枠で囲み、太字で示している。 ・文字は、ユニバーサルデザインフォントを使用し、色使いもカラーユニバーサルデザインの観点から配慮している。
116 日文	しょうがくさんすう 1ねん上 しょうがくさんすう 1ねん下 小学算数2年上 小学算数2年下 小学算数3年上 小学算数3年下 小学算数4年上 小学算数4年下 小学算数5年上 小学算数5年下 小学算数6年	・単元の導入では、児童の興味や関心を持たせる題材を取り上げるとともに、既習内容の振り返りや身の回りの観察などの工夫を示している。 ・基礎的・基本的な知識・技能を習得できるように巻末の補充問題では、関連のページを示し、習熟の程度に応じた問題を設定している。 ・児童が考え、話し合い、答えを導き出す学習展開を「自分でみんなで」で示している。	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項である「伝統や文化に関する教育の充実」に関して、無形文化遺産である和食についての問題や、和算についての問題を掲載している。	【知識・技能】 ・既習内容を確認したり、単元の終わりに学んだことを確かめられたりできるように、「たしかめポイント」を設けている。 ・「次の学習のために」のコーナーでは、既習内容との関わりを「学年・単元名」という形で明示し、各設問番号の左上に掲載している。 ・「わかっているかな？」や「まちがいがやすい問題」では、ポイントを明記し学習した問題にもう一度取り組む機会を設けている。 ・つまずきやすい内容を重点的に取り上げ、知識・技能を定着させるコーナーを単元末に設けている。見直しの進め方や正しい考え方のヒントを掲載している。 ・前学年や前巻までに学習したことで当該学年の内容に関わる既習内容を整理し、巻末の「これまでに学習したこと」のコーナーに掲載している。 ・2年生のかけ算九九では、4の段のあとに、白紙の九九表の一部を扱っている。また、九九表を12の段まで広げた表の一部を扱っている。 ・5年生の「速さ」は、「単位量当たりの大きさ」という単元の中で扱っている。 ・6年生の「資料の調べ方」では、身の回りの気になる問題を分析する方法として、PPDACサイクルを掲載し、調べる方法を紹介している。 【思考・判断・表現】 ・「よみとろう あらわそう」では、図や言葉、式、数直線での読み取り方、表し方を掲載している。 ・3年上、4年上、5年上、6年の教科書巻末の「算数で使いたいことば・考え方」のページでは、自分の考えを学習した言葉を使って発表したり、分かりやすく説明したりする例を掲載している。 ・「算数ノートをつくらう」という巻頭のページで、筋道を立てて考える力や表現力を育てるために、考えた過程や友達の考えなどを書き示したノート見本を掲載している。 ・5年生の「正多角形」では、コンピュータで正多角形をかくプログラムを考える題材を取り上げている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・習得した知識や技能を用いて身近な生活や学習に活用できるよう「ハロー！算数」（1～3年）、「Hello！Math」（4～6年）というコーナーを設けている。 ・数学的活動を具体的にイメージできるように写真や準備するもの、手順などを掲載している。 ・「活用」「算数アドベンチャー」のコーナーでは、他教科や日常生活と結びつけた統合的な算数の問題を掲載している。 ・小学校で学んだことを数学の世界へとつなげ、数学的な力を探究することができるように、6年生の巻末「マテマランドへようこそ」を設定している。 ・社会科の作物のとれ高、理科の気温の変化、家庭科のドレッシング作りなど、各教科等との関連を配慮し題材を示している。 【かわさき教育プラン】 ・2年生以上の教科書には、実態に合わせた取り組みができるよう「算数マイトライ」という補充問題を掲載し、各単元の学習に対応する補充問題と解答を掲載している。 ・「算数マイトライ」は、本編の補充問題「しっかりチェック」、応用的・発展的な問題「ぐっとチャレンジ」「もっとジャンプ」に分けて掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・「自分で みんなで」というコーナーを設け、その学習時間の着目点や学習の展開を掲載している。教室での学習シーンを模した紙面構成で、児童たちが考え、話し合い、答えを導き出すまでの展開を記載している。 ・巻末の「学び方ガイド」では、授業展開と同じように「どんな問題かな」「考えよう」「学びあおう」「ふり返ろう」という学び方の4つのステップに沿って掲載している。 ・URLよりつながるデジタルコンテンツにおいて、動画やアニメーションなどで図形などのイメージをつけやすく工夫している。 ・1年生のはじめで「さんすうのはじまり」を、6年生では「もうすぐ中学生」を設定している。 【分量・装丁】 ・1年生～5年生は上下2分冊にし、6年生は1冊にしている。 ・判型はB5判にしている。	【読みやすさの工夫】 ・課題は番号をつけて四角で囲んでいる。 ・「大切なきまりやことば」はマークを付け、色付きの枠で囲み示している。 ・算数用語は色の網掛けで囲み、太字で示している。 ・色覚特性にも配慮し、カラーユニバーサルデザインの観点から工夫している。

令和2年度使用教科用図書審議結果 ⑦

理科

発行者の番号 略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新しい理科3 新しい理科4 新しい理科5 新しい理科6	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の主体者である児童の気付きや疑問から問題解決の学習をスタートするために、何の学習が始まるのかを簡易的な体験や写真、まんが等の資料をきっかけにして気付かせる「レッツスタート」を単元導入の見開きページに設定している。 ・既習を生かして「理科の見方・考え方」を働かせて考え、仲間と協働して問題を解決する楽しさを味わわせるための支援として「学んだことを使おう」、「理科のミカタ」を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して「レベルアップ 理科の力」で自分で考えた後に対話を促しており、次ページには対話の具体例も示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 ・観察、実験等の流れを番号と矢印をつけた説明文で左側に示し、それに対応する写真や図を右側や下に配置し、注意事項は「きけん」マークとともに赤字で示している。 ・観察、実験で使用する道具のチェック欄を掲載している。また、道具等の使い方は巻末の「資料」にまとめ、本文中では、矢印マークとともに該当するページ番号を示している。また、巻末の「インターネットをつかってみよう」に記載がある二次元コードを使って検索することで、実験器具の操作を動画で確認できるようにしている。 ・学んだことの確認や活用を通して、知識の定着を図るために、各単元末に「たしかめよう」を設定している。また、1年間の学習を振り返る「学んだことをふり返ろう！」を巻末に設定している。 ・6年のプログラミングは4ページで、ソニーの「MESH」と無料のビジュアルプログラミング環境「Scratch(スクラッチ)」の教材やソフトを写真で紹介している。また、Scratchベースの東京書籍のソフトを二次元コードで使えるようにしている。 【思考・判断・表現】 ・巻頭に問題解決の流れを示しており、その問題解決の過程を、「問題をつかむ」、「調べよう」、「まとめよう」の3つにまとめている。 ・児童が、どの過程の問題解決をしているかを自覚できるように、左端にある問題解決の見出しを線でつないでいる。 ・児童の思考を助けるため、問題解決の過程で児童が働かせる「見方・考え方」を示した「理科のミカタ」を問題解決の場面に記載するとともに、巻末に、振り返りとして「理科のミカタ」をまとめている。 ・学んだことを活用できるかを見取るため、「考えよう」という設問を単元末の「たしかめよう」の中に設定し、理由を文章で表現させるようにしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・表紙に学習の主体者である児童が探究する姿、巻頭に興味・関心を高める写真等や問いかけを掲載している。 ・児童が自然事象に触れ合い、そこでの気付きや疑問を出発点に主体的な学習を進められるように、簡易的な体験や、きっかけとなる写真やまんがを掲載した「レッツスタート」を単元導入に設定し、単元のタイトル、内容につなげている。目次も裏表紙に掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・単元末に、協働して学んだことを振り返り、良いと思った友だちの考え、自分にとって役立つと思ったことを表現させ、学びの意味につなげる「ふり返ろう」を設定している。 ・学ぶ意義や有用性の実感につなげる工夫として、学習の「まとめ」の後に「学びを生かして深めよう」で表現する場面や、日常生活や社会との関わりがある事例等を紹介する「理科のひろば」を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・5年は「天気の変化」「植物の発芽と成長」「魚のたんじょう」「花から実へ」「台風と天気の変化」「流れる水のはたらき」「物のとけ方」「人のたんじょう」「電流が生み出す力」「ふりこのきまり」の順で掲載している。 ・既習を生かして、主体的な問題解決に向かわせる工夫として、単元扉や必要とする思考場面に、理科や他教科等の既習の内容や生活経験と関連付けて考える「学んだことを使おう」を、学んだ学年と教科名等とともに掲載している。 ・問題解決の力を育成する場面「レベルアップ 理科の力」では、児童がまずは自力で問題に正対するように見開きの最後から始まる構成にしている。そして、次ページに、思考場面における児童の対話の例を具体的に示しており、児童が対話のねらいやポイントを捉え、それを、ヒントとして対話的な学びに向かえるようにしている。 ・5、6年では学びによる自己の変容を自覚できるように、単元扉の「学ぶ前の私」、単元末の「学んだあとの私」に同一の問題を設定している。 【分量・装丁】 ・3年：観察17、実験15、活動1 ・4年：観察18、実験16、活動1 ・5年：観察8、実験15、活動3 ・6年：観察5、実験23、活動7 ・判型はA4判としているが、紙質を工夫し、重量を抑えている。 ・3年「昆虫切紙」、4年「星座カード」、5年「実物大の胎児の図」、6年「人体模型」の付録を付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 【読みやすさの工夫】 ・裏表紙に「カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮しています。」「見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。」と掲載している。 ・児童の自然事象に対する興味・関心を引き出す場面では写真のサイズを大きくし、共通点・差異点から問題を見出す場面では比較しやすく並べるなどの工夫をしている。 ・3年では、チョウの成長過程を問題解決の過程に合わせて少しずつ見せるための工夫をしている。 ・差し込む図の大きさに合わせて、左右方向を上下にするなど、紙面の幅を考えたレイアウトにしている。 ・用語は黒で、フォントのサイズを大きくし、下線を引いている。
4 大日本	たのしい理科3年 たのしい理科4年 たのしい理科5年 たのしい理科6年	<ul style="list-style-type: none"> ・学ぶ意義や有用性の実感につなげるために、学習したことを自らが生かす場面として「深めよう」、日常生活や社会に生かされていることを知って深める場面として「りかのたまたまばこ」、「サイエンスワールド」等の複数の資料を掲載している。 ・問題解決のどの過程の学習かを児童に意識させ、繰り返すことで問題解決の力を育成するために、ページの上部の両端に色別で示したり、背景色を変えたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して巻頭に「話し合いのしかた」を掲載するとともに、話し合い活動の場面を吹き出しのある児童のイラストで示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 ・観察、実験等の流れを番号をつけた説明文で左側に示し、それに対応する写真や図を右側か下に配置し、注意事項は枠で囲み、「注意」マークとともに赤字で示している。 ・観察、実験で使用する道具等の使い方は、巻末の「私たちの理科室」等でまとめ、本文中では、矢印マークとともに該当するページ番号を青字で示している。 ・巻頭の「教科書の使い方」にある二次元コードを使い、【たのしい理科ウェブ】の様々な資料から選択すると、実験器具の操作を動画で確認できるようにしている。 ・学んだことの確認や活用を通して、知識の定着を図るために、各単元末に「確かめよう」と「学んだことを生かそう」を設定している。また、1年間の学習を振り返る「まとめ」と「チャレンジ問題」を巻末に設定している。 ・6年のプログラミングは4ページで、主にソニーの「MESH」を教材とした実験例を紹介しているが、無料のビジュアルプログラミング環境「Scratch(スクラッチ)」等の教材やソフトも紹介している。 【思考・判断・表現】 ・巻頭に問題解決の流れを示しており、その問題解決の過程を、「見つけよう」、「調べよう」、「伝えよう」の3つにまとめている。そして児童が、どの過程の問題解決をしているかを自覚できるようにページの上部の両端に色別で示している。 ・3年では「問題を見つけよう」、4年では「予想しよう」、5年では「計画しよう」、6年では「考えよう」のように、その学年で重点を置く問題解決の過程に★マークを付けている。 ・単元の導入にある見開きの写真等から問題を見出すためのヒントとして、キャラクターが「理科の見方」につながる着目点を示している。 ・話し合いの場面では、「理科の見方・考え方」を働かせた発言の例を掲載している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・表紙、裏表紙にその学年の学習に関連のある複数の写真とイラストを、その裏の巻頭に国語や英語等と関連がある文や写真を掲載している。 ・単元扉に、問題を見つけるためのきっかけとなる写真やイラストを掲載するとともに、タイトル下のリード文で対話を促している。 【かわさき教育プラン】 ・学ぶ意義や有用性の実感につなげる工夫として、学習の「結論(わかったこと)」の後や単元末に、「深めよう」や日常生活や社会との関わりがある事例等を紹介している「りかのたまたまばこ」、発展的内容の「サイエンスワールド」を設定している。 ・単元末「学んだことを生かそう」、巻末「チャレンジ問題」に日常生活との関わりのある問題を取り上げている。 	<ul style="list-style-type: none"> 【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・5年は「天気の変化」「植物の発芽と成長」「メダカのたんじょう」「台風と防災」「植物の実や種子のでき方」「流れる水のはたらきと土地の変化」「ものたんじょう」「ふりこの動き」「電磁石の性質」「人のたんじょう」の順で掲載している。 ・既習を生かして、主体的な問題解決に向かわせる工夫として、単元扉や必要とする思考場面に、「〇年で学んだこと」、「生活科で学んだこと」、「生活科とのつながり」を掲載し、既習事項を示している。また、「予想」の場面等の吹き出しで生活経験を基にした考え方を紹介している。 ・他者の考えに触れ、考えを深めるための手立てとして、「予想」や「計画」、「考察」の問題解決の過程に、対話する児童の様子を、吹き出し付きで描いている。 【分量・装丁】 ・3年：観察12、実験15 ・4年：観察23、実験17 ・5年：観察4、実験12、活動4 ・6年：観察2、実験19、活動9 ・判型はAB判としている。 ・3年「しぜんのかんさつ」、5年「災害に備えようブック」の付録を付けている。 ・3年に、巻末にあるシールを使って学ぶ単元を4つ設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【読みやすさの工夫】 ・裏表紙に「見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。」と掲載している。 ・児童の自然事象に対する興味・関心を引き出す場面では写真のサイズを大きくし、共通点・差異点から問題を見出す場面では比較しやすく並べるなどの工夫をしている。 ・繰り返し行われる問題解決のどの過程の学習かが分かるように、「問題」は緑、「予想」「計画」「実験」「結果」はオレンジ、「考察」「結論」は青の項目に分けて表記するとともに、表現、表記の仕方をどの単元でも揃えている。 ・用語は黒で太字にしている。

発行者の番号 略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
11 学図	みんなと学ぶ 小学校理科 3年 みんなと学ぶ 小学校理科 4年 みんなと学ぶ 小学校理科 5年 みんなと学ぶ 小学校理科 6年	<ul style="list-style-type: none"> 何をどのように学習するのかの見通しをもったり、系統性を意識して問題解決の学習に取り組んだりするように、単元扉に1年間で学ぶ単元の見出しや単元の内容、学び方である「調べていこう」を掲載している。 科学者等、科学の発展に寄与した人物からのメッセージを通して、持続可能な社会の担い手であることを児童に意識させるとともに、観察、実験の技能も含めた問題解決の力を育むための支援として、二次元コードを利用した動画の提示等の工夫をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、巻末の「考えよう調べよう」に考えを深めるための伝え合いの活動についてのポイントを示す「伝える・聞く」を設定するとともに、異なる意見や視点を、問題解決の場面における児童の吹き出しで示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 <ul style="list-style-type: none"> 観察、実験等の流れを、番号をつけた説明文で左側に示し、それに対応する写真や図を右側か下に配置し、注意事項は「注意」マークとともに赤字で示している。 観察、実験で使用する道具等の使い方は、一部本文中にあるが、繰り返し使うものは巻末の「実験器具の使い方」にまとめ、本文中では、矢印とともに該当するページ番号を示している。 観察、実験器具の操作を動画ですぐに確認できるように、器具の一つ一つに二次元コードを記載している。また、巻末の「実験器具の使い方」には手順にチェック欄を設定している。 学んだことの確認や活用を通して、知識の定着を図るために、各単元末に「まとめてみよう」を設定している。また、1年間の学習を振り返る「〇年生で学んだこと」を巻末に設けるとともに、索引として使える「大事な言葉・調べ方や使い方」を設定している。 6年のプログラミングは6ページで、独自のソフトが二次元コードで使えるようになっており、教科書の流れに沿って、センサー等の機材がなくても体験できるようにしている。 【思考・判断・表現】 <ul style="list-style-type: none"> 巻頭に問題解決の流れを示しており、その問題解決の過程を、「問題を見つけよう」、「観察実験」、「わかったこと」の3つにまとめている。 児童が、どの過程の問題解決をしているかを自覚できるように、左端にある問題解決の見出しを線でつなぐとともに、ページの下に明示している。 巻頭で領域ごとの見方・考え方を活動と合わせて示したり、本文中で具体的な場所で示したりすることで、見方・考え方を働かせながら学習できるようにしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 <ul style="list-style-type: none"> 表紙にその学年の学習に関連のある科学者等の写真、裏表紙と巻頭に、科学者の言葉と、その学年の学習に関連のある写真やイラストを掲載している。 単元扉にあるタイトルの横のリード文や「調べていこう」等で、何を学習していくかを示すとともに、関連のある写真や、きっかけとなる写真、イラストを掲載している。 活動や事象を通して自ら問題を見つける場面、「問題を見つけよう」を単元扉の次ページのはじめに設定している。 【かわさき教育プラン】 <ul style="list-style-type: none"> 学ぶ意義や有用性の実感につなげる工夫として、学習の「わかったこと」の後や単元末に、日常生活や社会との関わりがある事例等を紹介している「しりょう」や、探究を促す「しらべてみよう」、「やってみよう」等を設定している。 学んだことを生活や他の場面に置きかえて考える箇所に「活用 学びを生かそう」マークを付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 <ul style="list-style-type: none"> 5年は「ふりこの運動」「種子の発芽と成長」「魚のたんじょう」「台風の接近」「実や種子のでき方」「雲と天気の変化」「流れる水のはたらき」「川と災害」「電流のはたらき」「冬から春へ」「もののとけ方」「人の誕生」の順で掲載している。 見通しをもたせて、主体的な問題解決に向かわせる工夫として、見開きの単元扉に1年間で学ぶ単元名が左側に、この単元で学ぶ内容を右側、学び方を右下の「調べていこう」に掲載している。 他者の考えに触れ、考えを深めるための手立てとして、「予想」や「計画」、「考察」の問題解決の過程に、対話する児童の様子を吹き出し付きで描いている。 単元末に、協働して学んだことを振り返り、自分にとって大事だと思ったこと、もっと調べたいと思ったことを表現させ、学びの意味の自覚や次の学習への意欲につなげる「できるようになった」を設定している。 【分量・装丁】 <ul style="list-style-type: none"> 3年：観察18、実験17 4年：観察18、実験17 5年：観察5、実験15、活動6 6年：観察5、実験25、活動1 判型はAB判としている。 巻末に付録はないが、理科の学び方を示した「見つける」「伝える、聞く」「観察」「記録」「調べる」「まとめ(3年のみ)」「道具の使い方」を説明した「考えよう調べよう」を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【読みやすさの工夫】 <ul style="list-style-type: none"> 裏表紙に「色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの人に見やすいように配慮して作成しました。」と掲載している。 児童の自然事象に対する興味・関心を引き出す場面では写真のサイズを大きくし、共通点・差異点から問題を見出す場面では比較しやすく並べるなどの工夫をしている。 繰り返し行われる問題解決の過程の見出しやレイアウト等の表記、表現をどの単元でも揃えている。 何の領域の学習か意識させるため、単元扉の見出しの色を、エネルギーはオレンジ、粒子は青、生命はピンク、地球は緑と、分けている。 用語は黒で太字にしている。
17 教出	みらいをひらく 小学理科 3 未来をひらく 小学理科 4 未来をひらく 小学理科 5 未来をひらく 小学理科 6	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが未来を切り拓くために必要な資質・能力を身に付けるために、登場人物が行う問題解決を自分の事として捉えさせる呼びかけ等の工夫を行うとともに、自分の考えを伝え合い、学び合うためのポイントを巻頭に掲載し、その後の学習で活用を促している。 学んだことを活用して、学びを広げ、理科を学ぶ意義や有用性を実感させる工夫として「学びを広げよう」を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して巻頭に「自分たちの考えを伝え合い、学び合おう」を設け、話型等を示すとともに、考えを伝え合う場面を吹き出しのある児童のイラストで例示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 <ul style="list-style-type: none"> 各学年の教科書の裏表紙に、観察、実験で注意すべき点をまとめた「理科の安全の手引き」を掲載している。 観察、実験等の流れを、番号と矢印をつけた説明文で左側に示し、それに対応する写真や図を右側か下に配置し、注意事項は「きけん」マークとともに赤字で示している。 観察、実験で使用する道具のチェック欄を設定している。また、道具等の使い方を初めて使う時の本文中に掲載し、それ以後は、矢印マークとともに該当するページ番号を記載している。 学んだことの確認や活用を通して、知識の定着を図るために、各単元末に「たしかめ」を設定している。また、1年間の学習を振り返る「〇年で学んだこと」を巻末に設定している。 6年のプログラミングは2ページで、「チャレンジ」として発展的に扱い、無料のビジュアルプログラミング環境「Scratch(スクラッチ)」の教材やソフトを紹介している。 【思考・判断・表現】 <ul style="list-style-type: none"> 巻頭に問題解決の流れを示しており、その問題解決の過程を、「問題を見つける」、「自分の考えをつくる」、「自分の考えを確かめる」、「わかったことを表現する」の4つにまとめている。 児童が、どの過程の問題解決をしているかを自覚できるように、左端にある問題解決の見出しを線でつないでいる。 児童が対話的に学ぶ姿を表したイラストの中の吹き出しで、見方・考え方や表現の仕方の例を示すとともに、キャラクターがヒントを与えるような工夫をしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 <ul style="list-style-type: none"> 表紙にその学年の学習に関連のある複数の写真とイラスト、学習の主体である児童が笑顔で探究している写真を、巻頭に「学びを開く」を設定し、その後に学習内容と関連のある専門家からの「メッセージ」を掲載している。 単元扉に、問題を見つけるためのきっかけとなる写真と、児童がそれを見て、疑問や気付き、願いをもっている様子を吹き出しとともに掲載し、「見つけよう」につなげている。 児童が自然の事象に関心をもって働きかけ、比較を通して差異点や共通点に気付き、問題を見いだすように、学習の始まりに「見つけよう」を設定している。 「資料調べ」のページには二次元コードを設け、内容にあった外部のサイトに接続できるようにしている。 【かわさき教育プラン】 <ul style="list-style-type: none"> 学ぶ意義や有用性の実感につなげる工夫として、いくつかの単元末に、日常生活や社会との関わりがある事例等を紹介している「科学のまど」や「広がる科学の世界」、「資料」を設定している。 「わかった！結論」の後に、獲得した知識を他の場面にあてはめて考えたり、身の回りの事象に応用して考えたりといった次の探究へとつなげる「学びを広げよう」を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 <ul style="list-style-type: none"> 5年は「天気の変化」「植物の発芽や成長」「メダカのたんじょう」「花のつくり」「台風に備えて」「花から実へ」「ふりこ」「流れる水と土地」「川と災害」「電流が生み出す力」「人のたんじょう」「受けつがれる生命」「もののとけ方」の順で掲載している。 既習を生かして、主体的な問題解決に向かわせる工夫として、巻頭に「〇年で学んだこと」のページや、単元扉のタイトルの下に、系統性を示し、既習を思い出すヒントになる「学習のつながり」、必要な箇所に「思い出そう」を記載している。 対話を促すために、巻頭に「大切にしたい言葉」、「比べる言葉」、「関係づける言葉」等の、考え方に関する言葉を掲載している。 他者の考えに触れ、考えを深めるための手立てとして、「予想しよう」や「計画しよう」、「結果から考えよう」の問題解決の過程に、対話する児童の様子を、吹き出し付きで描いている。 振り返りを自分の事として行わせる手立てとして、「自分の予想を確かめるために」、「自分の予想が確かめられたか」など、「自分の」という問いかけ方をしている。 【分量・装丁】 <ul style="list-style-type: none"> 3年：観察14、実験16、活動2 4年：観察15、実験18 5年：観察3、実験15、活動3 6年：観察2、実験20、活動8 判型はA4変形判でAB判よりも重量が大きい。 3年「生き物ミニ図鑑」、4年「星座早見」の付録を巻末に設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【読みやすさの工夫】 <ul style="list-style-type: none"> 裏表紙に「色覚の個人差を問わず、カラーユニバーサルデザインに配慮しています。」、「見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。」と掲載している。 児童の自然事象に対する興味・関心を引き出す場面では写真のサイズを大きくし、共通点・差異点から問題を見出す場面では比較しやすく並べるなどの工夫をしている。 繰り返し行われる問題解決の過程の見出しやレイアウト等の表記、表現をどの単元でも揃えている。さらに、「問題」とそれに正対する「結論」はキャラクターとともに、ページの横幅をいっぱいを使い、枠囲みで示している。 実際の大きさを示したり、折込みページの裏表を人の体の裏表に合わせる等の工夫をしている。 理科の用語は黄色い背景に太字で表している。

発行者の番号 略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
26 信教	楽しい理科 3年 楽しい理科 4年 楽しい理科 5年 楽しい理科 6年	<ul style="list-style-type: none"> ・「生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。」のために、身近な地域の自然に触れ合い、児童が諸感覚を働かせて、主体的に問題を見いだすことができるように観察の機会を創出するなどの工夫を行っている。 ・実験を伴う問題解決の学習を繰り返すための工夫として身近な材料で準備ができ、できる限り個人での実験ができるような工夫を行い、体験を増やしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して「話し合しましょう」と促したり、話し合いの場面を吹き出しのある児童のイラストで例示したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 ・観察、実験等の流れを、番号を付けた説明文で左側に示し、残りのスペースに関連する写真や図を配置しており、注意事項は枠で囲み、「注意」マークとともに黒字で示している。 ・観察、実験で使用する道具の使い方を本文中に記載している。 ・学んだことをまとめた「まとめよう」を単元末に設定している。 ・6年のプログラミングは6ページで、無料のビジュアルプログラミング環境「Scratch(スクラッチ)」の教材やソフトを写真で紹介している。 ・地域の特色のある自然や身近な事物、現象を活かした素材を教材としている。 【思考・判断・表現】 ・巻頭の「理科の学習の進め方」で、「自然とふれ合おう」「問題を見つけよう」「予想をもとう」「予想の確かめ方を考えよう」「確かめよう」「結果を記録しよう」「いえること・いえないことを考えよう」「まとめよう」の8つの問題解決の流れを示している。 ・5、6年の「考えてみよう」で、互いの予想や考えを出し合って練り合う場面を設定し、理科の見方・考え方につながるヒントを児童の吹き出しで示すとともに、次の問題につなげている。 ・「問題」の文末表現を「～だろうか。」という疑問形で統一している。 ・思考活動を支援し、見通しをもたせるヒントとして、児童が話している吹き出し付きの絵を掲載している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・表紙、裏表紙、巻頭に、その学年の学習に関連のある写真や地域の自然の写真、イラストを掲載している。 ・単元扉では、リード文で、何を学習していくかや疑問を示すとともに、関連のある写真や、きっかけとなる写真、イラストを掲載している。 ・主体的に学習に取り組む態度を育成するために「やってみよう自由研究」を見開き4ページで各学年に設定している。 【かわさき教育プラン】 ・学習したことをもとに、読んだり調べたりすることにより知識を増やしたり、理解を深めたりするための工夫として、関連のある箇所に「しりょう」を掲載している。 ・学ぶ意義や有用性の実感につなげる工夫として、「しりょう」で日常生活や社会との関わりがある事例等を紹介したり、単元末等に学んだことを生かして体験する「やってみよう」、「ものづくり」を設定したりしている。 ・「ものづくり」では、身近な材料を使って作成する、複数の例を紹介している。 ・学習したことの発展や日常生活との関わりとして「しらべてみよう」のページを設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・5年は「天気の変化(1)」「種子の発芽」「植物の成長」「生命のたん生(魚)」「花のつくりと実」「生命のたん生(人)」「天気の変化(2)」「流れる水のはたらき」「電じ石のはたらき」「もののとけ方」「ふりこの運動」の順で掲載している。 ・既習を生かして、主体的な問題解決に向かわせる工夫として、単元扉のタイトルに「思い出そう」を掲載し、既習を確認している。 ・他者の考えに触れ、考えを深めるための手立てとして単元扉で問題を見いだす場面や、観察、実験の前後の問題解決の過程に、対話する児童の様子を、吹き出し付きで描いている。 ・5、6年の「考えてみよう」で、互いの予想や考えを出し合って練り合う場面を設定し、対話的な学びを促している。 ・単元末に学びを振り返る「まとめよう」のページを設定している。 【分量・装丁】 ・3年：観察19、実験29 ・4年：観察25、実験36、活動1 ・5年：観察14、実験26、活動6 ・6年：観察19、実験44、活動10 ・問題の解決に向けて、スモールステップで実験(観察)1、2…と積み上げていく構成にしている。 ・判型はAB判としている。 	<ul style="list-style-type: none"> 【読みやすさの工夫】 ・裏表紙に「必要な情報がより多くの人に伝わるようにカラーユニバーサルデザインに配慮して作られています。」と掲載している。 ・児童の自然事象に対する興味・関心を引き出す場面では写真のサイズを大きくし、共通点・差異点から問題を見いだす場面では比較しやすく並べるなどの工夫をしている。 ・繰り返し行われる問題解決の過程に合わせて、「?」「問題」「考えてみよう」「観察」「実験」「調査」「まとめよう」のマークを設定し、マークの配色やレイアウト等の表記、表現をどの単元でも揃えている。 ・理科の用語は黒字の太字のゴシック体で表している。
61 啓林館	わくわく理科 3 わくわく理科 4 わくわく理科 5 わくわく理科 6	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎・基本を大切に、知識・技能の定着に向けて繰り返し想起させるための工夫として、すぐに写真や動画等で既習が確認ができる二次元コードを掲載したり、単元末に「たしかめよう」を設定したりしている。 ・学ぶ意義や有用性の実感につなげる工夫として、単元末に「つなげよう」を設定して、日常生活や社会との関わりがある事例や発展的な内容等を紹介している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して「問題をつかもう」や「予想・計画」を立てる場面で話し合う活動を設定するとともに、巻末には「話し合いのしかた」を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 ・観察、実験等の流れを、番号をつけた説明文を左側に示し、それに対応する写真や図を右側か下に配置し、注意事項は「注意」マークとともに赤字で示している。 ・観察、実験で使用する道具等の使い方は、本文中で説明しており、操作を動画で確認できるように、一つ一つに二次元コードを記載している。さらに、巻末にある「実験器具の使い方」に、要点をまとめて記載している。 ・学んだことの確認や活用を通して、知識の定着を図るために、各単元末に「ふり返ろうまとめノート」「たしかめよう」「活用しよう」を設定している。また、二次元コードを利用して、いくつかの確認問題を行えるようにしている。 ・6年のプログラミングは4ページで、器具を使わなくても、巻末付録のシートとシールで対応できるようにしている。コンピュータを使う例としては無料のビジュアルプログラミング環境「Scratch(スクラッチ)」の教材を写真で紹介している。 ・単元末に、知識・技能の確認ができる「たしかめよう」や、学習したことを簡潔にまとめ、学習の振り返りができる「まとめノート」や用語のチェックができる「新しく学習した言葉」を設定している。 【思考・判断・表現】 ・巻頭に問題解決の流れを示しており、その問題解決の過程を、「みつける」、「調べる」、「ふり返る」の3つにまとめている。 ・児童が、どの過程の問題解決をしているかを自覚できるように、左端にある問題解決の見出しを線でつないでいる。 ・問いかけや児童の発言の吹き出しで、理科の見方・考え方を例示している。 ・巻末に次学年につなげたい理科の見方を振り返る「〇年の理科をふり返ろう」、科学者のメッセージを通して、考え方を紹介している「理科の考え方を働かせよう」を設定している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・表紙にその学年の学習に関連のある1枚の写真、巻頭に学習の主体である児童が自然に触れている写真とメッセージを掲載している。 ・見開きの単元扉で、タイトルの下に学習のめあてを示し、関連のある写真や、きっかけとなる写真、イラストをリード文とともに掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・学ぶ意義や有用性の実感につなげる工夫として、単元内に学習内容と関連のある資料「理科の広場」、単元末に日常生活や社会との関わりがある事例や発展的な内容等を紹介している「つなげよう」を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・5年は「花のつくり」「植物の発芽と成長」「メダカのはたらき」「人のたんじょう」「台風と気象情報」「花から実へ」「雲と天気の変化」「流れる水のはたらき」「ふりこのきまり」「もののとけ方」「電流と電磁石」の順で掲載している。 ・既習や生活経験を生かして、主体的な問題解決に向かわせる工夫として、単元扉に「思い出してみよう」を掲載している。二次元コードを利用すると写真や動画、振り返りの問題等で既習を確認できるようにしている。 ・他者の考えに触れ、考えを深めるための手立てとして、単元扉や「予想」、「結果から考えよう」「もっと知りたい」等の問題解決の過程に、対話する児童の様子を吹き出し付きで描いている。 ・巻末の「伝えるときのまとめ方」や「話し合いのしかた」で、話すときと聞くときの要点を例示し、対話を支援している。 ・学びによる自己の変容を自覚できるように、単元扉の「はじめに考えよう」、単元末の「もう一度考えてみよう」に同一の問題を設定している。 【分量・装丁】 ・3年：観察15、実験14、活動2 ・4年：観察16、実験18、活動7 ・5年：観察5、実験18、活動6 ・6年：観察3、実験23、活動10 ・判型はAB判としている。 ・3年「植物と昆虫の探検カード」、5年「雲の観察カード」、6年「月の満ち欠けモデル」と「プログラミングのシートとシール」の付録を巻末に設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【読みやすさの工夫】 ・裏表紙に「個人の特性にかかわらず、内容が伝わりやすい配色・デザインを用いました」「見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。」と掲載している。 ・児童の自然事象に対する興味・関心を引き出す場面では写真のサイズを大きくし、共通点・差異点から問題を見いだす場面では比較しやすく並べるなどの工夫をしている。 ・繰り返し行われる問題解決の過程の見出しやレイアウト等の表記、表現をどの単元でも揃えている。さらに、「問題」とそれに正対する「まとめ」の見出しをオレンジ色の背景で揃えている。 ・右ページに問題や実験方法、次ページの左ページに結果や考察とページを分け、実験中に結果が見えないようにしている。 ・用語は太字、フォントサイズも大きくしている。

令和2年度使用教科用図書審議結果 ⑦

生活

発行者の番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	どきどき わくわく あたらしい せいかつ 上 あしたへ ジャンプ 新しい 生活 下	<ul style="list-style-type: none"> 生活科で求められる学習過程を児童の姿で表現し、育成を目指す資質・能力を具体的に示している。 スタートカリキュラムに係る学習活動では、保護者に向けてのメッセージを掲載し、生活科の学びを家庭や社会とつないでいく工夫を行っている。 巻末の「かつどうべんりてちょう」や別冊の図鑑等で低学年児童が身に付けたい知識や技能を掲載し、学習に活用できるような工夫を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 教育内容の主な改善事項のうち、「体験活動の充実」に関連して、身近な人・もの・ことと繰り返し関わり、それを基に見付ける、比べる、例える等の学習活動を位置付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 巻末の「かつどうべんりてちょう」で、学習活動に即した習慣や技能を身に付けられる資料を掲載している。 キャラクターが、活動で気を付けることを考えるよう促す吹き出しを掲載している。 紙面右端に安全に学習するための「やくそく」を掲載している。 国語科、算数科、音楽科、図画工作科、体育科、道徳科、特別活動の内容との関連を図って掲載している。 社会科や理科等、中学年以降の学習へのつながりを掲載している。 【思考・判断・表現】 児童が感じたことや考えたことを表しているカードやワークシートの例を、大きいものは1ページの大きさと掲載している。 様子を表す表現として、擬音語や例えを用いて表現している例を掲載している。 感じたことや考えたことを黒板や掲示物、情報機器を使って発表する場面の例を掲載している。 【主体的に学習に取り組む態度】 上巻の初めには、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」のイラストと文章を掲載している。 「？」マークを使って、これからの活動を考える言葉を掲載している。 児童同士で質問をし、答えているイラストや吹き出しを掲載している。 単元の終末に、これから行ってみたい活動を考えている場面の吹き出しを掲載している。 【かわさき教育プラン】 児童が試行錯誤しながら、様々なことができるようになっていく様子のイラストや写真を掲載している。 多様性を考慮し、外国人の児童や、車椅子の児童と一緒に活動しているイラストを掲載している。 地域に住む乳幼児や祖父母、高齢者と活動しているイラストや写真を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 児童の思いや願いからはじまり、友達と関わりながら課題を解決していく構成にしている。 生活科で育成を目指す資質・能力が児童の吹き出しから分かる構成にしている。 上巻巻末に、切り離して屋外の活動に携行できる実物大の図鑑を掲載している。 「保護者の皆さまへ」として、二次元コードやURLコードから学習資料にアクセスできる構成にしている。 【分量・装丁】 上巻は9単元を掲載している。 下巻は9単元を掲載している。 「ポケットずかん」は分冊にしている。 大きさはA4判で、左開きにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 【読みやすさの工夫】 ユニバーサルデザインフォントを使用している。 紙面全体を落ち着いた色合いで統一して、見せたい部分が浮き立つデザインにしている。 文字の大きさや文字の数は低学年の実態に配慮して掲載している。 児童の目線の高さで撮影した写真を掲載している。 漢字にルビを付けている。
4 大日本	たのしい せいかつ 上 なかよし たのしい せいかつ 下 はっけん	<ul style="list-style-type: none"> 写真やイラスト等で学習活動への意欲を喚起する紙面を構成し、低学年児童が主体的に学習活動に取り組む工夫を行っている。 生活科の学びを他教科等につなげたり、幼児教育と中学年の教育につなげたりする工夫を行っている。 季節の流れを意識した大単元で構成しており、その時期に相応しい学習活動に取り組めるような工夫を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 教育内容の主な改善事項のうち、「体験活動の充実」に関連して、上巻は「なかよし」、下巻は「はっけん」というコンセプトで統一し、季節に合わせた身近な人・もの・こととの関わりを学習活動に位置付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 巻末の「かくしゅうどうぐばこ」で見つけた動植物の名前を調べたり、インタビューの仕方を学んだりする資料を掲載している。 キャラクターが、活動で気を付けることを考えるよう促す吹き出しを掲載している。 ページの右端に安全に学習するための「やくそく」を掲載している。 ページの右側に「せいかつことば」「きらきらことば」として、学習内容に関連する言葉を掲載している。 国語科、算数科、音楽科、体育科、図画工作科、道徳科、特別活動の内容との関連を図って掲載している。 社会科や理科等、中学年以降の学習へのつながりを掲載している。 【思考・判断・表現】 児童が思ったり考えたりしたことを表しているカードや、ワークシートの例を掲載している。 感じたり考えたりしたことを黒板や掲示物、情報機器を使って発表しているイラストを掲載している。 例えや擬音語を使った表現の吹き出しを掲載している。 【主体的に学習に取り組む態度】 単元の初めに見開きで大きな写真を掲載している。 幼児教育で学習したことを児童が想起している吹き出しを掲載している。 児童同士で質問をし、答えているイラストや吹き出しを掲載している。 【かわさき教育プラン】 学習を通して自分でできるようになった様子のイラストや写真を掲載している。 多様性を考慮し、外国人の児童や車椅子の児童と一緒に活動しているイラストを掲載している。 祖父母や高齢者と活動しているイラストや写真を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 単元を通して、友達や様々な人と関わりながら学習を深めていく構成にしている。 その時々季節に最も相応しい学習活動で構成している。 児童が自ら「探検カメラ」や「探検ライト」を作るページを掲載している。 裏表紙の二次元コードから関連動画を見られるページにパソコンマークを付けている。 【分量・装丁】 上巻は4単元を掲載している。 下巻は5単元を掲載している。 大きさはAB判で、左開きにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 【読みやすさの工夫】 ユニバーサルデザインフォントを使用している。 カラーユニバーサルデザインをふまえた配色にしている。 表紙のイラストの一部が盛り上がっていて、感触を楽しめるようにしている。 児童の目線の高さで撮影した写真を掲載している。 初めて出てくる漢字にはルビを付けている。

発行者の 番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
11 学図	みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ 上 みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ 下	<ul style="list-style-type: none"> 多様性を前提とした問題解決能力の育成を図ることを理念としている。 他者や素材との対話を通して、その中で生まれた思いや願いの実現のために、児童自身が学習活動を決め、自信をもてるような工夫を行っている。 巻末には「せいかつかまなびかた ずかん」を掲載し、児童がどの単元でも活用できる技能を掲載する工夫を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 教育内容の主な改善事項のうち、「体験活動の充実」に関連して、「探検」「遊び」「飼育」「栽培」「家族・成長」の大きく5つの活動領域に整理し、学習活動を位置付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 巻末の「まなびかた ずかん」で観察の方法、道具の使い方、まとめ方、インタビューの方法等を掲載している。 「ものしり のうと」で挨拶の仕方や季節ごとの植物、昔遊び等を掲載している。 国語科、算数科、音楽科、体育科、図画工作科、道徳科、特別活動の内容との関連を図って掲載している。 【思考・判断・表現】 児童が思ったり考えたりしたこと、それに対する教師のコメントを付けたカードやワークシートの例を、大きいものでは1ページの大きさを掲載している。 様々な学習活動において児童が考え、相談し、工夫している様子を掲載している。 人やもの、場所に関する児童の気づきを、掲示物や付箋で整理しているイラストを掲載している。 様子を表す表現として、擬音語や例えを用いて表現している例を掲載している。 【主体的に学習に取り組む態度】 上巻の初めには、入学期に小学校の生活に無理なく入っていくことを促すイラストや言葉を掲載している。 各ページの見出しには、学習するにあたり児童自身が考えている言葉を掲載している。 児童が自分で課題を決め、活動をよりよくしようとする様子を掲載している。 【かわさき教育プラン】 自分自身の成長に気づき、たくさんの人に支えられている様子のイラストや写真を掲載している。 家族については、その構成が多様であることが分かるイラストや写真を掲載している。 多様性を考慮し、外国人の児童や車椅子の児童と教室や屋外で活動している様子を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 児童の思いから問題解決が行われるように、それぞれの単元を「どきどき」「いきいき」「ふむふむ」「にこにこ」で構成している。 児童同士で話し合ったり、質問し合ったりする場面や振り返りをしている場面で構成している。 単元の終わりに「これからも○○」「もっと○○しよう」と、学習したことを日常の生活に生かす構成にしている。 二次元コードを読み込むと、季節の遊び方やおもちゃのつくり方等の動画が見られる構成にしている。 【分量・装丁】 上巻は6単元を掲載している。 下巻は6単元を掲載している。 大きさはA4変形判で、左開きにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 【読みやすさの工夫】 紙面のユニバーサル化を図り、文字の大きさや文字の数は低学年の実態に配慮して掲載している。 単元名や見出しには教科書体を使用している。 児童の目線の高さで撮影した写真を掲載している。 発達段階に合わせて、ひらがなや漢字で表記したり、漢字にルビを付けたりしている。
17 教出	せいかつ上 みんな なかよし せいかつ下 なかよし ひろがれ	<ul style="list-style-type: none"> 生活科で育成を目指す資質・能力を児童にも分かりやすい言葉で各ページに記載する工夫を行っている。 問題解決的な学習を重視し、児童が自ら学習を振り返ることができる工夫を行っている。 幼児教育と中学年の教育への接続に関する内容を積極的に取り上げている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 教育内容の主な改善事項のうち、「体験活動の充実」に関連して、育成を目指す資質・能力を明確にした上で身近な人・もの・ことについて五感を働かせ、多様な方法で関わる学習活動を位置付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 巻末の「学びのポケット」で観察、記録、まとめ方や伝え方、飼育、道具の使い方、安全、公共交通機関の利用等についてポイントを掲載している。 挨拶や手洗い、清掃や整頓等、低学年の児童に必要な学校生活のきまりを掲載している。 国語科、算数科、音楽科、図画工作科、体育科、道徳科、特別活動の内容との関連を図って掲載している。 「社会科へのまど」「理科へのまど」で、中学年以降の学習へのつながりを掲載している。 【思考・判断・表現】 児童が思ったり考えたりしたことを表しているカードやワークシートの例を、大きいものでは半ページの大きさを掲載している。 話し合いや計画の場面では、思考することを促すための言葉や写真、イラストを掲載している。 板書例では図、付箋等を使って気づきや情報を整理している様子を掲載している。 気づきの記録や表現活動では動作化、発表会、ワークショップ等の工夫を掲載している。 【主体的に学習に取り組む態度】 上巻の初めには、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」のイラストを掲載している。また、幼児教育で学習したことを児童が想起している吹き出しを掲載している。 学校生活や学習について「？」マークを付けた見出しで意欲を喚起する工夫を掲載している。 学習活動ごとに「○○しよう」という見出しを付け、「○○かな」「○○したいな」という児童の思いを掲載している。 【かわさき教育プラン】 自分自身の成長を実感している言葉を写真とともに掲載している。 多様性を考慮し、外国人の児童や車椅子の児童と一緒に活動しているイラストや写真を掲載している。 下巻の「まちが大すきたんけんたい」では、川崎市麻生区での町探検の様子を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 各ページは「きづく」「じぶんでできる」「かんがえる」「つたえる」「ちようせんする」「じしんをもつ」という生活科の教科目標を踏まえて構成している。 単元の終末「なにをかんじたかな」のページでは、学習を振り返り、次にやってみようことを書き込む構成にしている。 単元の最終ページには「○○図鑑」や「もしも」のコーナーを設ける構成にしている。 二次元コードを読み込むと、動植物や道具の使い方の写真・動画が見られる構成にしている。 【分量・装丁】 上巻は9単元を掲載している。 下巻は7単元を掲載している。 大きさはAB判で、左開きにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 【読みやすさの工夫】 ユニバーサルデザインフォントを使用したり、障害者アートを掲載したりしている。 文字の大きさや文字の数は低学年の実態に配慮して掲載している。 児童の目線の高さで撮影した写真を掲載している。 発達段階に合わせて、ひらがなや漢字で表記したり、漢字にルビを付けたりしている。

発行者の 番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
26 信教	せいかつ あおぞら せいかつ そよかぜ 上 下	<ul style="list-style-type: none"> 地域の学習材を活用しながら、探究的な学習活動と表現活動を組合せた内容を掲載している。特に動植物との継続的な関わりを特色としている。 家族や仲間、地域で生活する人々等、多様な他者との関わりを重視して位置付けている。 地域の行事に込められた人々の願いや思いを学ぶ内容を重視して位置付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 教育内容の主な改善事項のうち、「体験活動の充実」に関連して、地域性を重視し、長いものでは2年間に渡る継続的な直接体験を学習活動に位置付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 <ul style="list-style-type: none"> 挨拶や整理整頓等、小学校生活に必要な技能を示すイラストや写真を掲載している。 植物の単元では、栽培の手順を土づくりから示すイラストを掲載している。 端午の節句や七夕、お月見、節分等、季節の行事についてのイラストや写真を掲載している。 国語科、算数科、音楽科、図画工作科、体育科、道徳科、特別活動の内容との関連を図って掲載している。 社会科や理科等、中学年以降の学習へのつながりを掲載している。 【思考・判断・表現】 <ul style="list-style-type: none"> 児童が思ったり考えたりしたことを表しているカードやワークシートの例を掲載している。 定点観測で比較ができるように、町の様子をイラストを季節ごとに掲載している。 飼育栽培やものづくりの単元では、問題解決を促すイラストや吹き出しを掲載している。 様子を表す表現として、擬音語や例えを用いて表現している例を掲載している。 【主体的に学習に取り組む態度】 <ul style="list-style-type: none"> 上巻の初めには、入学期に小学校の生活に無理なく入っていくことを促すイラストや言葉を掲載している。 単元の初めのページには、児童の興味を喚起するような人・もの・ことに係るイラストや写真を掲載している。 児童の実生活に即した、活動的でつながりのある学習活動を掲載している。 生き物単元では、ヤギの飼育を2年間に渡って行う学習活動を掲載している。 栽培単元では、収穫した大豆から、きな粉や豆腐を作る学習活動を掲載している。 【かわさき教育プラン】 <ul style="list-style-type: none"> 自らの成長を実感しているようなイラストや写真を掲載している。 多様性を考慮し、外国人の児童や車椅子の児童のイラストを掲載している。 家族や地域の人たちと笑顔で関わる様子を暗示するイラストや写真を掲載している。 川崎市の地域の実態とは大きく異なる地域を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 <ul style="list-style-type: none"> ヤギを2年間に渡って飼育したり、大豆を栽培してきな粉や豆腐を作ったりする等、問題解決的な学習活動で構成している。 児童の学校生活や季節の行事を、一年間の流れの中に位置付け、時系列で掲載する構成にしている。 二次元コードを掲載し、読み取ると様々な生き物の情報を見ることができる構成にしている。 【分量・装丁】 <ul style="list-style-type: none"> 上巻は17単元を掲載している。 下巻は13単元を掲載している。 大きさはAB判で、右開きにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 【読みやすさの工夫】 <ul style="list-style-type: none"> カラーユニバーサルデザインに配慮している。 縦書きで表記している。 文字の大きさや文字の数は低学年の実態に配慮して掲載している。 児童の目線の高さで撮影した写真を掲載している。 初めて出てくる漢字にはルビを付けている。
38 光村	せいかつ まいにち たらしい せいかつ だいすき つけた 上 あ 下 み	<ul style="list-style-type: none"> 試行錯誤しながら問題解決的に学ぶ児童の姿を想定し、各単元を「ホップ、ステップ、ジャンプ」の3段階で構成している。 「どうすればいいかな」というコーナーを設け、その単元で児童自身が考える工夫を行っている。 巻末には「ひろがるせいかつじてん」を掲載し、児童がどの単元でも活用できる技能を掲載する工夫を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 教育内容の主な改善事項のうち、「体験活動の充実」に関連して、児童の関心から身近な人・もの・ことと関わり、試行錯誤を通してできるようになったことを伝え合う学習活動を位置付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 <ul style="list-style-type: none"> 巻末の「ひろがるせいかつじてん」で安全上の約束や観察方法の視点等を掲載している。 「きせつのおくりもの」では、それぞれの季節の動植物(上巻)や町の様子(下巻)のイラストや写真を掲載している。 国語科、算数科、音楽科、図画工作科、体育科、道徳科、特別活動の内容との関連を図って掲載している。 社会科や理科等、中学年以降の学習へのつながりを掲載している。 【思考・判断・表現】 <ul style="list-style-type: none"> 児童が思ったり考えたりしたことを表しているカードやワークシートの例を掲載している。 「どうすれば」のコーナーでは、「ほかにもどんなことがあるかな」と児童に考えを促す欄を掲載している。 自分たちの活動を伝える場面では、新聞やポスター、すごろく、巻物等、様々な表現活動の例を掲載している。 様子を表す表現として、擬音語や例えを用いて表現している例を掲載している。 【主体的に学習に取り組む態度】 <ul style="list-style-type: none"> 上巻の初めには、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」に係る写真を掲載している。 児童の関心を高められるように、一人一人が物を作ったり、生き物と触れ合ったりしている写真を掲載している。 単元の終末には自分の成長が実感でき、これからの生活につなげていけるように振り返るページを掲載している。 【かわさき教育プラン】 <ul style="list-style-type: none"> クラスの友達のよさをお互いに交流することを通して、自分の素晴らしさやできるようになったことに気付いていく学習活動を掲載している。 多様性を考慮し、地域の様子を扱った場面では、車椅子の方や高齢者等、様々な人が生活していることが分かるイラストを掲載している。 町探検の単元では、車椅子の児童や外国人の児童と一緒に活動しているイラストを掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 <ul style="list-style-type: none"> それぞれの単元は児童が主体的に学んでいけるように「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」で構成している。 友達と関わり合って問題解決を行っているイラストや写真を掲載する構成にしている。 単元の終末には、自分ができるようになったことをシールに書いて貼ることができる構成にしている。 二次元コードを読み込むと、季節や交通安全の資料、道具の使い方の写真・動画が見られる構成にしている。 【分量・装丁】 <ul style="list-style-type: none"> 上巻は9単元を掲載している。 下巻は7単元を掲載している。 大きさはAB判で、左開きにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 【読みやすさの工夫】 <ul style="list-style-type: none"> カラーユニバーサルデザインに配慮している。 文字の大きさや文字の数は低学年の実態に配慮して掲載している。 児童の目線の高さで撮影した写真を掲載している。 初めて出てくる漢字にはルビを付けている。

発行者の 番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
61 啓林館	わくわく せい いかつ上 せい いきいき せい いかつ下	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が思いをもって他者と協力しながら学習活動に取り組んでいく姿を想定し、「わくわく、いきいき、ぐんぐん」の3段階で各単元を構成している。 ・幼児期の学びや育ちを小学校教育につなげていくスタートカリキュラムを重視している。また、中学年以降の学習への連続を意識した「3年生へのステップブック」を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「体験活動の充実」に関連して、身近な人・もの・ことに係る直接体験を重視し、多様な学習活動を例示することで児童の学びにつながるように学習活動を位置付けている。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末の「がくしゅうずかん」で、学習活動に即した習慣や技能を身に付けられる資料を掲載している。 ・生き物の育て方やおもちゃの作り方、ルール(留意点)等を示すイラストを掲載している。 ・国語科、算数科、音楽科、図画工作科、体育科、道徳科、特別活動の内容との関連を図って掲載している。 ・社会科や理科等、中学年以降の学習へのつながりを掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が思ったり考えたりしたことを表しているカードやワークシートの例を掲載している。 ・問題解決の見通しをもてるような一連のイラストを掲載している。 ・イメージを広げる手法(イメージマップ)や物事を多面的に捉える手法(Yチャート)等、思考ツールの例を掲載している。 ・学習活動を伝え合う場面では、様々な表現方法の例を掲載している。 ・様子を表す表現として、擬音語や例えを用いて表現している例を掲載している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上巻の初めには、入学期に小学校の生活に無理なく入っていくことを促すイラストや言葉を掲載している。また、幼児教育で学習したことを児童が想起している吹き出しを掲載している。 ・右ページの端には次の活動をイメージするような言葉を掲載している。 ・下巻巻末には「3年生へのステップブック」として、生活科でのこれまでの学びを振り返り、3年生での学びにつなげる内容を掲載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「できるかな できたかな？」のコーナーでは、単元でできるようになったことを自己評価する視点を掲載している。 ・多様性を考慮し、外国人の児童や車椅子の児童等、多様な児童のイラストを掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の思いから問題解決していくように、それぞれの単元を「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」で構成している。 ・活動の中で生まれた気付きや思い、願いが次の活動につながるような構成にしている。 ・単元の最後に、児童が自立し、生活を豊かにしようとする姿勢を示すイラストや写真を掲載している。 ・二次元コードを読み込むと、動植物の写真や道具の使い方の動画等、関連情報を見ることができる構成にしている。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上巻は10単元を掲載している。 ・下巻は8単元を掲載している。 ・大きさはAB判で、左開きにしている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインフォントを用いている。 ・紙面の内容が判別しやすい配色にしている。 ・文字の大きさや文字の数は低学年の実態に配慮して掲載している。 ・児童の目線の高さで撮影した写真を掲載している。 ・漢字にはルビを付けている。
116 日文	わたしと せい かつ上 なか みんな なか よし わたしと せい かつ下 せい ふれあい だい いすき	<ul style="list-style-type: none"> ・その学習で育成したい資質・能力を各ページに明示し、児童が生活科における学びをつくりだすために「気付く」「深める」「つなげる」という学習展開を各単元で掲載している。 ・巻末には「ちえとわざのたからばこ」とし、低学年において身に付けておきたい知識や技能を掲載し、学習に活用できる工夫を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「体験活動の充実」に関連して、児童の思いや願いから身近な人・もの・ことに直接関わり、振り返ってつなげるという学習活動を位置付けている。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末の「ちえとわざのたからばこ」で多様な学習の仕方、交通安全、生活上必要な技能等を掲載している。 ・栽培単元では、ページを山折りにすることで、種から実までの成長過程が一望できるようなしなげを掲載している。 ・国語科、算数科、音楽科、図画工作科、道徳科の内容との関連を図って掲載している。 ・社会科や理科等、中学年以降の学習へのつながりを掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が思ったり考えたりしたことを表しているカードやワークシートの例を掲載している。 ・様子を表す表現として、擬音語や例えを用いて表現している例を掲載している。 ・授業の板書として、イメージを広げるウェビング法や物事を多面的に見るYチャート等の思考ツールを用いているイラストを掲載している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上巻の初めには、入学期に小学校の生活に無理なく入っていくことを促すイラストや言葉を掲載している。 ・単元の冒頭では、活動への期待が膨らむように、児童が学習材に関わっている写真を掲載している。 ・ページの左上には「〇〇したいな。」「どうすればいいのかな。」等、学習に向かう児童の言葉を掲載している。 ・学習活動を振り返り、次につなげることを促す「まなびのまど」というコーナーを掲載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分ができるようになったことを確かめ、次の学年に進むことに対する意欲を高める内容を掲載している。 ・多様性を考慮し、外国人の児童や車椅子の児童が共に生活し学んでいる様子のイラストを掲載している。 ・地域の人や学校で働く人、友達と関わっている様子を表すイラストや写真を掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の問題解決的な学びのために、それぞれの単元を「気付く」「深める」「つなげる」という構成にしている。 ・左ページの下には、その時間の学習のねらいを示す言葉を掲載する構成にしている。 ・身近な人と気付いたことや考えたことを多様な方法で伝え合ったり、振り返ったりする構成にしている。 ・「教科書デジタルコンテンツ」とし、ホームページから、関連動画、イラスト素材、学習カードにアクセスできる構成にしている。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上巻は9単元を掲載している。 ・下巻は8単元を掲載している。 ・大きさはAB判で、左開きにしている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カラーユニバーサルデザインに配慮している。 ・文字の大きさや文字の数は低学年の実態に配慮して掲載している。 ・下巻の最終ページには実際の点字を掲載している。 ・児童の目線の高さで撮影した写真を掲載している。 ・漢字にはルビを付けている。

令和2年度使用教科用図書審議結果 ⑦

音楽

発行者の番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
17 教出	小学音楽 おんがくのお くりもの 1 小学音楽 音楽のおくり もの 2 小学音楽 音楽のおくり もの 3 小学音楽 音楽のおくり もの 4 小学音楽 音楽のおくり もの 5 小学音楽 音楽のおくり もの 6	・各学年、主要部分と選択可能な部分で構成し、主要部分は、児童が主体的・協働的に学習に取り組むよう、学習のめあて、学びのヒントを示している。 ・聴き取ったことや感じ取ったことを言葉で表したり、書き込んだりできる工夫をしている。また主要部分には、主体的な学習を展開するために、学習のねらいや活動のポイントを示している。 ・我が国や世界の多様な音楽に触れ、そのよさや特徴を感じ取り、音楽と生活との関わりに関心をもつ工夫をしている。	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、「にっぽんのうた みんなのうた」「わらべうた」「各地のお祭りの音楽やお囃子」「民謡」等を掲載し、我が国の伝統と文化を尊重し、世代を超えて歌い継がれる日本の音楽文化を大切に育てる工夫をしている。	【知識・技能】 ・〔共通事項〕に示されている音楽を形づくっている要素を「音楽のもと」として示し、中・高学年ではメモ欄を設定し、児童が気付いた要素等を書き足すコーナーを設けている。 ・鍵盤ハーモニカとリコーダーの写真や絵を掲載し、さらに短時間の学習を利用し、繰り返し練習して技能の定着を図るための「めざせ楽器名人」のコーナーを設けている。 ・和楽器の旋律楽器の取り扱いとして、第4学年で箏の学習、第5学年で篠笛の学習を掲載している。 【思考・判断・表現】 ・学習の中で思考する道筋や表現の工夫のヒントとなるよう、学びのプロセスを表す「まなびナビ」や「学び合う音楽」を掲載している。 ・音や音楽から気付いたことや感じ取ったことを、書き留めるコーナーを設けている。 ・リズムや音の動きを表す図形楽譜や、体を動かす活動を取り入れた学習活動を掲載している。 ・音楽づくりでは、「音のスケッチ」として題材から独立して掲載し、各学年の発達段階を考慮して音楽づくりの例を示し、試行錯誤しながら音楽づくりに取り組む教材を掲載している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・題材や教材のねらい、教材の柱となる〔共通事項〕が意識できるように示している。 ・既習内容を定着させるための、キャラクターによるマークを掲載している。 ・中学校で学ぶ内容の部分は「はってん」のマークで示している。 ・第1学年の導入では、スタートカリキュラムを意識し、幼児教育との連携を図っている。 ・外国語や算数など他教科等の学習に関連する歌を掲載している。 ・歌唱共通教材は、題材のねらいに関連付けている教材と、「にっぽんのうた みんなのうた」「きせつのうた」として、題材とは切り離れた教材を掲載している。 ・我が国の伝統芸能や民謡などは、実際に歌ったり楽器のリズムなどを言葉で唱えたりする活動を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・諸外国に伝わる子どもの歌や民謡等、我が国のわらべうたや各地のお祭りの音楽やお囃子、民謡等を掲載している。 ・音楽づくりの「音のスケッチ」では、友だちと対話したり協働したりしながら学習を進める活動を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・題材は、低・中・高の2学年ごとの学習のまとまりを意識し、中心となる主要部分と、主要部分を補完する選択可能なオプション部分で構成している。 ・巻末に「音楽ランド」として参考教材を掲載し、学年全体で歌える教材や、全校合唱を想定した教材を掲載する構成にしている。 ・二次元コードを掲載し、学習に関連した情報を閲覧することができる構成にしている。 ・写真に重ねると説明が読める透明シートを使用している。 【分量・装丁】 ・判型は、低学年はAB判、中・高学年はAB判＋天地20mmのサイズである。 ・透明シートはプラスチック製、綴じ込みページは厚紙、表紙は強固な用紙を使用している。	【読みやすさの工夫】 ・発達段階に合わせて漢字を使用している。 ・題材名は、見開き左側に横書きで短文の形で示し、題材ごとの学習の見通しを縦書きで示している。 ・カラーユニバーサルデザインに配慮したり、ユニバーサルデザインフォントを使用したりしている。 ・歌唱共通教材は、縦書きの歌詞を別記し、難しい語句には解説を加え、情景を思い描く写真を掲載している。
27 教芸	小学生のおんがく1 小学生の音楽2 小学生の音楽3 小学生の音楽4 小学生の音楽5 小学生の音楽6	・〔共通事項〕に示されている音楽を形づくっている要素を聴き取ったり、そのよさや面白さ等を感じ取ったりする感性を育むよう、系統的な題材の設定と題材に即した教材の選択や配置を基本にして構成している。 ・課題意識をもって、友だちと対話、協働しながら学習したり、思いや意図をもったり、よさを味わいながら聴いたりする主体的・対話的な音楽活動を充実させるために、表現の工夫の視点や学習活動のヒントを示す工夫をしている。 ・我が国や世界の多様な音楽に触れ、そのよさや特徴を感じ取り、社会や身の回りの人とつながったり、よりよい人間関係をつくったりする心を育てる工夫をしている。	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、「こころのうた」「歌いっごう日本の歌」「地域に伝わる芸能」「お囃子や民謡」等を掲載し、我が国の伝統と文化を尊重し、世代を超えて歌い継がれる日本の音楽文化を大切に育てる工夫をしている。	【知識・技能】 ・教材ごとに中心となる〔共通事項〕をページ下に記載している。 ・鍵盤ハーモニカの写真やリコーダーの絵を掲載し、技能をサポートするコラムを設けている。 ・和楽器の旋律楽器の取り扱いとして、第4学年で箏の学習を掲載している。 【思考・判断・表現】 ・キャラクターを活用して、児童の思考を促すヒントや考えるきっかけを示し、その視点で学習を進めるコーナーを設けている。 ・鑑賞は、題材のねらいに即した選曲で、表現領域との関連や聴く視点を吹き出しで示したり、音や音楽から「感じたこと」と「気付いたこと」を記入したりするコーナーを設けている。 ・「ドレミ風船」の挿し絵を示し、音の高低の違いを手の動きによって感じ取るなど、体を動かす活動の手立てを掲載している。 ・音楽づくりでは、題材の中で表現の他の分野（歌唱や器楽）や鑑賞と関連させて扱い、各学年の発達段階を考慮して音楽づくりの例を示し、試行錯誤を繰り返しながら音楽づくりをする教材を掲載している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・題材名や学習目標、題材や教材の柱となる〔共通事項〕を意識できるように示している。 ・既習内容を定着させるために、「おもいだそう」のマークを掲載している。 ・学習指導要領に示されていない学習内容に、「ステップアップ」のマークを示している。 ・第1学年の導入で、段階的に音楽的な学習へ移行できる活動を掲載している。 ・外国語や国語など他教科等との関わりや生活とのつながりを促す教材を掲載している。 ・1年間の学習について見通しをもつための「学びの地図」や、〔共通事項〕に関連した学習事項を図表で示した「ふり返りのページ」を設けている。 ・歌唱共通教材は全曲を「こころのうた」として、題材のねらいに関連付けて掲載している。 ・我が国の文化や生活の中にある様々な音や音楽への関心を促すコラムや、楽器のリズムなどを言葉で唱える活動や歌い方をまねする体験活動を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・諸外国に伝わる音楽や子どもたちが参加している我が国の郷土の芸能や音楽の写真を掲載している。 ・音楽づくりの学習では、友だちと対話したり協働したりしながら学習を進める活動を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・題材を通しての学びを意識し、〔共通事項〕を中心に表現や鑑賞を関連付けて各教材を結び付けている。 ・学年間の関連を図り、系統的な学習ができるように構成している。 ・巻末に「みんなで楽しく」として、参考教材を掲載する構成にしている。 ・二次元コードを掲載し、学習をサポートするコンテンツを閲覧できる構成にしている。 【分量・装丁】 ・判型はAB判変形判である。 ・全体を通して同じ紙質、綴じ方で統一している。	【読みやすさの工夫】 ・漢字の使用、楽譜や文字の大きさなどは、児童の発達段階に応じて設定している。 ・題材名は、見開き左側に「～しよう」という文型で縦書きで示し、教材ごとの学習目標を横書きで示している。 ・写真と重なる楽譜では、背景を白くしている。 ・「すべての子供たちの色覚特性に適應することを目指してデザインしています」と記載している。 ・歌唱共通教材は、縦書きの歌詞を別記し、難しい語句には解説を加え、情景を思い描く写真を掲載している。

令和2年度使用教科用図書審議結果 ⑦

図画工作

発行者の番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
9 開隆堂	ずがこうさく 1・2上 わくわくするね ずがこうさく 1・2下 みつけたよ 図画工作3・4 上 できたらいいな 図画工作3・4 下 力を合わせて 図画工作5・6 上 心をひらいて 図画工作5・6 下 つながる思い	・三つの資質・能力を「学習のめあて」として示し、特に中心となるめあてを強調して示している。また、それに対応した「ふりかえり」を示すことで、題材で身に付いた力を自己評価できる工夫を行っている。 ・活動の様子などを大きな写真で掲載し、発想・構想を促す工夫を行っている。 ・各教科等との関連や鑑賞教育の充実など、今日的な諸課題に対応した内容を掲載している。	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち「言語活動の充実」に関して、コミュニケーションや言語活動を重視した題材を設定している。また、題材の最後には「ふりかえり」を設定し、友だちや先生と話しながらコミュニケーション能力を高めていける配慮をしている。	【知識・技能】 ・材料や用具の取扱いについて「造形の引き出し」のページを各学年、巻末にまとめ、掲載している。 ・用具の使い方などの動画を見ることができる二次元コードを掲載している。 ・活動の手順や、どのように表しているのかが分かる写真を掲載している。 ・用具の使い方を知るだけでなく、実際に手を動かしてつくることを促す「ためしてみよう」のコーナーを掲載している。 【思考・判断・表現】 ・完成作品だけでなく、発想・構想の能力が働いている場面の写真を掲載している。 ・作品が完成するまでの過程について、どのように考え、つくっているのかが分かる写真を掲載している。 ・鑑賞の題材では、1・2上から作家の作品を取り上げている。 ・3・4下には「発想を広げよう」といった発想の広げ方についてのページを掲載している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・各学年の巻頭に1年間の学習に向けて意欲を喚起するページを設け、表現することの意味や価値について掲載している。 ・各学年の「ひらめきコーナー」では、身近な材料で短時間で取り組むことができる活動の写真や作り方を掲載している。 ・各教科等との関連を図りながら学習を進めることができるページには、「あわせて学ぼう」のマークとともに教科名を示している。 【かわさき教育プラン】 ・全学年で諸外国の児童の作品を紹介する「外国の友だちの絵」コーナーを掲載している。 ・協働で取り組む活動や他者を想定した活動を掲載している。 ・「みんなのギャラリー」では、全国各地の伝統文化やアートイベントなどを発達段階に応じて紹介している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・各題材に、「学習のめあて」を三つの資質・能力で示し、主に大切なめあてに下線を引いている。 ・学習の三つのめあてに対応したキャラクターが、それぞれの資質・能力を示すコメントを伝える構成にしている。 ・製作の難易度を考慮した配列にしている。 ・原則として見開き2ページで構成しており、題材によっては1ページ構成や4ページ構成にしている。 【分量・装丁】 ・A4判、1・2上下、3・4上下、5・6上下の2学年で2分冊、ミシン綴じにしている。 ・表紙の児童作品は拡大して掲載し、裏表紙に作品の全図と作品のコメントを掲載している。 ・表紙のタイトルのレタリングをそれぞれの学年で扱う材料で作成し、示している。	【読みやすさの工夫】 ・目次と各ページに題材の内容を色別のマークで示している。また目次に、主なめあてを表すキャラクターを示している。 ・各学年までの既習漢字以外は、漢字で示してルビをふって表記している。 ・2ページに渡って大きめの写真を掲載している。 ・カラーユニバーサルデザインに配慮している。 ・題材名をゴシック体を基本にした文字で表し、活動のゴールをイメージしやすいデザインと文言にしている。
116 日文	ずがこうさく 1・2上 たのしいな おもしろいな ずがこうさく 1・2下 たのしいな おもしろいな 図画工作3・4 上 ためしたよ 見つけたよ 図画工作3・4 下 ためしたよ 見つけたよ 図画工作5・6 上 見つけて 広 げて 図画工作5・6 下 見つけて 広 げて	・「学習のめあて」を資質・能力の柱に基づいて設定し、活動を通して伸ばしていくことを示している。また、活動を通して感じたり考えたりしてほしいことを例として掲載している。 ・考えている様子や作品のコメントを児童の言葉で掲載し、発想・構想の能力を促す工夫を行っている。 ・図画工作で学んだことを生活や地域の中で生かしていく工夫について掲載している。	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち「言語活動の充実」に関して、作品をつかった児童のコメントや児童のワークシートが掲載され、形や色、言葉で思いを伝え合う活動を促している。	【知識・技能】 ・材料や用具の取扱いについて「使ってみよう材料と用具」のページを各学年、巻末にまとめ、掲載している。 ・デジタルマークを付けた題材には、ウェブサイト内に活用できるコンテンツを設定している。 ・表し方の違いに着目し、用具の使い方を工夫して表している例を掲載している。 ・造形的な見方・考え方を働かせるきっかけのページとして、各学年に「ひらめきポケット」を掲載している。 【思考・判断・表現】 ・中高学年では、作品についてどのように表したかを児童の言葉で示している。 ・制作過程のワークシートなどを掲載している。 ・題材について対話をしている様子を写真で示したり、話している言葉を吹き出しで示したりしている。 ・一人の児童の活動を追った写真を掲載し、どのように考え、試し、つくりあげていったかの例を示している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・工作でつくった作品が生活に生かされている様子や、作品で遊んでいる様子を写真で掲載している。 ・活動を通して感じたり考えたりしてほしいことを例示し、題材での学びを振り返り、次の学びへ生かそうとする視点を示している。 ・道徳との関連がある題材には、ページ番号の上にフクロウのマークを示している。 【かわさき教育プラン】 ・全学年で諸外国の児童の作品を紹介する「外国の友だちの絵」コーナーを掲載している。 ・同じ題材でも多様な表現方法の作品を取り上げ、表現の違いのよさなどが感じられる工夫を行っている。 ・「図画工作のつながりひろがり」のページでは、発達段階に応じて生活や社会につながるような活動を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・各題材に、「学習のめあて」を三つの資質・能力で示し、マークとともに示している。 ・各学年とも1年間の流れに沿って、行事や季節に応じて題材を選択できる配列にしている。 ・全学年ともにキャラクターが「造形的な見方・考え方」の視点からコメントを伝える構成にしている。 ・すべての題材を見開き2ページで構成している。 【分量・装丁】 ・A4判、1・2上下、3・4上下、5・6上下の2学年で2分冊、細かめのミシン綴じにしている。 ・表紙の児童作品は拡大して掲載し、裏表紙に作品の全図と作品のコメントを掲載している。 ・各学年の裏表紙には描いたり、見たりしながら活動できる「形や色を楽しもう」というコーナーを設けている。	【読みやすさの工夫】 ・目次と各ページに題材の内容を色別のマークで示している。また各ページのマークの横に活動のポイントを一文で示している。 ・各学年までの既習漢字以外は、原則ひらがなで表記している。 ・様々な大きさの写真を組合せ、掲載している。 ・カラーユニバーサルデザインに配慮している。 ・題材名を丸ゴシック体を基本にした文字で表し、活動のイメージを広げやすいデザインと文言にしている。

令和2年度使用教科用図書審議結果 ⑦

家庭

発行者の番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新しい家庭 5・6	<p>・題材ごとに「家庭科の窓」で見方・考え方を示し、生活をよりよく変えていくために、課題を設定し、課題解決・実践活動、評価・改善する等の問題解決的な学習を3ステップで展開できる工夫を行っている。</p> <p>・実践的・体験的な活動の例をイラストや写真で示し、見通しをもつことで学習意欲を高め、日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けていくことで、生活の自立を目指した工夫を行っている。</p>	<p>・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</p> <p>・教育内容の主な改善事項のうち、「体験活動の充実」に関連して、「活動 やってみよう」「活動 深めよう」などで実習例、作品例を示している。また、生活の課題と実践について「生活を変えるチャンス」で家庭生活と関連した実践例、課題例を示している。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末の「いつも確かめよう」に包丁で切る、皮をむく、芽を取るといった「調理実習技能」、針と布を持ってぬう、布をたつといった「製作実習技能」を、作業ごとに右利き、左利きのほぼ実物大の手の大きさの写真で掲載している。 ・裁縫道具やIHクッキングヒーター等調理器具が使用目的ごとに分類され、名称と使用目的、扱う時の注意点等を示している。 ・大題材を構成するステップ1～3全てに、「めあて」と「ふり返ろう」を示している。 ・「ゆでる」題材として「青菜」と「じゃがいも」を示し、「洗う」「ゆでる」「切る」「盛りつける・試食する」「かたづける」の調理手順を写真や言葉で示している。 ・実習後の「できたかな」で、調理のポイントから実習を振り返るようにしている。 ・動画で実習のポイントなどを確認できるページに「Dマーク」を示し、巻頭のページに掲載している二次元コードからまとめて確認することができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材ごとに「家庭科の窓」で生活の営みに係る見方・考え方を示している。 ・考えるポイントをキャラクターの吹き出しで示している。 ・生活の中から課題を発見し、解決するための計画・実践を行い、分かったことやできるようになったことをまとめ、発表するなどの学習の流れにしている。 ・ステップ3の中にある「活動 深めよう」で、学習した知識・技能を家庭生活へつなげている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動を「やってみよう」「話し合おう」「調べよう」という活動を促す言葉で示している。 ・学習したことを家庭や地域で実践する活動例を「生活を変えるチャンス!」に示している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習と関連する職業の人からの話を「プロに聞く!」のコラムに掲載している。 ・「あなたは家庭や地域の宝物」で、家族の一員として家族や地域でできることを考える題材を設定している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの題材もステップ1「課題発見」、ステップ2「課題解決・実践活動」、ステップ3「評価・改善」、そして「家庭実践」へつなげる構成にしている。 ・目次に4年生までの学習と家庭科の学習のつながりを示し、見通しをもって学習に取り組む構成にしている。 ・巻頭に「家庭科の窓」と「学習の進め方」を示し、各題材で共通する学び方を示している。 ・活動の「やってみよう」「調べてみよう」に学習カードや思考ツールなどを掲載し、学習ノートとしても活用できる構成にしている。 ・学年ごとに「まとめ」のページを設定し、学年間や中学校への学習のつながりがもてる構成にしている。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A4判である。 ・実習例はページの見開きで、左から右へ活動が進む作りで示している。 ・各題材のはじめのページに、学習内容をイメージさせる写真やイラストを半ページまたは1ページで掲載している。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材ごとに色分けして示している。 ・文字は読みやすいように開発した教科書体が使用し、重要な語句や家庭科の基礎的・基本的な用語は太字で表記している。 ・活動のタイトル「話し合おう」「深めよう」「調べよう」「やってみよう」のフォントや一文字目「話」「深」「調」「や」の文字サイズを変えて表記している。 ・「資料」「図」に学習の参考事項を写真やイラスト、言葉で示している。 ・「リンク」のマークで、関連する他の題材の学習ページを示している。 ・他教科や中学校での学習内容と関わる内容には、マークを示している。 ・日本の伝統と関連した学習内容に「日本の伝統」というマークを記載している。
9 開隆堂	小学校 わたしたちの家庭科 5・6	<p>・自分や家族の生活を見つめ直し、生活事象から課題を発見し、解決するための見方・考え方を身につけ、生活をよりよくしていく資質・能力を身につけるために、ストーリー性をもって学習が展開できる工夫を行っている。</p> <p>・活動や体験を通して、主体的に考え、生活を工夫していくための資質・能力を身に付けるように問題解決型学習が進められる工夫を行っている。</p>	<p>・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</p> <p>・教育内容の主な改善事項のうち、「体験活動の充実」に関連して、「しらべよう」「やってみよう」で実習例、実践例等を示している。また、生活の課題と実践について「レッツトライ」「家庭で実践しようチャレンジコーナー」で実践例を示している。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末の「利き手はどちら?」に「はさみで布をたつ」「針と糸でぬう」「材料を切る」「皮をむく」「芽を取る」等の手順を、右利き、左利きごとに整理して掲載している。 ・裁縫道具やIHクッキングヒーター等の調理器具を使用目的ごとに分類して、名称を示している。 ・各題材のはじめに「学習のめあて」、題材の終わりに「ふり返ろう」を示している。 ・「ゆでる」題材として「青菜」と「じゃがいも」を示し、「洗う」「ゆでる」「切る」の調理手順を写真や言葉で示している。 ・実習後の「できたかな」では、作業ごとに身に付いたことを確認できるようにしている。 ・実習や実験を動画で確認できるよう、二次元コードをページの右上に掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャラクターの吹き出しに、家庭科の見方・考え方や学習のヒントを示している。 ・生活の中から課題を見つけ、解決方法を考えて実践し、ふり返りから分かったことやできるようになったことをまとめ、発表するなどの学習の流れにしている。 ・題材の終わりにある「生活に生かそう」で、学習したことを家庭生活へつなげている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材のはじめに「なぜぬうのだろう」「なぜ毎日食事をするのだろう」等、問いかけを記載している。 ・学んだことを家庭実践につなげられる製作例や調理例を「チャレンジコーナー」「生活の課題と実践」に掲載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習に関連した職業の人の話を「〇〇にかかわる人」にコラムで掲載している。 ・「共に生きる地域での生活」で、地域の人々との関わり方を考える題材を設定している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの題材も「1 見つける・気づく」「2 わか・できる」「3 生かす・深める」の3ステップで学習を進める構成になっている。 ・巻頭に他教科等と家庭科の学習とのつながりをイラストで示している。 ・「家庭科学習の進め方」を示し、各題材に共通する学び方を示している。 ・「生活に生かそう」や「買い物名人 3か条」など、学習して考えたことを書き込める欄がある。 ・生活の中のプログラミングについて示している。 ・2年間の学習を振り返るページを設定し、中学校の学習へつなげる構成としている。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AB判である。 ・実習例は、内容によって1ページにまとめていたり、ページの見開きで示したりしている。 ・各題材のはじめのページに、学習内容をイメージさせる写真やイラストを2/3ページ程度または2ページに渡る大きさで掲載している。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年ごとに大題材の色を統一して示している。 ・重要な語句や見出し、家庭科の基礎的・基本的な用語は、太字で示している。 ・活動のタイトル「やってみよう」「考えよう」「調べよう」を本文と文字色を変えて表記している。 ・「参考」に学習の資料等をイラストと言葉で示している。 ・「関連」というマークで、関連する他教科の内容を示している。 ・伝統文化にかかわる学習に「伝統」のマークを示し、巻末にもまとめて資料を掲載している。

令和2年度使用教科用図書審議結果 ⑦

保健

発行者の 番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新しいほけん 3・4 新しい保健 5・6	<ul style="list-style-type: none"> 課題解決学習を通して、主体的な学習を促し、実践力を育むことができる工夫をしている。 身近な生活を取り上げ、学習したことを実生活で主体的に生かせる工夫をしている。 知識を活用する学習活動や、生活の課題を考える学習活動を設け、児童の思考力・判断力・表現力等を育てる工夫をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、「調べる・解決する」では、健康やけが、病気について考えたことを伝えたり、話し合ったりするなどの活動を促している。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各時間とも学習の課題を明確に示している。 「実験」や「調べる・解決する」などで、具体的な写真を掲載している。 学習した内容を活用したり広げたりすることができるように、「まとめる・生かす」の学習活動や「資料」を示している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習課題を見付けやすいように、「気づく・見つける」の学習活動を示している。 「調べる・解決する」の学習活動で考えたことを、「深める・伝える」でさらに思考を広げたり、考えたことを伝えたり、深めたりする学習活動を示している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康・安全についての興味・関心を高め、自己の生活に生かせるように、「けがの防止」では、子どもが危険を認識しやすいように危険な場面を絵で示している。 「学校や地域でのけがの防止」では、具体的な場面を提示して潜んでいる危険を考えたり、対策を考えたりして、仲間と伝え合うなどの対話的な学習を示している。 「よりよく成長するための生活」では、今日的な課題である「すいみんと発達」について、パソコンやゲーム機の画面を見続けることが、より良い睡眠の妨げになるということを資料として示している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯にわたって健やかに生き抜く力を育むことと関連して、「感染症の予防」では、予防の方法や病気からの回復についての学習内容を示している。 実生活に生かすことができるように、「実験」では、空気の入替えについて具体的な写真を掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「気づく・見つける」「調べる・解決する」「深める・伝える」「まとめる・生かす」という、学習活動の流れを設定している。 自分の生活を振り返り、主体的に学習に取り組めるように、学習の初めに場面絵を掲載している。 自分の考えをもちながら、対話的な学びを取り入れられるように、「調べる・解決する」のページでは、場面絵を見て「なぜそうなったのか」の理由を考えられるように学習を構成している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1単位時間の学習を、2～6ページで示している。 A4判で作成している。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザインの観点から、UD教科書体を使用している。 説明やポイント、児童の気持ちなどを吹き出しを活用して表現している。 効果的な資料の提示となるように、具体的な様子を示す事項には写真を用い、生活の様子や心の様子などを示す場合には絵を使用している。 「思春期にあらわれる変化」では、シルエットと水着を身に付けた写真、裸の男女の絵を掲載している。
4 大日本	たのしいほけん 3・4年 たのしい保健 5・6年	<ul style="list-style-type: none"> 課題解決学習を通して、児童一人一人が主体的に学習し、健康・安全に関する知識や技能を確実に習得できる工夫をしている。 身近な生活を取り上げ、学習したことを実生活で主体的に生かせる工夫をしている。 児童の学習意欲を高めるために、いろいろなキャラクターを用いて、学習課題へのヒントを出したり、説明したりするなど工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、健康課題について意見を交わすことができるように「話し合ってみよう」を設定している。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各時間とも学習の課題を明確に示している。 「しりょう」として実験結果やレントゲン写真などを掲載している。 学習した内容を活用したり広げたりすることができるように、「発展」の活動や、「もっと知りたい」の資料を示している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「やってみよう」では、学習課題を見付けやすいように具体的な場面をイラストなどで示している。 考えたり伝えたりすることができるように、「話し合ってみよう」の学習活動を設定している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康・安全についての興味・関心を高め、自己の生活に生かせるように、「けがの防止」では、絵をもとに「予想される危険」と「安全な行動」を記述する学習を設けている。 仲間と伝え合うなど対話的な学習が進められるように、「話し合ってみよう」の学習活動を設定している。 「不安やなやみへの対処」では、今日的な課題である「いじめ」について触れている。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯にわたって健やかに生き抜く力を育むことと関連して、映像で学習に役立つ動画や資料を見ることができるようにウェブマークを掲載している。 実生活で生かすことができるように、「不安やなやみがあるとき」では、いろいろな不安や悩みについて、具体的な対処の仕方を示している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習内容によって、「話し合ってみよう」「やってみよう」「調べてみよう」「活用して深めよう」の学習の流れを設定している。 主体的に学習に取り組むことができるように、「けがの防止」では、生活をイメージしやすいように身近な事例を掲載している。 対話的な学習に繋げるために、自分の考えを伝える際の考えの源となる「自分の考えを書く欄」を示している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1単位時間の学習を、見開き2ページで示しているが、内容によっては3ページまたは4ページで示している。 横はA4判、縦はB5判で作成している。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 刺激が少なくなるように淡い色を使うなど、カラーユニバーサルデザインを使用している。 遊びの場面など、学習を深めるヒントとなる挿絵を使用している。 効果的な資料の提示となるように、具体的な様子を示す事項には写真を用い、生活の様子や心の様子などを示す場合には絵を使用している。 実験結果の写真を随所に掲載している。 「大人の体になるじゅんぴ」では、衣服を身に付けている男女の絵と裸の男女の絵を掲載している。

発行者の 番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
207 文教社	わたしたちの ほけん 3・4年 わたしたちの 保健 5・6年	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の初めに動機付けのページがあり、児童が意欲的に学習に取り組むことができる工夫をしている。 学習した知識を実践するために、「新しい自分にレベルアップ」の学習があり、行動の仕方を考えさせる工夫をしている。 学習の流れに合わせた記入欄を設け、主体的に学習を進めることができる工夫をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、「調べてみよう」、「話し合ってみよう」では、健康課題について考えたり、考えたことを伝え合ったりする活動が設けられている。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各時間とも学習の課題を明確に示している。 「交通安全施設」や「ウイルス、細菌」などの具体的な写真を掲載している。 学習した内容を活用したり広げたりできるように、「発展」や「実習」の学習内容を示している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元に応じて「振り返ってみよう」があり、身近な事例から思考することで、自己の課題を見付けられる内容を示している。 考えたことを他者と対話できるように、「話し合ってみよう」という学習活動を示している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康や安全について興味・関心を高められるように、「もっとくわしく」や「もっと知りたい」、「情報コーナー」を掲載している。 「話し合ってみよう」では、具体的なデータをもとに話し合うことができるように学習内容を示している。 「不安や悩みへの対処」では、今日的な課題である「性同一性障害」について発展的な内容として示している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯にわたって健やかに生き抜く力を育むことと関連して、「病気の予防」では、「感染症」の予防の方法や病気からの回復についての学習内容を示している。 実生活に生かすことができるように、「やってみよう」の学習活動で、ストレスの対処の仕方として、体ほぐしや呼吸法、また、自分でできる簡単なけがの手当て等についてその方法を示している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習内容によって、「ふり返ってみよう」「調べてみよう」「考えてみよう」「話し合ってみよう」の学習の流れを設定している。 自分自身の生活を見つめることで主体的な活動につながるように、学習の初めに「ふり返ってみよう」の活動を設定している。 対話的に学習を進めることができるように、「話し合ってみよう」の学習活動を設定している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1単位時間の学習を、見開き2ページで示しているが、内容によっては3ページまたは4ページで示している。 A4判で作成している。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 色を多用し視覚的に見やすくなるようにユニバーサルデザインを使用している。 説明やポイント、児童の気持ちなどを吹き出しを活用して表現している。 効果的な資料の提示となるように、具体的な様子を示す事項には写真を用い、生活の様子や心の様子などを示す場合には絵を使用している。 実験結果の写真を随所に掲載している。 発達段階に応じて、「思春期の体の変化」では、衣服を身に付けている男女の絵と裸の男女の絵を掲載している。
208 光文	小学ほけん 3・4年 小学保健 5・6年	<ul style="list-style-type: none"> 「調べよう」「考えよう」「やってみよう」「話し合おう」などの課題解決学習を通して、思考力・判断力・表現力等を育むことができる工夫をしている。 児童にとって今日的な身近な課題を数多く取り扱っている。 図や表、イラストや写真などを数多く掲載し、児童が興味をもちながら、知識を習得する工夫をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、児童が考えたり、考えたことを他者に伝えたり説明したりできるように「話し合おう」、「学んだことを生かそう伝えよう」の活動が設けられている。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各時間とも学習の課題を明確に示している。 「科学のとびら」として実験結果や細菌の写真などを掲載している。 学習した内容を活用したり広げたりすることができるように、「学んだことを生かそう伝えよう」の学習内容や「広げよう深めよう」の資料を示している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「調べよう」「考えよう」の学習活動では、自分の心や体の状態、行動の仕方を考えながら自己の学習課題を見付けられる学習内容を示している。 学習課題に対して思考・判断し、表現できるように、「話し合おう」の学習活動を設定している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康や安全について興味・関心を高め、自己の生活に生かせるように、「広げよう深めよう」では、学んだことを具体的に活用できる資料を掲載している。 「やってみよう」では、自ら体験したり考えたりすることで主体的に学習に取り組むことができる構成にしている。 「けんこうな1日の生活」では、今日的な課題である「スマートフォンとタブレットの使い方と生活のリズム」について資料を掲載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯にわたって健やかに生き抜く力を育むことと関連して、「病気の予防」では、「感染症」の予防の方法や病気からの回復についての学習内容を示している。 実生活に生かすことができるように、「広げよう深めよう」では、絵を用いて生活の仕方等について掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> これから何を学ぶのが理解しやすいように、各章のはじめにストーリー形式で学習する内容を示している。 主体的に学習に取り組めるように、「学習課題」の発見では、自分の生活と関連させられる生活場面を絵で示している。 対話的な学習ができるように、「話し合おう」の学習活動を設定している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1単位時間の学習を、見開き2ページで示しているが、内容によっては3ページまたは4ページで示している。 A4判で作成している。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 読みやすいように、柔らかい色や淡い色を使うなど、カラーユニバーサルデザインを使用している。 説明やポイント、子どもの気持ちなどを吹き出しを活用して表現している。 効果的な資料の提示となるように、具体的な様子を示す事項には写真を用い、生活の様子や心の様子などを示す場合には絵を使用している。 実験結果の写真を随所に掲載している。 発達段階に応じ、「思春期の体の変化」では、衣服を身に付けている写真や絵で掲載している。

発行者の 番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
224 学研	みんなのほけ ん 3・4年 みんなの保健 5・6年	<p>・課題解決学習を通して、主体的な学習を促し、実践力を育むことができる工夫をしている。</p> <p>・実践的な理解が図れるように身近な事例が豊富に取り扱われており、生活を振り返りながら学習を進めることができる工夫をしている。</p> <p>・児童にとって今日的な身近な課題を数多く取り扱っている。</p>	<p>・学習指導要領に示されている目標内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。</p> <p>・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、学習して理解したことを生活に生かせるように、考えたり伝え合ったり、発表し合ったりする「学びを活用する」という活動が設けられている。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各時間とも学習の課題を明確に示している。 ・「かがくの目」として実験結果やレントゲン写真などを掲載している。また、写真によっては、比較しやすいように大小で写真を掲載している。 ・学習した内容を活用したり広げたりすることができるように、「まとめる・深める」という学習内容や「もっと知りたい・調べたい」の資料を掲載している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「考える・調べる」の学習活動では、生活や行動の例を参考に資料を読み取ったり実際に調べたり考えたりすることで自己の課題を見付けられる学習内容を示している。 ・考えたことを他者と対話し、その解決に向けて思考・判断したり、表現したりできるように、「考える、話し合う」の学習活動を設定している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康や安全について興味・関心を高め、自己の生活に生かせるように、「もっと知りたい・調べたい」では、学んだことを具体的に活用できる資料を掲載している。 ・「かけがえのない健康」では、自己の経験をもとに仲間と話し合うなど他者と対話的、協働的に学習する内容を示している。 ・実生活で生かすことができるように、「実験」では、空気の入替えについて具体的な写真を掲載している。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたって健やかに生き抜く力を育むことと関連して、「病気の予防」では、「感染症」と「生活習慣病」について、予防の方法や病気からの回復についての学習内容を示している。 ・「不安やなやみへの対処」では、人間関係によるトラブルの未然防止等に関連して、「いじめ」について具体的な例を示したり、具体的な対応を示したりしている。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の見通しがもてるように、どの単元も「つかむ」→「考える・調べる」→「まとめる・深める」という流れを設定している。 ・児童が主体的に取り組めるように、学習の初めに体験したことを話したり、絵から問題部分を探したりできる構成にしている。 ・対話的に学習が進められるように、グループで話し合う活動や実習する活動などを示している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1単位時間の学習を、見開き2ページで示している。資料は本文と分けて作成することで、学習内容を明確に示している。 ・A4判で作成している。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵の色がやさしく、フォントやカラー、レイアウトなどユニバーサルデザインを使用している。 ・説明やポイント、児童の気持ちなどを吹き出しを活用して表現している。 ・効果的な資料の提示となるように、具体的な様子を示す事項には写真を用い、生活の様子や心の様子などを示す場合には絵を使用している。 ・実験結果の写真を随所に掲載している。また、実験の結果がわかりやすいように写真を大小に分けて掲載している。 ・発達段階に応じ、「大人に近づく体」では、衣服を身に付けている写真やシルエットで示している。

令和2年度使用教科用図書審議結果 ⑦

英語

発行者の番号 略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	NEW HORIZON Elementary English Course 5 NEW HORIZON Elementary English Course 6 NEW HORIZON Elementary English Course Picture Dictionary	<ul style="list-style-type: none"> 各単元は見開き4パートで構成し、3パート目で4技能を統合し、コミュニケーションを行う言語活動を行う展開にしている。どのような言語活動を行うかが伝わるように、目的・場面・状況及び言語の働きをイラスト等で示している。また、その際に使用したコミュニケーションカードを教科書紙面に貼っておくことで、評価や振り返りの材料にできる構成にしている。 様々な活動で、小学校で扱う語や表現をジャンル別にまとめた別冊のPicture Dictionaryを利用することで、活動の幅を広げられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、各単元最後の「Enjoy Communication」では、児童が場面や状況・目的に応じて、実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合う言語活動を設定している。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 目標となる表現や語彙に繰り返しふれることができるように、「Starting Out」や「Your Turn」では様々な活動を設けている。 音を通して語彙や表現に慣れ親しめるように歌とチャンツを設けている。 横に置いて単語を書き写すことができるように、語彙表現集(Picture Dictionary)を別冊にしている。 音と文字を扱う「Sounds and Letters」を各ページおよび巻末に設けている。 アルファベットを練習したり、英文を書き込んだりする4線を巻末に設けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 既習事項を活用して、ペアやグループ、または学級全体でコミュニケーション活動を行う「Enjoy Communication」を各単元に設けている。 「Enjoy Communication」では、3段階で手順を示しており、発表等の流れも示している。また、活動で使用するコミュニケーションカードを巻末に付属している。 「Enjoy Communication」の言語活動終了後にコミュニケーションカードを貼るスペースである「Check Your Steps」を設けている。 食物連鎖と環境問題(理科)、栄養素と食糧問題(家庭・社会)など、教科横断的な題材を取り上げている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元の最初のページに「Our Goal」として、目標を明示している。 各学年をテーマ別に3つに分け、1テーマ終了時に「Check Your Steps」で活動を振り返り、テーマに沿ったスピーチにつなげている。 Picture Dictionaryに、5・6年生で何ができるようになるのかを示すCAN-DOリストを設けている。 音声を聞いたり、映像を視聴することができるように二次元コードを設けている。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各単元の最後に、単元の内容に関連して国際理解・異文化理解について扱う「Over the Horizon」を設けている。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 導入「Starting Out」で繰り返しインプットされた音声を手掛かりに、展開「Your Turn」で表現に慣れ親しみ、学習した表現を使って「Enjoy Communication」でコミュニケーションを行う構成にしている。 6年生では、「わたしのせりふ」として、児童が自分で考えた表現を書きためておくページを設けている。 年3回テーマ別に学びを振り返り、次の学びにつなげられるように単元末の成果物を貼る「Check Your Steps」を設けている。 全単元を見開き4パートの構成にしており、各パート2時間という時間配当にしている。 巻末資料に、ミシン目が入った絵カードとコミュニケーションカード、ローマ字表等を設けている。 短時間学習に対応できる活動は、ページの上下に配置している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> 判型は、A4判にしている。 5年生で配付し、2年間使用する語彙・表現集(Picture Dictionary)を別冊にしている。判型は、AB判にしている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動のイメージがつかめるように絵や写真を掲載している。 各活動には、どの技能を重点的に学ぶかを示すアイコンを掲載している。 書体は新ユニバーサルデザイン書体を使用している。 色使い等については、色覚特性の研究者による検証を行っている。 4線の第2線と基線の間の幅を広げ、第2線は点線にして、基線は太線・青色にしている。
9 開隆堂	Junior Sunshine 5 Junior Sunshine 6	<ul style="list-style-type: none"> 単元の始めに、その単元で行う言語活動を見通す「聞く活動」を置き、また、各単元末の言語活動に向けて、表現を使った活動を段階的に繰り返し、児童が負担なく最後の言語活動ができる構成にしている。 「読むこと」「書くこと」の活動では、各学年の巻末に、「文字に慣れよう」を設け、音と文字の関係等を段階的に主単元と並行して学習できる構成にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、各単元末にある「Let's Try」では、児童が場面や状況・目的に応じて、実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合う言語活動を設定している。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 目標となる語彙や表現を聞いて導入する「Let's Listen」を単元最初に設定している。 表現や語彙に繰り返しふれることができるように、「Let's Listen」「Let's Play」など様々な活動を設けている。 英語の音や表現に慣れ親しめるように歌とチャンツを設けている。 段階的に「読むこと」「書くこと」ができるように、「文字に慣れよう」を各単元に教科書後半にまとめて設けている。 「文字に慣れよう」では、音と文字の関係を学ぶ様々な活動を設けている。 単語や英文を書き込んだり、アルファベットを練習したりする4線を設けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 既習事項を活用して、友だちや先生とコミュニケーション活動を行う「Let's Try」を各単元末に設けている。 「Let's Listen」「Let's Play」などの活動で段階的に新しい語彙や表現を学習しながら、まとめの言語活動である「Let's Try」で発表などの活動につなげている。 年に2回、身に付けた表現を活用しながら復習する「Project」を設けている。 世界の衣食住を知ろう(社会・家庭)、宝物への道案内をしよう(社会・図工)など、教科横断的な題材を取り上げている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1年間で何ができるようになるのかを示すCAN-DOマップを設けている。 自己評価ができるように、単元の終わりには振り返り欄を設けている。 音声を聞いたり、映像を視聴したりできるように、二次元コードを設けている。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本のことを紹介する単元や日本と世界の文化を比較する単元など国際理解に関連する内容を扱っている。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元の始まりでゴールを見通し、「Let's Listen」や「Let's Play」など様々な活動を通して繰り返しふれながら語彙や表現を身に付け、「Activity」でまとめの言語活動を行う構成にしている。 見通しをもたせるために、巻頭にCAN-DOリストを設け、単元末には振り返り欄で毎単元振り返りをする構成にしている。 1年間で学んだことを振り返ることができる「この教科書で学んだことリスト」を巻末に付属している。 基本的に、1ページにつき配当時数を1時間のページ構成にしている。 巻頭で、3・4年の復習を扱っている。(5年) 巻末資料に単語リスト、この教科書で学んだことリスト、発音クリニック、ローマ字表、中学校へつなげよう(6年)、ミシン目が入った絵カード等を設けている。 「文字に慣れよう」のコーナーは、短時間学習にも対応できるように、基本的に3つの活動で構成している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> 判型は、AB判にしている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動のイメージがつかめるように絵や写真を掲載している。 各活動には、どの技能を重点的に学ぶかを示すアイコンを掲載している。 独自の手書きの文字に近い書体を使用している。 カラーユニバーサルデザインを取り入れられている。 4線の縦幅を4:5:4の比にしており、基線は青色で太線、それ以外は点線にしている。

発行者の番号 略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
11 学園	JUNIOR TOTAL ENGLISH 1 JUNIOR TOTAL ENGLISH 2	・見直しをもって学習に取り組めるように、各単元の最初で学習の進め方を示している。各単元末のまとめの活動や年2回のProject Timeでは、既習事項を活用して、自分の思いや考えを伝え合う言語活動を設けている。 ・音声によるインプットを重視し、毎回実施するレッスンの歌やSceneを使用した聞く活動等に加え、様々な活動を通して、目標となる語彙や表現に繰り返しふれることができる構成にしている。	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、「Use & Check」「Project Time」では、児童が場面や状況・目的に応じて、実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合う言語活動を設定している。	【知識・技能】 ・既習表現と新しい語彙・表現を含んだ音声聞く活動を繰り返し設けている。 ・目標となる表現や語彙に繰り返しふれることができるように、各単元の中に歌やチャンツ、聞く活動などを毎時間実施する基本セットを設けている。 ・アルファベットの読み書きを繰り返し、定着できるように「Alphabet Corner」を各単元に設けている。 ・文字と音に慣れ親しめるように、「Sounds and Letters」をページ下と「Alphabet Corner」に設けている。 ・アルファベットや英文をなぞったり、書き写したりして練習できるように各単元の書く活動で4線を設けている。 【思考・判断・表現】 ・単元のまとめとして、友だちと情報のやり取りや発表などの活動を行う「Use & Check」を設けている。 ・「Use & Check」は、直接書き込めるように欄を設けている。 ・年間2回の「Project Time」では、既習事項を活用して自分の思いや考えを伝える発表活動(言語活動)や発表用書き込みページを設けている。 ・「Project Time」は、聞く活動→やり取り→発表という手順を示している。 ・セクションBとCでは、日本には何がある(社会)、肉じゃがを作ろう!(家庭)など教科横断的な活動を設けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・見直しをもって取り組めるように、単元の最初のページで単元の目標と学習の進め方を示している。 ・単元での学びを振り返ることができるように「Check Time」を設けている。 ・音声を聞くことができるように、二次元コードを設けている。 【かわさき教育プラン】 ・様々な国の紹介、世界の文化や風習などにふれることができるように各単元にコラムを設けている。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・毎時間行う「レッスンの歌」「Scene」「Let's Listen」「Let's Chant」に加えて、教科書左右の見開きを交互に進めていく構成にしている。 ・基本的には、聞く→聞いたものを繰り返し言う→話す(やり取り、発表)→読む・書くという構成にしている。 ・学習の見直しをもてるようにするために、単元の始めに、単元目標、学習の進め方を提示し、単元最後の「Check Time」で振り返る構成にしている。 ・基本的には、毎時間行う活動に加えて1ページで配当時間を1時間とする構成である。 ・巻頭で、クラスルームイングリッシュ、あいさつ、アルファベット、数字、表現の復習、句や文の書き方等を扱っている。 ・巻末資料に、Word List、アルファベットの練習コーナー、ローマ字表等を設けている。 ・「Use & Check」と「Project Time」以外は1つの活動が15分程度で実施でき、短時間学習にも対応できる。 【分量・装丁】 ・判型は、A4判にしている。	【読みやすさの工夫】 ・活動のイメージがつかめるように絵や写真を掲載している。 ・各ページの活動の内容を、技能別のイラストを用いて表示している。 ・書体は、UDデジタル教科書体を使用している。 ・カラーユニバーサルデザインを取り入れている。 ・4線の縦幅を5:6:5にし、基線以外は線の色を薄くしている。
15 三省堂	CROWN Jr. 5 CROWN Jr. 6	・HOP(見直し)→STEP(習得)→JUMP(活用)という流れで大単元としている。まとめのプロジェクト型活動(言語活動)を行うJUMPには、実際のコミュニケーションの場面で自分のこと等を表現する2種類の活動があり、それぞれ4段階の手順で示している。 ・JUMPで行う言語活動に向けて、STEPでは、表現や語彙を使いながら身に付けていけるように、「聞く」「話す」活動を中心に設定している。また、「読む」「書く」活動にも慣れていく構成にしている。	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、年に3回設けられている「JUMP」では、児童が場面や状況・目的に応じて、実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合う言語活動を設定している。	【知識・技能】 ・「STEP」の各パートは、目標の語彙や表現を使って様々な活動を繰り返し行うことで身に付く構成にしている。 ・使いながら語彙や表現が定着するように、自分のことなどを表現するアウトプット活動を単元後半に増やしている。 ・英語の音・語句などに慣れ親しめるようにチャンツ等の活動を設けている。 ・音と文字の結びつきを段階的に学ぶために「Sound Chant」「Enjoy Reading」などを設けている。 ・「STEP」には、音を聞きながら文字に親しめるように「Enjoy Reading」を設けている。 ・「Write & Speak」等の書く活動では、書き込むことができる4線を設けている。 【思考・判断・表現】 ・まとめの活動として、既習事項を活用して自分の考えや思いを伝え合う言語活動である「JUMP」を年に3回設けている。 ・「JUMP」では、活動の手順を4段階で示し、2つの活動を設けている。 ・「STEP」の「Listen & Talk」「Write & Speak / Talk」などの活動では、自分のことや自分の考え等を伝え合う活動を設けている。 ・日本のここ、おすすめ!(社会)、なりたいものは、何?(道徳・総合)など、教科横断的な題材を取り上げている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・見直しをもって取り組めるように、「HOP」で、「HOP」「STEP」「JUMP」の大きなまとまりの目標を立てる欄を設けている。 ・目標が達成できたか振り返ることができるように、「CAN-DOリスト」を巻末に設けている。 ・音声を聞くことができるように二次元コードを設けている。 【かわさき教育プラン】 ・外の世界とのつながりを意識できるように、「今、この瞬間」など外国の文化に関する題材を扱ったり、「世界の小学校」のコラムなどを設けたりしている。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・4~5の単元で大単元とし、HOPで大単元全体の見直しをもたせ、STEPで様々な活動を通して語彙や表現を身に付け、JUMPで既習表現を使って表現する言語活動を行うという構成にしている。 ・単元の最後は「Write & Talk」「Write & Speak」など、まとめとして書く活動を設けている。 ・JUMPの「まとめとふりかえり」と巻末にCAN-DOリストを設け、活動や単元での学びを振り返ることができる構成にしている。 ・STEPは、各パート配当時間を2時間とする構成である。 ・巻頭で、英語で言えるかな、教室英語、会話を続ける工夫等を扱っている。 ・巻末に、コラムやWords & Phrases、学習した主な表現、ローマ字表、アルファベット表、アルファベットカード、時差時計、メモリーブック、ワークシート等を付属している。 ・短時間の授業で行うことができるように、「Listen & Talk」「Story」または「実世界の英語」、Chantの3つのコーナーを独立させることができる。 【分量・装丁】 ・判型は、AB判にしている。	【読みやすさの工夫】 ・活動のイメージがつかめるように絵や写真を掲載している。 ・各活動には、どの技能を重点的に学ぶかを示すアイコンを掲載している。 ・専用の手書き文字フォントを使用している。 ・カラーユニバーサルデザインを取り入れている。 ・4線の第2線と基線の間の幅を広げ、基線は太線・青色にしている。

発行者の番号 略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
17 教出	ONE WORLD Smiles 5 ONE WORLD Smiles 6	<ul style="list-style-type: none"> 目的をもって学習を進めるために、冒頭に1年間の学習目標を示している。各単元の初めのページの活動は、単元最後の言語活動を見通せるようにして、単元最後で振り返りをする構成になっている。言語活動用ワークシート等を付属している。 各単元では、言語活動に向けて様々な活動を繰り返し設定している。「Let's Think」では、活動だけでなく、コミュニケーションのあり方、言語、文化等について考えたり気付いたりする機会を作るなど、問題解決的な学習を取り入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、各単元最後の「Final Activity」では、児童が場面や状況・目的に応じて、実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合う言語活動を設定している。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 聞いて慣れ親しむ活動から、語彙・表現等を実際使用しながら段階的に身に付けられるように「Activity」など様々な活動を設けている。 ページ下にアルファベットの音と文字を学ぶ「ジングルコーナー」を設けている。 5年生前半でアルファベットの読み方、書き方を復習する「The Alphabet」を設けている。 文字に段階的に慣れ親しめるように、文字と音の関係を学ぶ「Sounds and Letters」を単元末に設けている。 「The Alphabet」「Sounds and Letters」「Review」等の書く活動では、書き込むことができる4線を設けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元のまとめとして、既習事項を活用してコミュニケーションを行う言語活動の「Final Activity」を各単元末に設けている。 「Let's Think」「Let's Listen」などの活動で段階的に学習しながら、まとめの言語活動である「Final Activity」につなげている。 「Final Activity」で使用するワークシート等を巻末に付属している。 はしの上のおおかみ(道徳)、地図記号を生かした学習(社会)など、教科横断的な題材を取り上げている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 見通しをもって取り組めるように、学年の目標を冒頭に示している。また、単元の最初では単元の目標を示している。 単元の終わりには、単元での学びを振り返る欄を設けている。 音声を聞いたり、映像を視聴したりできるように二次元コードを設けている。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際理解につながるように外国の話題を取り上げて、日本文化の良さに気付かせたり、異文化への関心を高めたりできるように「Let's Look at the World」を設けている。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 見通し(Let's Watch)→口慣らし(Let's Sing/Let's Say It Together)→考える(Let's Think)→インプット活動(Let's Listen)→やり取り(Activity)→読む・書く活動(Let's Read and Write)→言語活動(Final Activity)という構成になっている。 各単元末には音声と文字の関係の学習(Sounds and Letters)、復習(Review)、自己評価表を設けている。 冒頭に1年間の目標、単元の始めに単元の目標を示し、単元末に振り返り欄を設ける構成になっている。 各パート見開き2ページで配当時間1～2時間の構成になっている。 巻頭で、前年度までの振り返り、教室英語、アルファベット等を扱っている。 巻末資料に、My Word Bank、ジングル、アルファベット表、ローマ字表、My Book(6年生)、ミシン目が入った絵・アルファベットカードやワークシート、シール等を設けている。 「Let's Sing」や「Let's Say It Together」等は、45分の授業との内容的な関連性を持ちながらも短時間学習にも対応できる。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> 判型は、AB判にしている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動のイメージがつかめるように絵や写真を掲載している。 各活動には、どの技能を重点的に学ぶかを示すアイコンを掲載している。 書体はユニバーサルデザインフォントを使用している。 カラーユニバーサルデザインを取り入れている。 4線の上下幅は、4:5:4とし、基線は青色にしている。
38 光村	Here We Go! 5 Here We Go! 6	<ul style="list-style-type: none"> 各単元は、Hop!→Step1→Step2→Jump!という4パートの構成にし、それぞれを見開き2ページで示している。最後にまとめとして児童が自分で判断し表現する言語活動を設定している。 まとめとなる言語活動に向けて、Hop!とStep1・2では、聞く・話す活動を繰り返し、楽しみながら表現や語彙に慣れ、最後に学習した英語を書くという活動を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、各単元最後の「You can do it!」では、児童が場面や状況・目的に応じて、実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合う言語活動を設定している。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> Stepでは、聞く活動やチャンツで表現に慣れ、その後、表現や語彙に繰り返しふれることができるように、「Let's play」「Let's try」など様々な活動を設けている。 5年生後半から、慣れ親しんだ語彙や表現を使って文字を読む活動である「Let's listen and read」を設けている。 英語の音や表現に慣れ親しめるように歌とチャンツを設けている。 アルファベットは、5年生の前半3回の「Alphabet Time」で扱い、引き続きゲームなどで楽しみながら学ぶことができるように「Fun Time」を設けている。 文字と音に慣れ親しめるように「Sounds and Letters」をページ下と巻末に設けている。 書く活動では、アルファベットや英文を書くための4線を設けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えや気持ちを伝え合ったり発表したりする言語活動である「You can do it!」を各単元末に設けている。また活動用シールも付属している。 「Let's watch」「Let's play」等の活動で語彙や表現を段階的に学習しながら、まとめの言語活動である「You can do it!」で発表などの活動につなげている。また、よりよいコミュニケーションをするためのポイントを記載している。 「学びをつなげよう」では、教科横断的な学習ができるように、国語や理科、社会等他教科との関連を図っている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元の初めと目次に、「Goal」として、目標を明示している。 1年間で何ができるようになるのかを示すCAN-DOリストを設けている。 自分の学習の振り返りができるように、単元の終わりに「ふりかえろう」を設けている。 音声を聞いたり、映像を視聴することができるように二次元コードを設けている。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「世界の友達」や各単元にある「World Tour」など異文化理解を深められるような題材を扱っている。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各単元の「Hop!」で単元のゴールと学習の見通しを示し、「Step1・2」にある様々な活動で表現に慣れ親しみ、最後の「Jump!」にある「You can do it!」で学習した表現を活用して言語活動を行うという構成になっている。 英語のできるようになったことをすごろく形式で確認できる「Let's play sugoroku」を折込見開きで設けている。 Hop! → Step 1 → Step 2 → Jump! で単元を構成し、それぞれを見開き1ページで掲載している。 巻頭で、CAN-DOリスト、アルファベット、数字、前年度までの振り返り、教室英語等を扱っている。 巻末資料に絵辞典、ローマ字表、「学びのパスポート」「Let's play sugoroku」「学習した表現」「中学校に向けて(6年)」、ミシン目が入った絵・アルファベットカードや活動用シール、ペンマンシップシート等を設けている。 各単元の「You can do it!」以外の活動は、短時間学習でそのまま行えるように設定しているものもあり、「教科書の使い方」のページで示している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> 判型は、AB判にしている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動のイメージがつかめるように絵や写真を掲載している。 各活動には、どの技能を重点的に学ぶかを示すイラストを掲載している。 アルファベットは、線の幅に対応した独自に開発したフォントを使用している。 カラーユニバーサルデザインを取り入れている。 4線の第2線と基線の間の幅を広げ、基線は青色にしている。

発行者の番号 略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
61 啓林館	Blue Sky elementary 5 Blue Sky elementary 6	<ul style="list-style-type: none"> 各単元は、扉→パート1→パート2→パート3→振り返りという構成にしており、それぞれを見開き2ページで示している。パート3では、それまでのパートで積み重ねてきたものを使って、単元のまとめとなるような言語活動を行う。 各単元では、扉で導入と動機付けを行い、パート1・2で、聞く・話す活動を繰り返して行い、最後に読む・書く活動を設定している。各単元での言語活動の他に、それまでに学習した内容を使って、既習表現の復習や活用ができるように、年に3回のREVIEWを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を重視している。 教育内容の主な改善事項のうち、「言語活動の充実」に関連して、各単元最後の「Activity」では、児童が場面や状況・目的に応じて、実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合う言語活動を設定している。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 目標とする表現や語彙に繰り返しふれることができるように、各パートに「Listen and Do」「Activity」など様々な活動を設けている。 基本的な表現や語彙を示し、慣れ親しむことができるように「Listen and Play」や「Chant」を設けている。 音を通して語彙や表現に慣れ親しめるようにジングルやチャンツ、歌を設けている。 各単元の最後にアルファベットの学習をする「Let's Read and Write」(6年の最後の2単元は「Let's Read」)を設けている。 書く活動にはアルファベットや英文を書くための4線を設けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元のパート2・3を中心にコミュニケーション活動である「Activity」を設け、特にパート3では、単元のまとめとして既習事項を活用して英語で気持ちや考えを伝え合う言語活動を設定している。 「Listen and Do」等の活動で語彙や表現を段階的に学習しながら、まとめの言語活動である「Activity」につなげている。 年に3回ある「REVIEW」のページの中に、まとめとして既習事項を活用して英語で気持ちや考えを伝え合う言語活動と発展となる活動を設けている。 都道府県の特徴(社会)、大きなかぶ(国語)等、教科横断的な題材を扱っている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 見通しをもって学習を進められるように、各単元の最初に全体のめあてである「GOAL」を設けている。 単元の振り返りができるよう各単元末に「Looking Back」(振り返り欄)を設けている。 1年間で何ができるようになるのかを示すCAN-DOリストを設けている。 単元で使う単語や表現を聞くことができるように二次元コードを設けている。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元末に設けられている「Did you know?」では、国際理解・異文化理解につながるように外国の様々な話題を取り上げている。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各単元が見通しをもたせる「Listen & Guess」で始まり、「Listen & Do」などの様々な活動を通して語彙や表現に慣れ親しみ、パート3の「Activity」を中心に既習事項を活用して言語活動を行う構成にしている。 6年生の各パート末は、様々な活動を通して慣れ親しんだ表現を使って自分の考えを選択して書くという構成にしている。 めあてがどの程度達成されたか振り返ることができるように、各パートに「できたかな?」と1年間でできるようになったことを確認するCAN-DOリストを設けている。 各パートは見開き2時間で扱える構成にしている。 巻頭に、アルファベット表を掲載している。 巻末に、Word List、ミシン目が入った付録カード(単語カード・大文字・小文字カード)、CAN-DOリスト、ローマ字表等を付属している。 短時間学習で取り組める活動を設け、その活動には、砂時計マークを示している。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> 判型は、AB判にしている。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動のイメージがつかめるように絵や写真を掲載している。 どの技能を重点的に育成する活動かが分かるようにアイコンを設けている。 ユニバーサルデザインフォントを使用している。 色使いやデザインに配慮し、メディア・ユニバーサル・デザイン協会による認証マークを取得している。 4線の上下幅は、5:6:5とし、基線は青色にしている。

令和2年度使用教科用図書審議結果 ⑦

道徳

発行者の番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新訂 あたらしいどうとく 1 新訂 新しいどうとく 2 新訂 新しいどうとく 3 新訂 新しいどうとく 4 新訂 新しい道徳 5 新訂 新しい道徳 6	・主体的に学べるように、重点化されている内容項目を連続で配置することや、学習の進め方が分かる工夫をしている。 ・問題解決的な学習や体験的な活動ができる教材を配置したり、各教科等と関連が図れたりする「つながる」「広がる」を設けている。 ・学んだことが振り返られるよう、巻末に学習の記録を設けている。	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「道徳教育の充実」に関連して、主体的に考えられるよう、体験活動や各教科とのつながりを意識した教材の工夫をしている。	【知識及び技能】 ・全学年を通して重点化されている内容項目(節度、節制/規則の尊重/生命の尊さ)を繰り返し学習できるように設定している。 ・いじめの問題に関する内容は、多面的・多角的に考えられるように、ユニット学習として掲載している。 ・各学年に応じて、情報モラルや現代的な課題などの教材を掲載している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・各学年で体験的な活動ができるような教材を配置している。 ・3年生以上には、問題解決的な学習に対応した教材を配置し、話し合いの手引きになる「考えるステップ」を示している。 ・各教材の最後に「考えよう」を設け、学習の中で何を考えればよいのかを示している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「つながる・広がる」の付録として、各教科等との関連を図れるような資料を掲載している。 ・巻末にワークシートがあり、学期ごとに心に残った学習を振り返ることができるページを設けている。 ・1時間ごとの振り返りが簡単にできるページを巻末に設けている。 【かわさき教育プラン】 ・人間関係づくりに関する教材とセットで「出会う・ふれ合う」というページを2ヶ所設けている。 ・各学年、いじめの問題に関連する教材を2つ掲載している。 ・各学年で家族や地域活動に関する教材を取り上げている。 ・神奈川県に関する教材では、6年生で多摩川を扱った教材、4年生で神奈川県の鉄道を扱った教材を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・授業の進め方が分かるように、学習の流れが確認できるページを全学年に掲載している。 ・何を学んでいるのかが分かるよう、内容項目の4つのまとめごとにマークを設けている。 ・各教材の最後に「考えよう」が設けてあり、キャラクターが学習の案内をするような位置付けにしている。 ・学習の記録、学習のまとめを巻末に設けている。 ・各教材の冒頭に学習テーマを掲載している。 【分量・装丁】 ・35教材の他に、「付録」として、写真や詩などを2～4つ掲載している。 ・巻末に書き込めるワークシートは紙の種類を変えている。 ・インターネット上にあるデジタルコンテンツを利用できるDマークをつけた教材を配置している。 ・AB判を採用している。	【読みやすさの工夫】 ・内容項目A～Dのどの視点の教材であるか分かるように題名の上にマークを表示している。 ・独自に開発した少し太めの教科書体文字を使用し、振り仮名にはユニバーサルデザイン書体を使用している。 ・カラーユニバーサルデザインに配慮している。 ・当該学年の前までの漢字を使用している。 ・低学年には分かち書きを取り入れている。 ・文章の意味をつかみやすくするため、意味のまとめで改行している。
11 学図	かがやけ みらい しょうがっこうどうとく 1ねん きづき かがやけ みらい しょうがっこうどうとく 1ねん まなび かがやけ みらい 小学校どうとく2年 まなび かがやけ みらい 小学校どうとく3年 きづき かがやけ みらい 小学校どうとく3年 まなび かがやけ みらい 小学校道徳 4年 きづき かがやけ みらい 小学校道徳 4年 まなび かがやけ みらい 小学校道徳 5年 きづき かがやけ みらい 小学校道徳 5年 まなび かがやけ みらい 小学校道徳 6年 きづき かがやけ みらい 小学校道徳 6年 まなび	・「きづき」と「まなび」の2分冊で教材を構成し、何を学んでいるのかが分かるように、話し合うことや自分を見つめることを示す発問を掲載している。 ・「ともにいきる」というテーマで現代的な課題の教材を配置している。 ・「まなび」は、自分の考えや友達の考えを記入することができる。また、内容項目ごとに構成され、自分の考えを比べる工夫をしている。	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「道徳教育の充実」に関連して、「多様性を前提とした問題解決能力の育成」を目指し、自らの気付きをもとに学び合いができる「きづき」「まなび」の二部構成で学習できるように工夫している。	【知識及び技能】 ・全学年でいじめの問題や情報モラル等、現代的な課題に関する内容の教材を掲載している。 ・いじめの問題は、年間を通して計画的に扱うことができるように、関連した教材を各学年に5つ以上掲載している。 ・キャリア教育や食育、国際理解、伝統文化などについて考える教材を掲載している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・主に授業の導入で活用できるように、道徳的価値を見つけたり、多面的・多角的なものの見方に触れたりできる「こころのパレット」を「まなび」に掲載している。 ・教科書「きづき」と別冊「まなび」に学習の進め方が分かるページを掲載している。 ・別冊「まなび」に主題名や発問、自分の考えを記入できる欄を掲載している。 ・同じ内容項目の学習を振り返ることができるように、別冊「まなび」は内容項目ごとに構成している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・別冊「まなび」には、体験的な活動や友達との意見交流を設定できる発問を掲載している。 ・別冊「まなび」の「みつめよう」の欄で自己を見つめることができる発問を表記している。 ・別冊「まなび」に、自分の考えや友達の考えを記入する欄を設けている。 【かわさき教育プラン】 ・全学年に、「ともにいきる」というテーマで、キャリア教育や人権教育、いじめの問題に関連した教材を5つ以上掲載している。6年生の資料として「世界人権宣言」を掲載している。 ・家庭や地域での連携を意識して、別冊「まなび」の巻末に保護者へ向けて、道徳の授業で目指すことが明記されている。 ・各学年の巻末に「ふるさとコラム」を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・何を学んでいるのかが分かるよう、内容項目の4つのまとめごとにマークを設けている。 ・別冊「まなび」には、主題名のほかに「かんがえよう」「みつめよう」の欄があり、発問を示している。 ・別冊「まなび」は、自分の考えや友達の考えを内容項目ごとに記入する構成にし、複数時間の学習を同じページで振り返ることができるようにしている。 ・いじめの問題に関連した学習であることが分かるように、目次や該当ページにマークを表示している。 【分量・装丁】 ・35教材を掲載している。 ・教科書「きづき」と、別冊「まなび」の併用で1つの教科書として構成している。 ・教材の最初のページには、別冊の何ページと対応しているかを表示している。 ・ホームページにある補助教材等を使用できるように二次元コードを表示している。 ・AB判を採用している。	【読みやすさの工夫】 ・内容項目A～Dのどの視点の教材であるか分かるように題名の上にマークを表示している。 ・ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ・カラーユニバーサルデザインに配慮している。 ・低学年は分かち書きをしている。 ・当該学年までの漢字を使用している。当該学年で習う漢字には全て振り仮名を振っている。 ・教材は見開きで始まるようになっている。

発行者の 番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
17 教出	しょうがくどうとく1 はばたこうあすへ 小学どうとく2 はばたこう明日へ 小学どうとく3 はばたこう明日へ 小学道徳4 はばたこう明日へ 小学道徳5 はばたこう明日へ 小学道徳6 はばたこう明日へ	<ul style="list-style-type: none"> ・考えを深めたり、話し合ったりする活動が充実するよう、問題解決的な学習を重視し、重点化した指導ができる教材を複数配置している。 ・体験的な活動ができる教材を配置し、学習活動を促す「やってみよう」のページを設けている。 ・学びの記録や1年間を振り返るページに自分の考えを書き、自己の成長に気付ける工夫をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「道徳教育の充実」に関連して、「豊かな情操と道徳心を培うこと」を目指して、話し合いを深めるための問いや体験的な活動が取り入れやすい教材を設けるなどの工夫をしている。 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学年を通して、いじめの問題、生命の尊重、情報モラルの3つを重点として位置付けている。 ・各学年に情報の扱い方や情報を扱う際の配慮など、情報モラルに関する教材を掲載している。 ・現代的な課題として学年に応じて、防災教育、キャリア教育などに対応する教材を掲載している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の初めに自分の考えを記入したり、話し合いを促したりするページを、各学年2～3ヶ所掲載している。 ・体験的な活動を通して、道徳的価値をより深く理解させることを意図するために「やってみよう」を設けている。 ・考えを深めたり、話し合ったりするなどの活動が充実するよう、教材ごとに「考えよう」「深めよう」「つなげよう」を設けている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低学年では、巻末に礼儀とマナーを扱った資料を掲載している。 ・考えを書いたり、自己の成長に気付かせたりするなどの活動が充実するよう、巻頭の「〇年生の道徳の学習が始まるよ」と巻末の「学びの記録」「一年間の道徳の学習を振り返ろう」には書き込み欄を設けている。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年にいじめの問題を直接的に扱ったものと間接的に扱った教材を複数掲載している。 ・高学年には、人権教育に関する教材を3つ掲載している。 ・神奈川県に関する教材では、2年生で相模川の大凧、4年生で二宮金次郎、5年生で横浜港、6年生で横浜市水道局を取り上げている。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が考える際のヒントになるよう、導入では課題を意識させるキャラクターの言葉を掲載している。 ・教材ごとの「学びの手引き」では、道徳的価値についての学びを深められるように、「考えよう」「深めよう」「やってみよう」「つなげよう」のコーナーを設けている。 ・自己の生き方についての考えを深められるように、授業で学んだことを日常生活につなげたり、他教科や特別活動とつなげたりする「つなげよう」を設けている。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の独自教材を入れられるように、30教材で全ての内容項目を配置している。補充教材として5つの教材(1年生は4つ)を掲載している。 ・「まなびリンク」マークをつけた教材は、学習に関連する情報をウェブサイトで見ることができるようにしている。 ・AB判を採用している。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目A～Dのどの視点の教材であるか分かるように題名の上にマークを表示している。 ・ユニバーサルデザインに配慮したフォントを使用している。 ・カラーユニバーサルデザインに配慮している。 ・低学年では分かち書きをしている。
38 光村	どうとく 1 きみが いちばん ひかるとき どうとく 2 きみが いちばん ひかるとき どうとく 3 きみが いちばん ひかるとき 道徳 4 きみが いちばん ひかるとき 道徳 5 きみが いちばん ひかるとき 道徳 6 きみが いちばん ひかるとき	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を3つのまとまりに分け、内容項目のABCの視点を重点的に指導できるように配置している。また、Dの視点については年間を通して配置し、重点的に指導できる工夫をしている。 ・問題意識をもって学習に取り組めるように「考えよう・話し合おう」「やってみよう」の欄や、考えを深められるように、教材とコラムを組み合わせたユニット学習を設定している。 ・自らの学びを振り返られる「学びの記録」のページを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「道徳教育の充実」に関連して、児童を深い学びに導き、豊かな道徳性を育むことを目指して、児童の成長を考慮した年間構成になるように1年間を3つのまとまりに分け、重点を置きながら学習できるように工夫している。 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目A～Dの指導の系統性が出るように年間を3つのカテゴリーに分けている。 ・Dの視点を3つのカテゴリーに配置し、生命の尊さに関する教材を位置付けている。 ・いじめの問題、情報モラル等現代的な課題には、教材とコラムとを組み合わせた「ユニット」を設定している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材文の後に「考えよう・話し合おう」の項目を設けている。 ・体験的な学習ができるように「演じて考えよう」を設けている。 ・各学年に5ヶ所(1、2年生は2ヶ所)に教材とコラムを組み合わせたユニットを位置付けている。 ・多面的・多角的に考える内容(「学校ってなんだろう」「自分らしい楽しいってなんだろう」「うそってなんだろう」「友達ってなんだろう」「生きる幸せってなんだろう」「自分ってなんだろう」)を学年に応じて掲載している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自らの学びを振り返られるように、「学びの記録」を各学年3ヶ所に掲載している。 ・学習のてびき「つなげよう」では、学習したことを次の行動につなげる言葉を示している。 ・3年生以上に長期休みを視野に入れた「夏休みに調べてみよう」「冬休みに調べてみよう」を設けている。 <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年生以上にいじめの問題や人権教育など現代的な課題をユニットで5つ設定している。低学年は情報モラルといじめの問題の2つをユニットで設定している。 ・5年生にはコラムとして「子どもの権利条約」を掲載し、6年生には「世界人権宣言」を扱った教材を掲載している。 ・全学年に「心を通わそう」を設け、よりよい人間関係づくりに関する内容を掲載している。 ・3年生以上の巻末付録では、郷土や伝統文化などの資料を掲載している。 	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の進め方が分かるように、2年生以上の巻頭に、道徳がどんな学習であるのかを示している。 ・内容項目の4つのまとまりごとにマークを設け、何を学んでいるのかが分かるようにしている。 ・全学年の巻末には発達段階に応じた人間関係づくりに関わるページを掲載している。 ・問題意識をもたせるために教材冒頭にキャラクターによる児童への呼びかけの言葉を示している。 ・3年生以上の巻末に郷土や伝統文化に関する資料を掲載している。 ・教材末の学習の手引きに「考えよう・話し合おう」を設けている。 <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・35教材を掲載している。 ・「学びの記録」を3ヶ所に掲載している。 ・読み上げ音声や関連する資料などが利用できるように、二次元コードを設けている。 ・B5変形判を採用している。 	<p>【読みやすさの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目A～Dのどの視点の教材であるか分かるように題名の上にマークを表示している。 ・光村教科書体を使用している。 ・タイトル見出しはUDフォントを使用している。 ・カラーユニバーサルデザインに配慮している。 ・1年生では数字、カタカナ以外は全て平仮名表記にしている。 ・当該学年までの漢字を使用している。当該学年で習う漢字には全て振り仮名を振っている。 ・読みのつまずきを軽減するため、文字は必ず分節で改行するようにしている。 ・1年生は文節分かち書き、2年生は3文節程度の分かち書きにしている。

発行者の 番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
116 日文	しょうがくどうとく いきる ちから 1 しょうがくどうとく いきる ちから 1 どうとくノート 小学どうとく 生きる 力 2 小学どうとく 生きる 力 2 どうとくノート 小学どうとく 生きる力 3 小学どうとく 生きる力 3 どうとくノート 小学道徳 生きる力 4 小学道徳 生きる力 4 道徳ノート 小学道徳 生きる力 5 小学道徳 生きる力 5 道徳ノート 小学道徳 生きる力 6 小学道徳 生きる力 6 道徳ノート	・問題解決的な学習や体験的な学習などができる教材を設け、学習の流れを示して考えやすい工夫をしている。 ・主題をより多面的・多角的に考えられるように、コラム「心のベンチ」のページを数ヶ所設け、考えを深められる工夫をしている。 ・考えたことや話し合ったことを記入できる別冊道徳ノートを設けている。	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「道徳教育の充実」に関連して、現代的・社会的な課題に対応した教材を多く取り上げ、重点化して取り組むことができるように工夫している。	【知識及び技能】 ・全学年を通して「善悪の判断、自立、自由と責任」「親切、思いやり」「規則の尊重」「生命の尊さ」を重点として位置付けている。 ・いじめの問題に関する内容を年間3回、ユニットで学習できる教材を配置している。 ・情報モラルや、安全(防災・防犯・交通安全)、持続可能な社会(環境・平和・人権)に関する教材を各学年に掲載している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・学年に応じて、体験的な学習ができる教材を2～3つ掲載している。 ・問題解決的な学習ができる教材を各学年に1～3ずつ設け、学習の流れを示している。 ・教材に関連した内容や活動を取り上げた、コラム「心のベンチ」を各学年4～5ヶ所設けている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・各教材の最後に、学習を通して学んだこと、分かったことを自発的に確かめていくための発問例を掲載した「見つめよう生かそう」を設けている。 ・考えたことや話し合ったことを書いたり、学習を振り返ったりすることができる別冊「道徳ノート」を付けている。 ・別冊「道徳ノート」は、自由に記述できる欄を設けている。 【かわさき教育プラン】 ・各学年に、人権尊重の視点から、人との関わりについて考える教材を掲載している。その中で、いじめの問題を直接的に扱った教材、間接的に扱った教材を複数掲載している。 ・神奈川県に関する教材では、3年生で「富士と北斎」(箱根)、コラムで4年生で相模湾のクリーン活動を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・各学年に道徳科の学び方を伝えるページを巻頭に掲載している。 ・何を学んでいるのかを分かるよう、内容項目の4つのまとめごとにマークを設けている。 ・登場人物のイラストや写真を教材の初めに掲載している。 ・問題解決的な学習に適した教材や体験的な学習を取り入れることに適した教材には、「学習の手引き」を挿入して、問題をつかむ活動や考える活動を促す発問、具体的な活動例などを示している。 【分量・装丁】 ・35教材のほか、「付録」として3教材を収めている。 ・別冊「道徳ノート」は教科書の間に収まる。 ・1教材1ページの別冊「道徳ノート」は、下段に自由記述ができる欄を設けている。 ・別冊「道徳ノート」に保護者記入欄を設けている。 ・ウェブサイト上の教科書デジタルコンテンツが利用できる教材にマークを付けている。 ・AB判を採用している。	【読みやすさの工夫】 ・内容項目A～Dのどの視点の教材であるか分かるように題名の上にマークを表示している。 ・文字の大きさや書体などユニバーサルデザインに配慮している。 ・漢字は、原則として当該学年の配当漢字までを使用し、当該学年以上の漢字には全て振り仮名を振っている。 ・やや難解な語句や、教材の読み取りのために必要な補助説明を加えている。 ・教材は全て見開きになっている。 ・疑問に思ったこと、やってみたいと思うことを投げかけるために4人の児童キャラクターを使用している。
208 光文	しょうがく どうとく ゆたかな こころ 1ねん 小学 どうとく ゆたかな こころ 2年 小学 どうとく ゆたかな心 3年 小学 どうとく ゆたかな心 4年 小学道徳 ゆたかな心 5年 小学道徳 ゆたかな心 6年	・問題意識をもって学習に臨めるように、自分の経験を想起する問いや主題に関わる問いなどを設定している。 ・何について学ぶのかを分かるように、学習の流れを「問いをもつ」「考える」「まとめる」「広げる」の4段階構成にしている。 ・学習後の振り返りができるように、巻末の「学びの足あと」を設けている。また、学期末や年度末の振り返りができる欄も設けている。	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「道徳教育の充実」に関連して、目的意識をもって主体的に学習に取り組むことができるように、毎時間の授業の見通しがつくような流れにしている。	【知識及び技能】 ・全学年を通しての重点を「生命の尊さ」と設定している。また、各学年に指導内容の重点化が図れる教材を設定している。 ・現代的な課題への取り組みとして、情報モラルに関する教材(コラムも含め)を各学年で設定している。 ・いじめの問題に関する教材を各学年4つ以上掲載している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・多様な感じ方や考え方を実感したり、多面的・多角的に考えたりする発問を投げかけるキャラクターを設定している。 ・学習のまとめとして、挨拶や言葉遣いなど、具体的な道徳的行為のよさや難しさなどを体験する活動を設定している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・巻末に「学びの足あと」を設け、毎時間の振り返りの欄を設けている。また、「まとめ」の欄を設け、学期や学年末のまとめとして、学習を振り返る欄を設けている。 ・教材の冒頭で、自分の経験を想起する問いかけや文や主題に関わる問題意識をもつことができる問いを設定している。 ・主体的に考えることができるように、教材の末尾に「まとめる」「広げる」を設けている。 【かわさき教育プラン】 ・各学年、いじめの問題に関する教材を4～8つ掲載している。 ・神奈川県に関する教材では、3年生で横浜、5年生でチョーク工場を掲載している。 ・障害のある方や外国の方などとの関わりの中で生きていくことを考える教材を掲載している。 ・人間関係づくりに関するコラム「みんなでやってみよう」を各学年に掲載している。 ・人権教育に関連してコラム「子どもの権利条約」を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・巻頭に「問いをもつ」「考える」「まとめる」「広げる」という学習の流れを示している。 ・何を学んでいるのかを分かるよう、内容項目の4つのまとめごとにマークを設けている。 ・教材の初めに考える視点になる問いを示し、教材文の下段に、キャラクターが考えるための発問を投げかけている。 ・「まとめる」では、分かったことや気付いたことを道徳のノート(別売)にまとめる例を記している。 ・「広げる」では、実際の生活でも生かせる例を示している。 ・複数の登場人物がいる場合はイラストで名前を紹介している。 ・巻末には、一言欄とともに、低学年は表情で、3～6年生は、矢印で授業の感想を表示できる。 【分量・装丁】 ・35教材のほかに、「付録」として5教材を収めている。 ・巻末の「学びの足あと」には、授業の記録を残すページを掲載している。 ・A4に近い判型を採用している。	【読みやすさの工夫】 ・内容項目A～Dのどの視点の教材であるか分かるように題名の上にマークを表示している。 ・カラーユニバーサルデザインに配慮している。 ・前学年までの漢字を使用している。1～3年生までは全ての漢字に振り仮名を振っている。 ・文節改行を行い、読みやすくしている。 ・分かりにくい言葉には、適宜脚注で説明を設けている。

発行者の 番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
224 学研	新・みんなのどうとく1 新・みんなのどうとく2 新・みんなのどうとく3 新・みんなの道徳4 新・みんなの道徳5 新・みんなの道徳6	・価値を押しつけることのないよう、あえて主題を記載せず、教材末に考えるきっかけとなる文を掲載している。 ・「深めよう」「つなげよう」「やってみよう」「広げよう」という4つの学び方を示し、多様な学びができる工夫をしている。 ・巻末に学びを振り返る記入欄を設けている。	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「道徳教育の充実」に関連して、考えを深めるために、「深めよう」「つなげよう」「やってみよう」「ひろげよう」の学びの場面を設け、教材をもとに話し合う活動や役割演技をして心情を理解する活動などの工夫をしている。	【知識及び技能】 ・「生命の尊さ」の内容項目に関する教材を各学年に3つ配置している。 ・各学年に情報の扱い方や情報を扱う際の配慮など、情報モラルに関する教材を掲載している。 ・いじめの問題に関連する内容の教材を各学年5つ以上掲載している。 ・各学年にキャリア教育や伝統文化など、現代的な課題に関する教材を配置している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・多面的・多角的に考えることができるように「深めよう」というページで学習の流れを示している。 ・複数の教材を連続して学習する「ユニット」を設けている。 ・体験的な活動ができる教材を掲載し、「やってみよう」というページで学習の流れを示している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「やってみよう」「つなげよう」「深めよう」「広げよう」という4つの学び方を提示している。また、道徳での学習を日常生活に生かせるような活動を例示している。 ・学びを振り返り、記入できるように「こころの宝物」という欄を巻末に設けている。 【かわさき教育プラン】 ・各学年、いじめの問題に関する教材を5～8つ掲載している。 ・低学年には保護者にもコメントを書いてもらう書き込み欄がある。 ・神奈川県に関する教材では、3年生で二宮金次郎、5年生で県出身のバレーボール監督、6年生で県出身のスケート選手、歌手を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・巻頭の「道徳の時間ははじまるよ」で、学習の流れを示している。 ・特定の価値を押し付けないように主題名を教材のはじめに掲載せず、巻末の一覧表に掲載している。 ・何を学んでいるのかを分かるよう、内容項目の4つのまとめごとにマークを設けている。 ・複数の教材を連続して学習した後に、考えたことを記入できる欄を設けている。 【分量・装丁】 ・35教材を掲載している。 ・巻末に1年間学んだ感想を記入するページを設けている。 ・インターネットで写真が見られたり、音声を聞くことができたりする二次元コードを設けている。 ・A4判を採用している。	【読みやすさの工夫】 ・内容項目A～Dのどの視点の教材であるか分かるように題名の上にマークを表示している。 ・ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ・カラーユニバーサルデザインに配慮している。 ・漢字は、原則として当該学年の配当漢字までを使用し、当該学年以上の漢字には全て振り仮名を振っている。
232 廣あかつき	みんなでかんがえ、はなしあう しょうがくせいのどうとく1 じぶんをみつめ、かんがえる どうとくノート1 みんなで考え、話し合う小学生のどうとく2 自分を見つめ、考える どうとくノート2 みんなで考え、話し合う小学生のどうとく3 自分を見つめ、考える どうとくノート3 みんなで考え、話し合う小学生の道徳4 自分を見つめ、考える道徳ノート4 みんなで考え、話し合う小学生の道徳5 自分を見つめ、考える道徳ノート5 みんなで考え、話し合う小学生の道徳6 自分を見つめ、考える道徳ノート6	・問題意識をもって学習に取り組めるように、「考えよう」「話し合おう」の欄を設け、学びの手がかりとなる工夫をしている。 ・教科書とノートの2冊を使い、教材をもとに多面的・多角的に考え、ノートに書くことで思考を深める役割をもたせる工夫をしている。 ・ノートの巻末に一覧で授業の振り返りができるページを設けている。	・学習指導要領に示されている目標、内容、指導計画の作成と内容の取扱いを踏まえ、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」を重視している。 ・教育内容の主な改善事項のうち、「道徳教育の充実」に関連して、考えを深めるために「活動しよう」や「考えよう 話し合おう」を設けている。	【知識及び技能】 ・全学年、「善悪の判断、自律、自由と責任」「親切、思いやり」「生命の尊さ」の内容項目を重点として配置している。 ・いじめの問題と人権教育にかかわる教材を2つ以上掲載している。 ・低学年では、「安全教育・防災教育」と関連したコラムを掲載している。 ・全学年に情報モラルに関する教材、3年生以上には巻末に現代的な課題に関するコラムを掲載している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・問題解決的な学習や体験的な活動を促す教材を掲載している。 ・学習の道筋や発問例など、教材文の最後に「考えよう話し合おう」という欄を掲載している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・教材で考えたことをもとに自分自身を振り返って記入する別冊ノートをつけている。 ・別冊ノートの巻末に「体験活動の記録」「心にした授業の記録」として記入するページを設けている。 【かわさき教育プラン】 ・いじめの問題に関する教材は、1～4年生までは間接的な教材を掲載し、高学年は間接的・直接的な教材の両方を掲載している。 ・「どうとくノート」の巻末に教師や保護者がノートを見たサインを記入する欄を設けている。 ・神奈川県に関する教材は、2年生で二宮金次郎、4年生で江の島でのヨット競技を掲載している。 ・川崎の郷土に関する教材「川崎の長十郎梨」を、3年生に掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・重点化されている内容は、2時間連続で配置している。 ・導入時で活用できるように、教材文の脇に発問になり得る言葉を掲載している。 ・学習の道筋や発問例など、教材文の最後に「考えよう話し合おう」という欄を掲載している。 ・巻頭に、「道徳はこんな時間」というページを設けている。 ・別冊「道徳ノート」は、内容項目ごとに記入できるページと、自由に記述できる「学習の記録」のページで構成している。 【分量・装丁】 ・35教材を掲載している。 ・各学年2～3つの関連資料を巻末(低学年は関連教材末)に掲載している。 ・別冊ノートが教科書の間に収まる。 ・教師や保護者がノートをチェックできる欄を設けている。 ・3年生以上の教材には、インターネットで関わりのある情報が見られるURLを掲載している。 ・AB判を採用している。	【読みやすさの工夫】 ・内容項目A～Dのどの視点の教材であるか色分けして番号を振っている。 ・カラーユニバーサルデザインに配慮している。 ・漢字は、原則として当該学年の配当漢字までを使用し、当該学年以上の漢字には全て振り仮名を振っている。 ・別冊のノート欄は、発達段階に応じたマスの大きさや罫線間の幅に配慮している。